

子ども子育て自主WEB調査

(株)サーベイリサーチセンター

目次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査内容	1
3	調査設計	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	1
II	調査結果の概要	3
III	調査回答者の属性	7
	(1) 人口希望、居住地方	7
	(2) 性別、年齢	8
IV	調査結果	9
	●○ すべての方が回答 ○●	9
1	あなたのご家庭について	9
	(1) 同居家族の構成と祖父母の就労状況 [F 1]	9
	(2) 同居している家族、子どもの人数 [F 2]	10
	(3) 子どもの年齢 [F 3]	12
	(4) 住居の形態 [F 4]	14
	(5) 世帯年収 [F 5]	16
2	子育て環境について	18
	(6) 子育て環境 [問 1]	18
	(7) 父母の就労状況 [問 2]	22
	(8) 父母の就労意向 [問 3]	24
	(9) 月平均保育料 [問 4]	26
3	認定こども園について	28
	(10) 「認定こども園」の認知 [問 5]	28
	(11) 「認定こども園」の通園意向 [問 6]	31

●○ 就学前のお子様について ○●	36
4 保育・教育サービスについて	36
(12) 現在の日中の定期的保育利用状況、今後の利用意向 [問 7、問 14]	36
(13) 現在の日中の定期的保育以外の利用状況、今後の利用意向 [問 8、問 15]	38
(14) 来年 4 月からの利用を申し込むか [問 9、問 16]	40
(15) 子どもの主な預かり先までの距離 [問 10、問 17]	43
(16) 子どもの主な預かり先までの希望距離 [問 12、問 19]	44
(17) 子どもの主な預かり先の区域 [問 11、問 18]	45
(18) 子どもの主な預かり先の希望区域 [問 13、問 20]	46
●○ 就学前（0～6 歳）のお子様について ○●	47
(19) 保育サービスに預ける日数（週平均） [問 21、問 24]	47
(20) 保育サービスに預けている時間（日平均） [問 22、問 25]	49
(21) 保育サービス事業所を選ぶポイント [問 23]	51
●○ 小学生のお子様について ○●	52
5 放課後の過ごし方について	52
(22) 現在の放課後の過ごし方、今後の意向 [問 26、問 30]	52
(23) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室利用日数（週平均） [問 27、問 31]	54
(24) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室利用希望日数（週平均） [問 28、問 32]	56
(25) 現在習い事に通っているか [問 29、問 33]	58
●○ すべての方が回答 ○●	60
6 子育て全般について	60
(26) 子育ては楽しいか [問 34]	60
(27) 児童手当は、子育てに係る経済的負担の軽減に役立っているか [問 35]	61
(28) 子育ての不安や悩みの対応法 [問 36]	62
(29) 国や自治体に望む支援 [問 37]	64
IV 調査結果	67
調査票	67
プレスリリース第 1 弾	78
プレスリリース第 2 弾	85

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

平成 24 年 6 月 26 日の衆議院に続き、平成 24 年 8 月 10 日、子ども・子育て支援法を含む関連 3 法が参議院で可決・成立し、「子ども・子育て新システム」が動き出すことになりました。これを受けて、市町村には地域のニーズを把握する調査の実施が求められており、その結果を踏まえた「子ども・子育て支援事業計画」の策定が必要になっています。「子ども・子育て新システム」では、新たな「幼保連携型認定こども園」を創設して待機児童の解消を目指すほか、保育の対象を「保育に欠ける児童」から「保育を必要とする児童」へと拡大し、必要とする方に必要なサービスの提供を行うこととなります。

そこで株式会社サーベイリサーチセンターでは、0～6 歳の子どもがいる親を対象に、子育て環境、保育や教育サービス、放課後の過ごし方などについて、アンケート調査を実施しました。

2 調査内容

- 1 あなたの家庭について /
- 2 子育て環境について /
- 3 認定こども園について /
- 4 保育・教育サービスについて /
- 5 放課後の過ごし方について /
- 6 子育て全般について

3 調査設計

調査地域 : 日本全域

調査対象 : 日本国内に居住する 18 歳以上の男女個人のうち、0～6 歳の子どもがいる親

標本抽出条件 : 大都市「政令指定都市及び東京都 23 区」1000。それ以外で人口 5 万以上 1000。

それ未満 1000。平成 24 年 4 月 2 日時点で 0～6 歳の子どもがいる親（このうち小学生の子どもがいる親は小学生分も回答）

調査期間 : 平成 24 年 10 月 27 日（土）～10 月 31 日（水）

調査方法 : インターネット調査（インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査）

4 回収結果

有効回答 : 3,000 サンプル

（政令指定都市及び東京都 23 区 1,000、それ以外で人口 5 万以上 1,000、それ未満 1,000）

5 報告書の見方

- 比率はすべて百分率であらわし、小数点以下第 2 位を四捨五入しています。このため百分率の合計が 100%にならないことがあります。
- 基数となるべき調査数は、Nまたは調査数、回答数と表示しており、回答比率はこれを 100%として算出しました。

II 調査結果の概要

II 調査結果の概要

●○ すべての方が回答 ○●

1 あなたのご家庭について

○同居家族の構成..... [F 1]

「母親」(88.0%)と「父親」(86.5%)が8割を超えています。

○同居している家族、子どもの人数..... [F 2]

家族の人数は、「3人」(35.6%)と「4人」(37.7%)が3割を超えています。

子どもの人数は、「1人」(46.3%)と「2人」(41.5%)が4割を超えています。

○子どもの年齢..... [F 3]

「3～6歳」が64.5%と最も多く、3人に2人の割合となっています。

○住居の形態..... [F 4]

「戸建て」が56.2%、「集合住宅」が42.8%となっています。

○世帯年収..... [F 5]

「500万円以上1,000万円未満」が46.1%と最も多くなっています。

2 子育て環境について

○子育て環境..... [問1]

自宅から30分以内で行けるとところに親族が住んで「いる」が65.7%と最も多くなっています。

緊急時にお子様を預かってくれる親族、友人・知人等は「いる」が78.4%と最も多くなっています。

○父母の就労状況..... [問2]

父親は「フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中を含む)」が97.3%、母親は「主婦」が53.5%と多くなっています。

○父母の就労意向..... [問3]

父親は「フルタイムで働きたい(または続けたい)」が96.9%、母親は「アルバイトやパートで働きたい(または続けたい)」が48.1%と多くなっています。

○月平均保育料..... [問4]

「2万円以上3万円未満」が25.7%と最も多くなっています。

3 認定こども園について

○「認定こども園」の認知..... [問5]

「名前を聞いた程度」が57.2%と5割を超えています。

○「認定こども園」の通園意向..... [問6]

「料金が高くなければ通わせたい」(56.8%)や「自宅から近いのであれば通わせたい」(50.9%)が5割を超えています。

●○ 就学前（０～２歳、３～６歳）のお子様について ○●

4 保育・教育サービスについて

○現在の日中の定期的保育の利用状況…………… [問 7]、[問 14]

０～２歳は「どれも利用していない」（68.4%）が多く、３～６歳は「幼稚園（通常の預かり時間）」（42.7%）が多くなっています。

今後の日中の定期的保育の利用意向

０～２歳は「認可保育所」（44.9%）、３～６歳は「幼稚園（通常の預かり時間）」（39.2%）が多くなっています。

○現在の日中の定期的保育以外の利用状況…………… [問 8]、[問 15]

０～２歳は「どれも利用していない」が 81.5%、３～６歳は 67.8%となっています。

今後の日中の定期的保育以外の利用意向

０～２歳は「利用は希望しない」が 48.3%、３～６歳は 51.7%と多くなっています。

○希望したサービスを、来年４月から申し込むか…………… [問 9]、[問 16]

０～２歳の「来年は申し込まない」（38.2%）と「利用できないと困るので必ず申し込む」（37.7%）が 3 割を超えています。３～６歳は「来年は申し込まない」が 47.3%と最も多くなっています。

○日中の定期的保育サービスを利用している方の、主な預かり先までの距離… [問 10]、[問 17]

０～２歳は「1 km 未満」が 35.9%、３～６歳は 38.4%と、いずれも 3 割を超えています。

○日中の定期的保育サービスを利用している方の、主な預かり先までの希望距離 [問 12]、[問 19]

０～２歳は「1 km 未満」が 44.7%、３～６歳は 49.8%と、いずれも 4 割を超えています。

○自宅から主な預かり先までの区域…………… [問 11]、[問 18]

０～２歳は「小学校区域内」が 52.8%、３～６歳は 60.9%となっています。

○子どもの主な預かり先までの希望区域…………… [問 13]、[問 20]

０～２歳は「小学校区域内」が 63.4%、３～６歳は 72.7%となっています。

●○ 就学前（０～６歳）のお子様について ○●

○保育サービスに預ける日数（週平均）…………… [問 21]、[問 24]

現在の平均利用日数、利用希望日数ともに「５日」が最も多くなっています。

○保育サービスに預けている時間（日平均）…………… [問 22]、[問 25]

１日あたりの平均預け時間は「６～８時間未満」（29.4%）が多く、平均預け希望時間は「８～10 時間未満」（37.0%）が多くなっています。

○保育サービス事業所を選ぶポイント…………… [問 23]

「自宅や勤務先からの距離」が 69.7%と最も多くなっています。

●○ 小学生のお子様について ○●

5 放課後の過ごし方について

○現在の放課後の過ごし方…………… [問 26]、[問 30]
小学1～3年生は「保護者（父親・母親）が見ている」（44.6%）が多く、小学4～6年生は「塾や習い事に行っている」（40.8%）が多くなっています。

今後の意向

小学1～3年生は「保護者（父親・母親）が見ている」（37.6%）が多く、小学4～6年生は「塾や習い事に行っている」（43.4%）が多くなっています。

○現在の放課後児童クラブ（学童児童）・放課後子ども教室の平均利用頻度… [問 27]、[問 31]
小学1～3年生は「5日」が44.4%、小学4～6年生は39.4%と、いずれも4割前後となっています。

今後の利用意向

小学1～3年生は「5日」が42.7%、小学4～6年生は47.1%と、いずれも4割を超えています。

○習い事の状況…………… [問 29]、[問 33]
小学1～3年生は「週1～2回行っている」が52.6%、小学4～6年生は43.1%となっています。

●○ すべての方が回答 ○●

6 子育て全般について

○子育ては楽しいか…………… [問 34]
「どちらかと言えば楽しい」が51.0%と最も多くなっています。

○児童手当は、子育てに係る経済的負担の軽減に役立っているか…………… [問 35]
「とても役立っている」が34.6%と最も多くなっています。

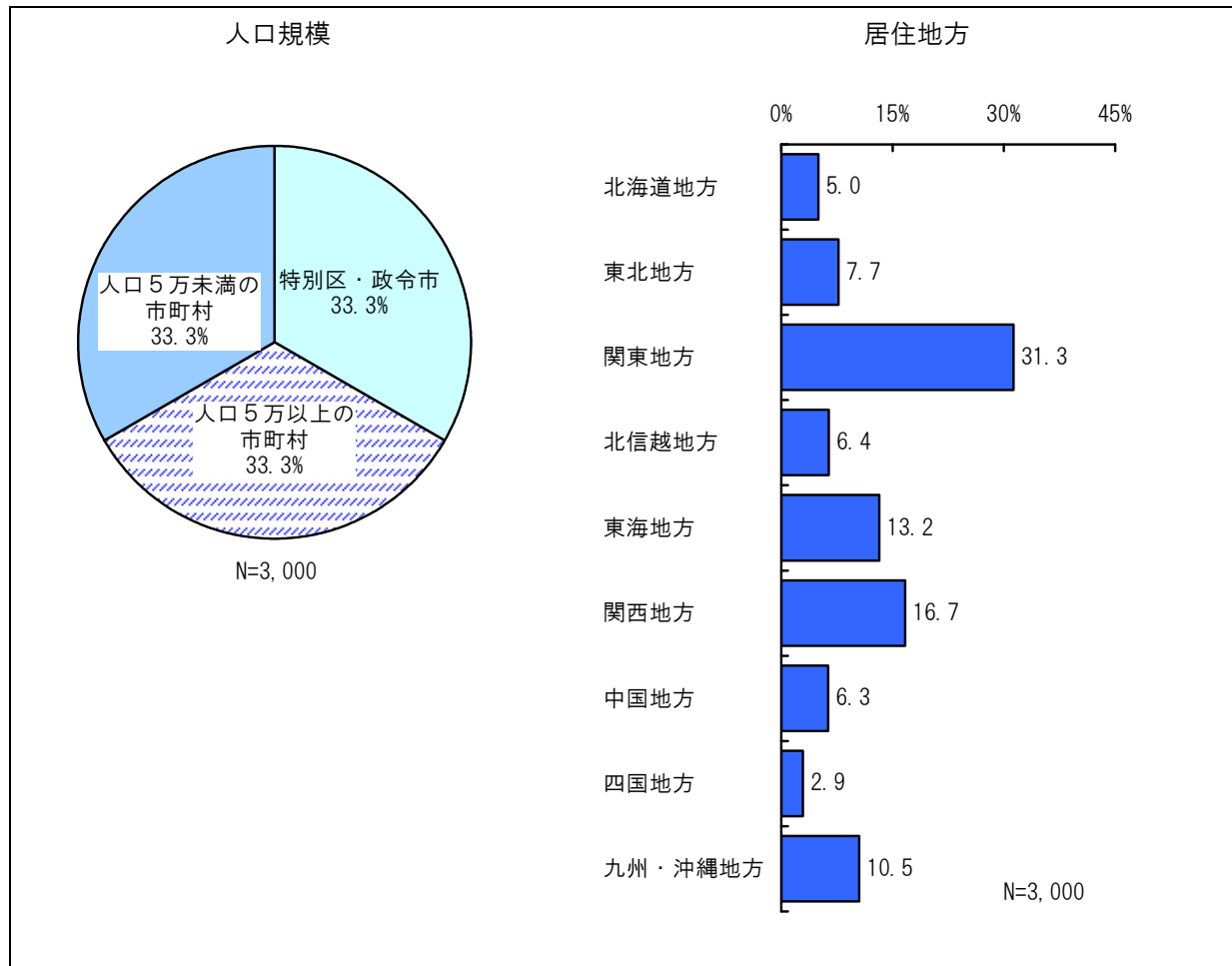
○子育ての不安や悩みの対応法…………… [問 36]
「親や身内に聞いている」が64.5%と最も多く、3人に2人の割合となっています。

○国や自治体に望む支援…………… [問 37]
「保育所や幼稚園などの費用負担の軽減」が71.6%と最も多くなっています。

Ⅲ 調査回答者の属性

Ⅲ 調査回答者の属性

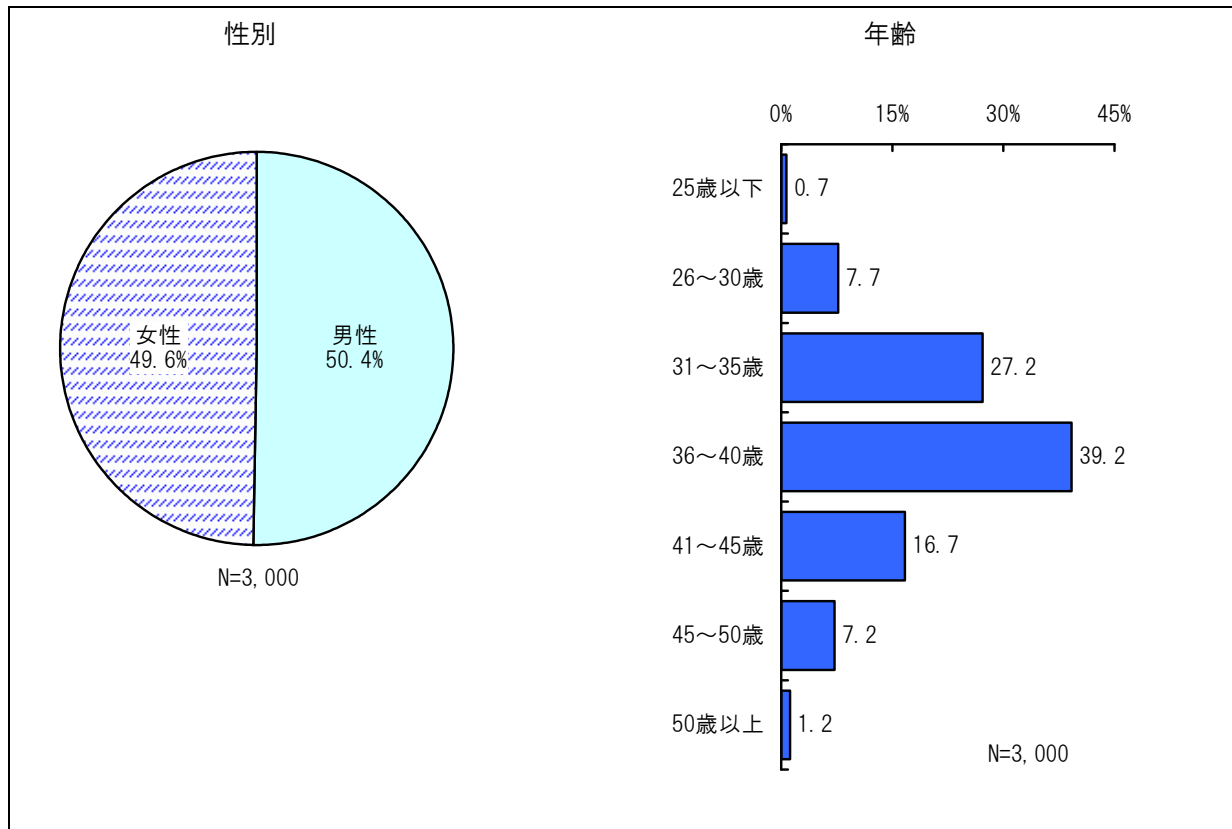
(1) 人口希望、居住地方



人口規模は、「特別区・政令市」が33.3%、「人口5万以上の市町村」が33.3%、「人口5万未満の市町村」が33.3%となっています。

居住地方は、「関東地方」が31.3%と最も多く、次いで「関西地方」が16.7%、「東海地方」が13.2%などとなっています。

(2) 性別、年齢



性別は、「男性」が 50.4%、「女性」が 49.6%となっています。

年齢は、「36～40 歳」が 39.2%と最も多く、次いで「31～35 歳」が 27.2%、「41～45 歳」が 16.7% などとなっています。

IV 調査結果

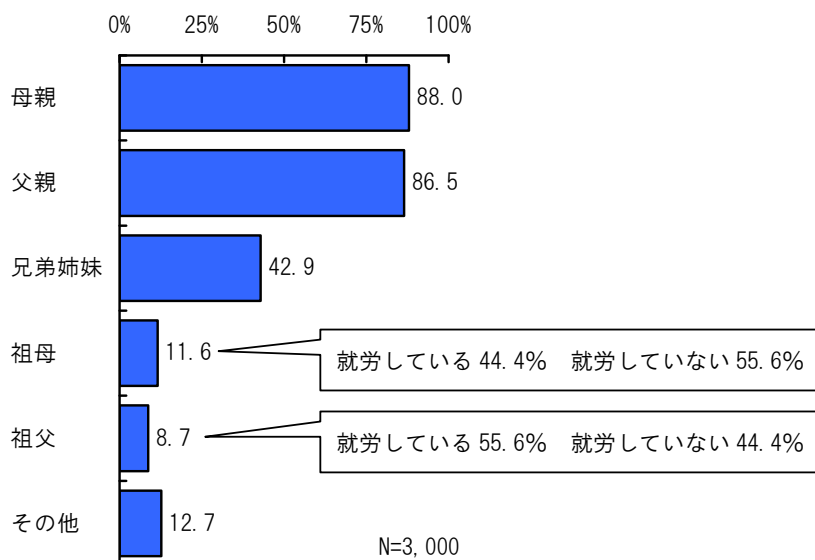
IV 調査結果

●○ すべての方が回答 ○●

1 あなたのご家庭について

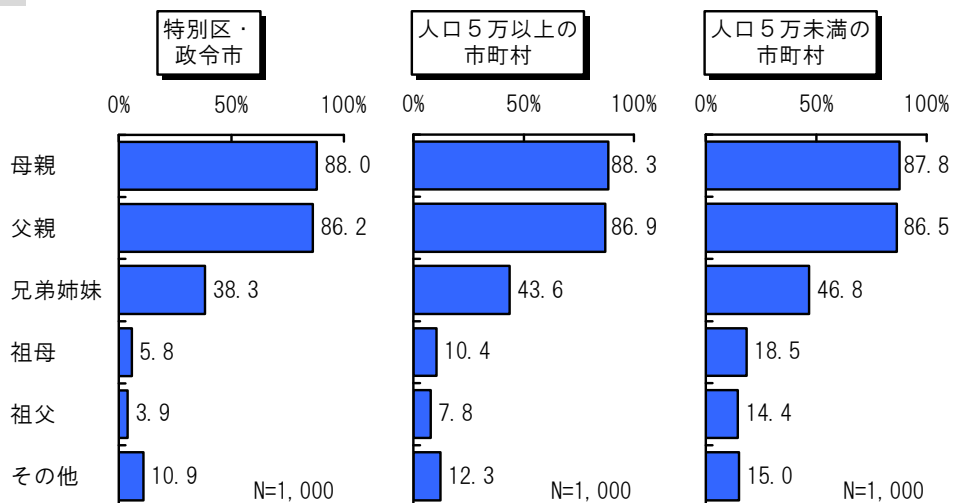
(1) 同居家族の構成と祖父母の就労状況 [F 1]

(子どもから見た) 同居家族の構成をお答えください。(○はいくつでも)



同居家族の構成は、「母親」の88.0%と、「父親」の86.5%が多く、8割を超えています。次いで、「兄弟姉妹」が42.9%、「祖母」が11.6%、「祖父」が8.7%となっています。

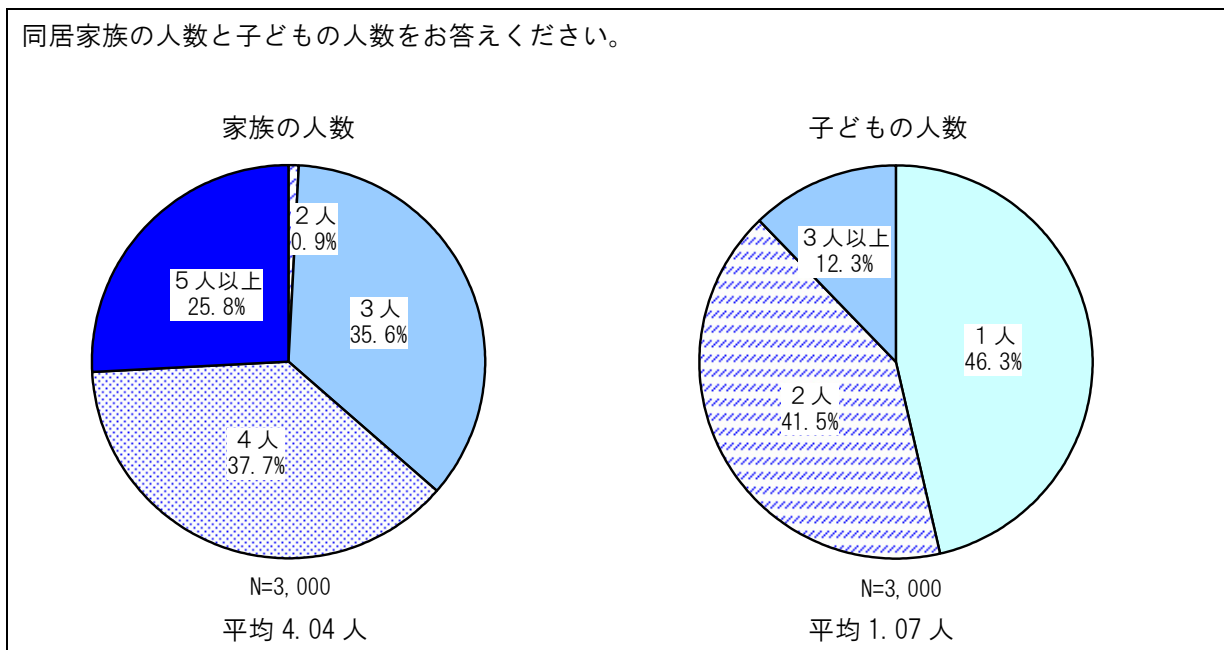
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、「祖母」や「祖父」は、人口5万未満の市町村が多くなっています。

(2) 同居している家族、子どもの人数 [F 2]

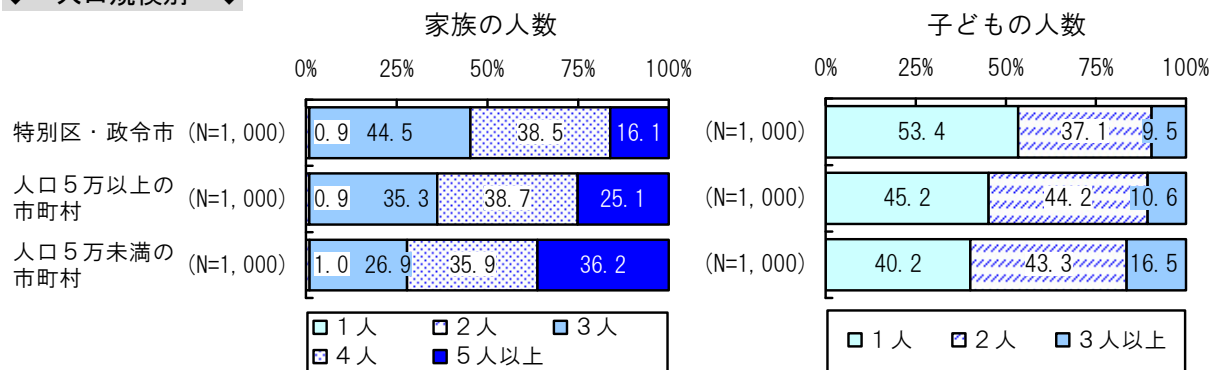
同居家族の人数と子どもの人数をお答えください。



同居している家族の人数は、「4人」が37.7%と多く、次いで「3人」が35.6%、「5人以上」が25.8%などとなっています。家族の平均人数は4.04人となっています。

子どもの人数は、「1人」が46.3%と多く、次いで「2人」が41.5%、「3人以上」が12.3%となっています。子どもの平均人数は1.07人となっています。

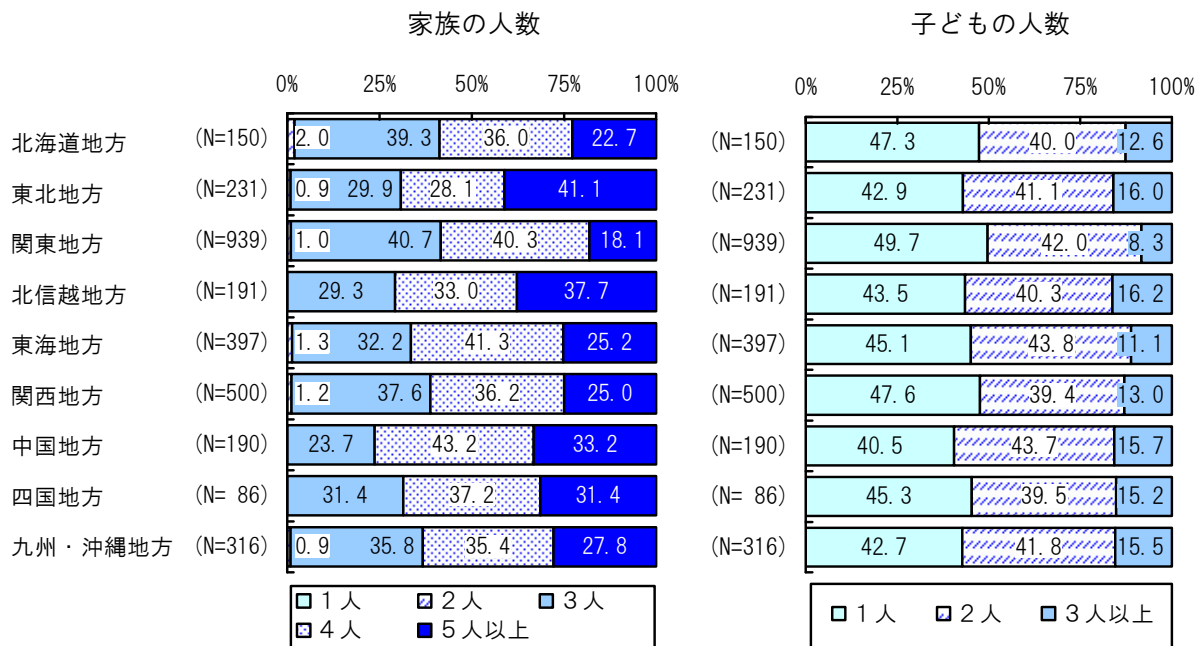
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別に家族の人数をみると、「5人以上」は人口5万未満の市町村が36.2%と最も多く、次いで人口5万以上の市町村が25.1%、特別区・政令市が16.1%と、人口規模が小さいほど家族の人数が多くなっています。

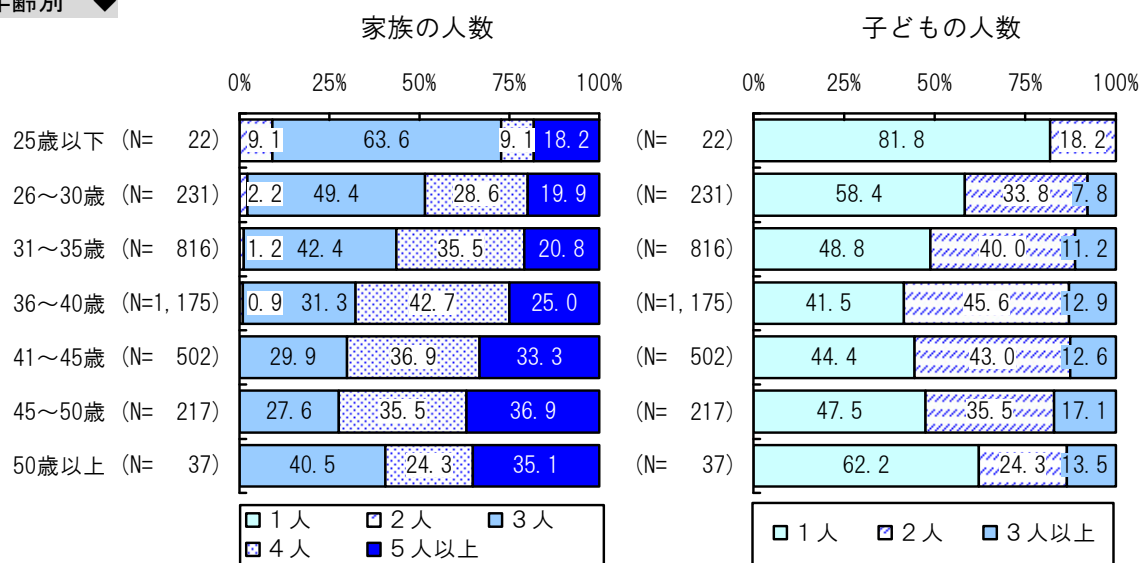
子どもの人数をみると、「1人」は特別区・政令市が53.4%と多く、次いで人口5万以上の市町村が45.2%、人口5万未満の市町村が40.2%と、人口規模が大きいほど子どもの人数が少なくなっています。

◆ 地方別 ◆



地方別に家族の人数をみると、「5人以上」は東北地方が41.1%と、他の地方よりも多くなっています。子どもの人数をみると、「3人以上」は関東地方が8.3%と、他の地方よりも少なくなっています。

◆ 年齢別 ◆

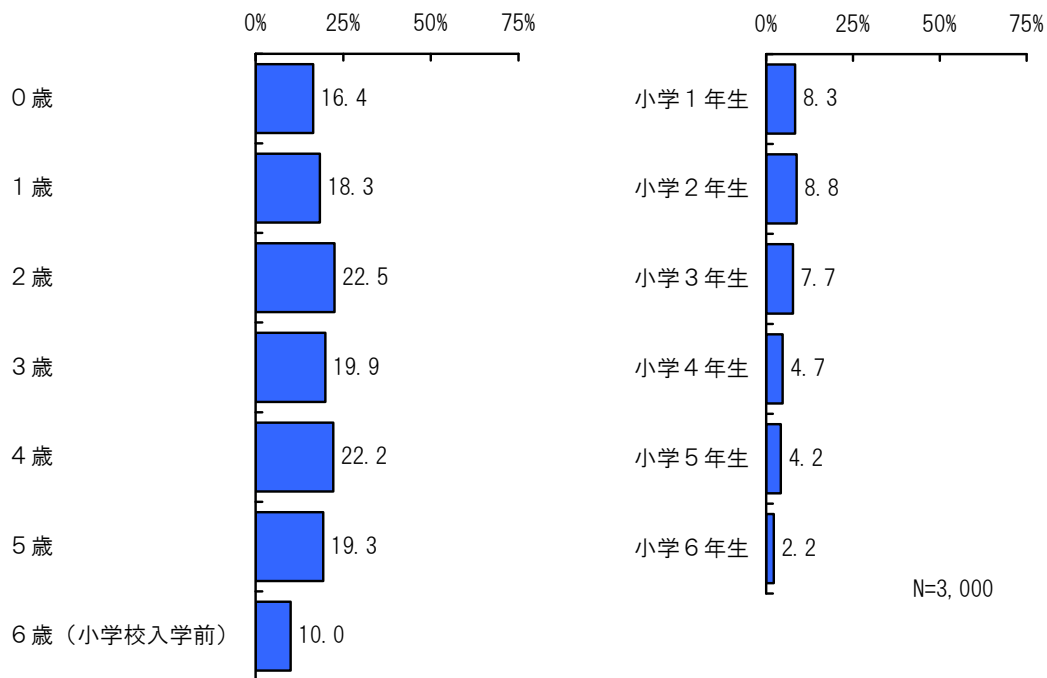
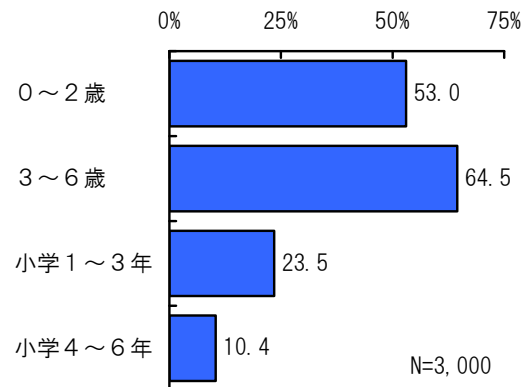


年齢別に家族の人数をみると、「3人」は年齢が低いほど多い傾向にあります。また、「5人以上」は41歳以上で3割を超えています。

子どもの人数をみると、「2人」は31～45歳で4割を超えています。

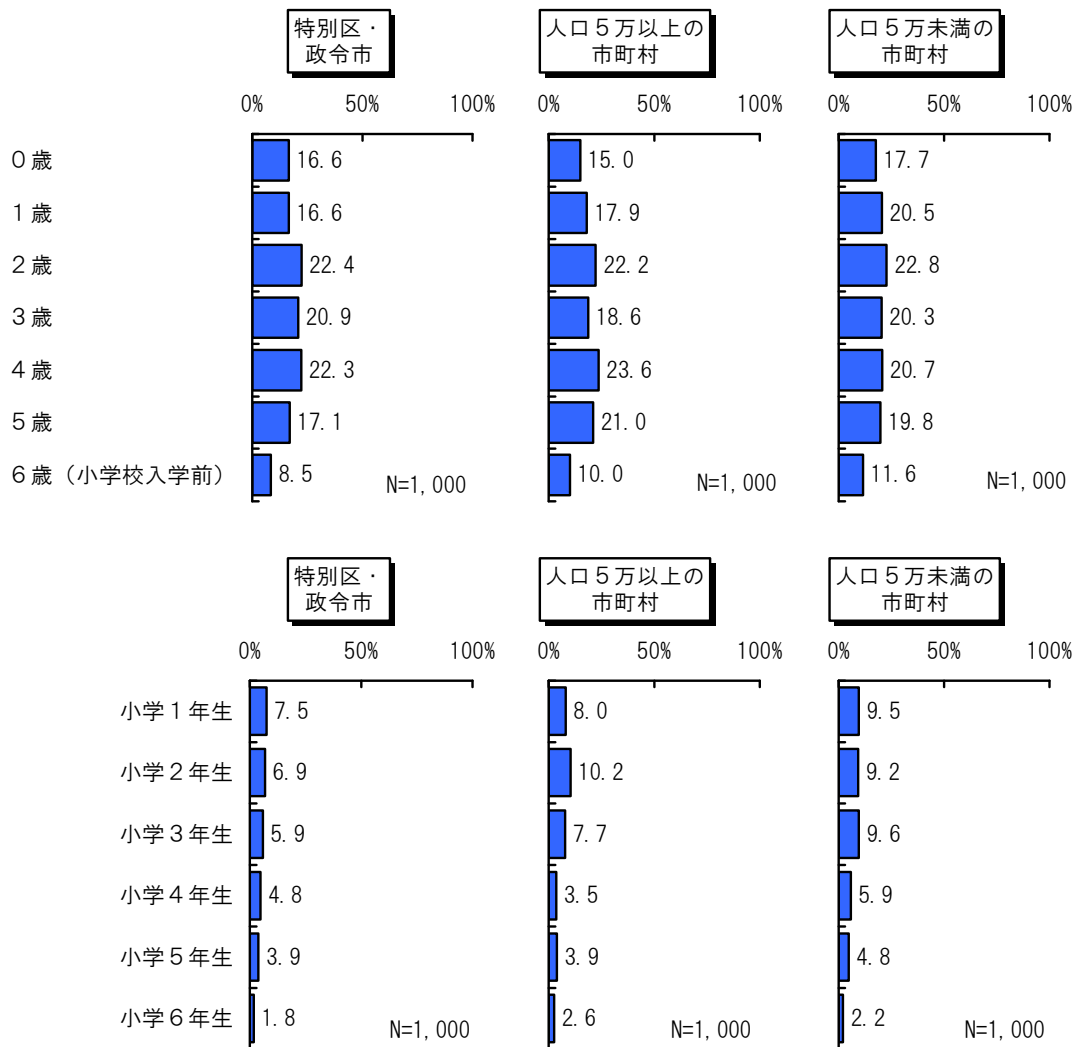
(3) 子どもの年齢 [F 3]

同居の子どもの年齢をお答えください。(平成 24 年 4 月 1 日時点) (〇はいくつでも)



子どもの年齢は、「3～6歳」が 64.5%と最も多く、次いで「0～2歳」が 53.0%、「小学1～3年」が 23.5%、「小学4～6年」が 10.4%となっています。

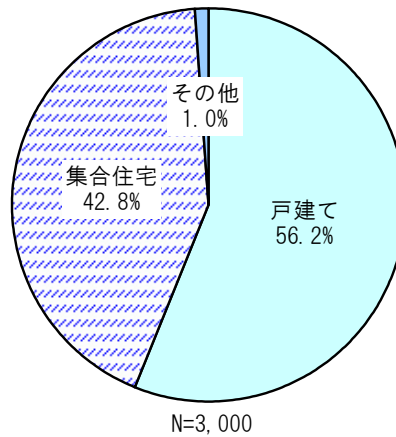
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、人口 5 万未満の市町村は「1 歳」～「5 歳」が 2 割前後となっています。

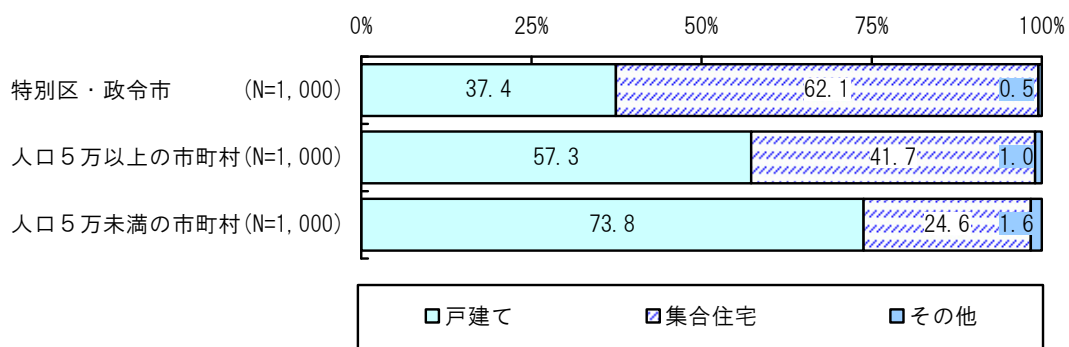
(4) 住居の形態 [F 4]

住まいの形態 (○は1つ)



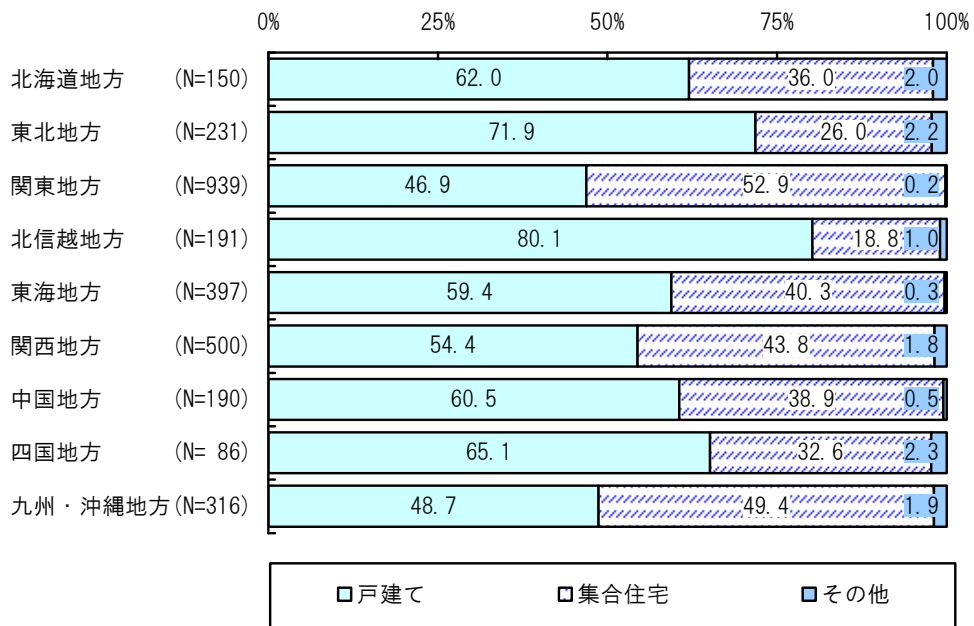
住居の形態は、「戸建て」が 56.2%、「集合住宅」が 42.8%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



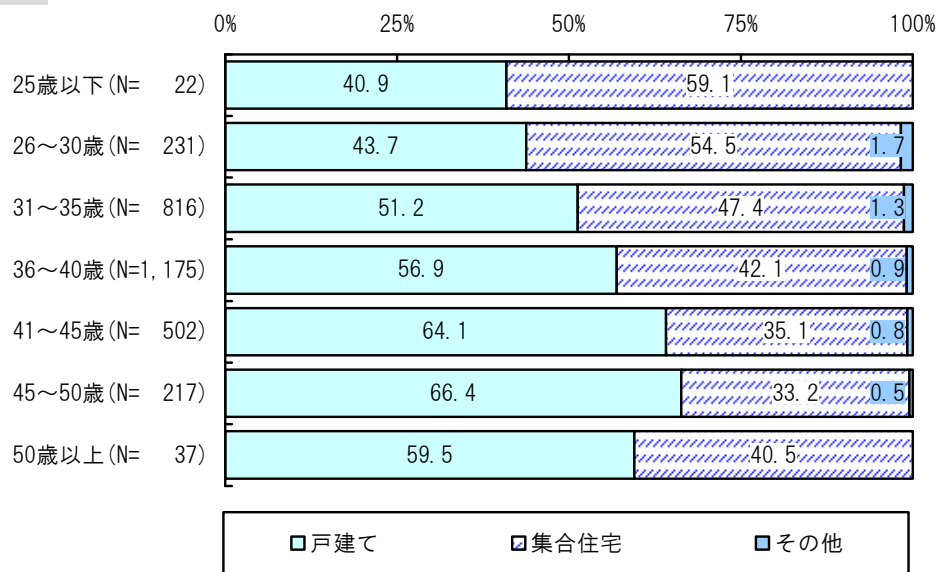
人口規模別にみると、「戸建て」は人口5万未満の市町村が 73.8%と最も多く、次いで人口5万以上の市町村が 57.3%、特別区・政令市が 37.4%と、人口規模が小さいほど多くなっています。

◆ 地方別 ◆



地方別にみると、「戸建て」は北信越地方が 80.1%と多く、次いで東北地方が 71.9%、四国地方が 65.1% などとなっています。「集合住宅」は関東地方が 52.9%と多く、次いで九州・沖縄地方が 49.4%、関西地方が 43.8%などとなっています。

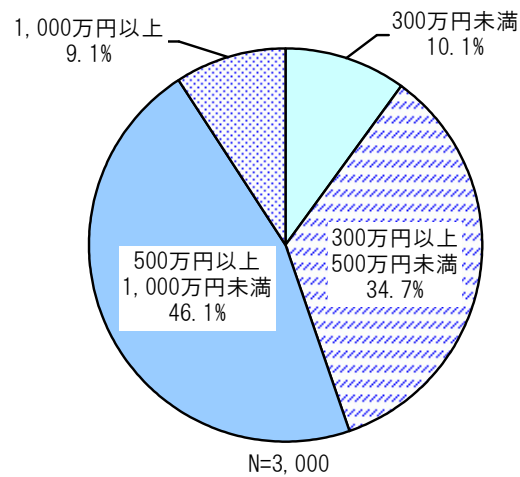
◆ 年齢別 ◆



年齢別にみると、「戸建て」は 41～50 歳で 6 割を超えています。「集合住宅」は年齢が低い方が多く、30 歳以下では 5 割を超えています。

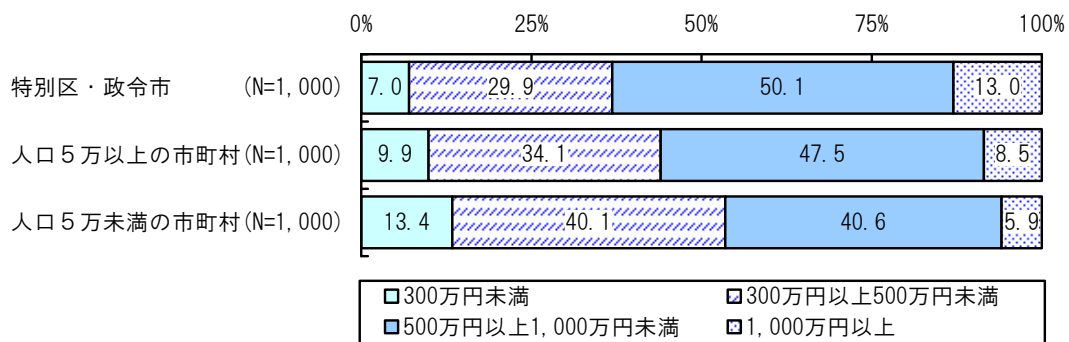
(5) 世帯年収 [F 5]

世帯の年収 (〇は1つ)



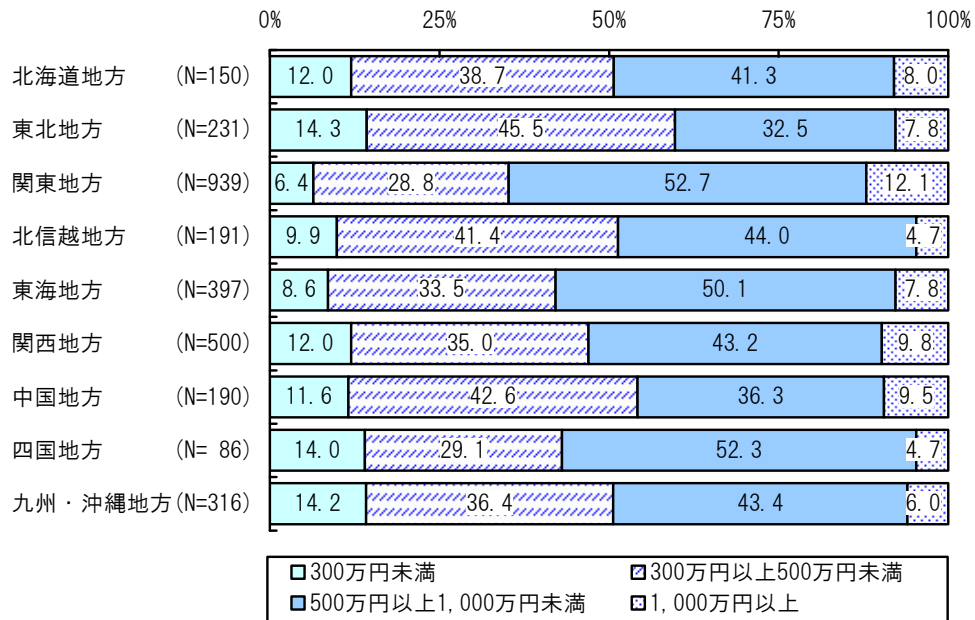
世帯年収は、「500 万円以上 1,000 万円未満」が 46.1%と最も多く、次いで「300 万円以上 500 万円未満」が 34.7%、「300 万円未満」が 10.1%、「1,000 万円以上」が 9.1%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



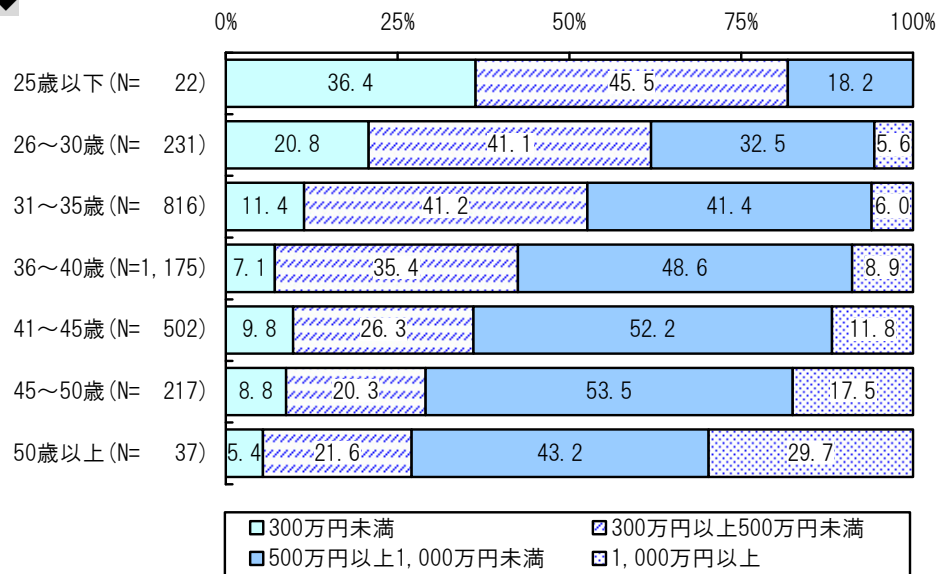
人口規模別にみると、「500 万円以上 1,000 万円未満」は特別区・政令市が 50.1%と多く、次いで人口 5 万以上の市町村が 47.5%、人口 5 万未満の市町村が 40.6%となっており、人口規模が大きいほど世帯の年収が多くなっています。

◆ 地方別 ◆



地方別にみると、「500 万円以上 1,000 万円未満」は関東地方が 52.7%、四国地方が 52.3%、東海地方が 50.1%と、いずれも 5 割を超えています。

◆ 年齢別 ◆



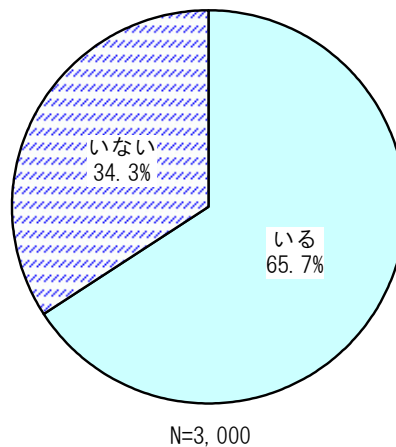
年齢別にみると、「500 万円以上 1,000 万円未満」や「1,000 万円以上」は年齢が高いほど多い傾向にあります。

2 子育て環境について

(6) 子育て環境〔問1〕

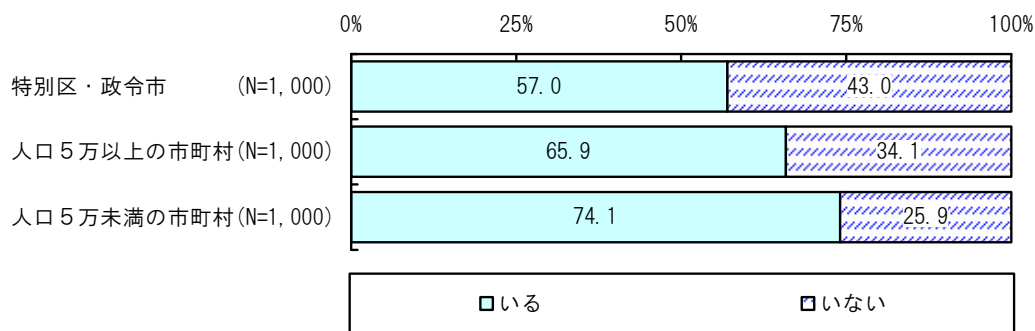
子育て環境について、次の事項をお答えください。

(1) 自宅から 30 分以内で行けるとところに親族が住んでいますか。(○は1つ)



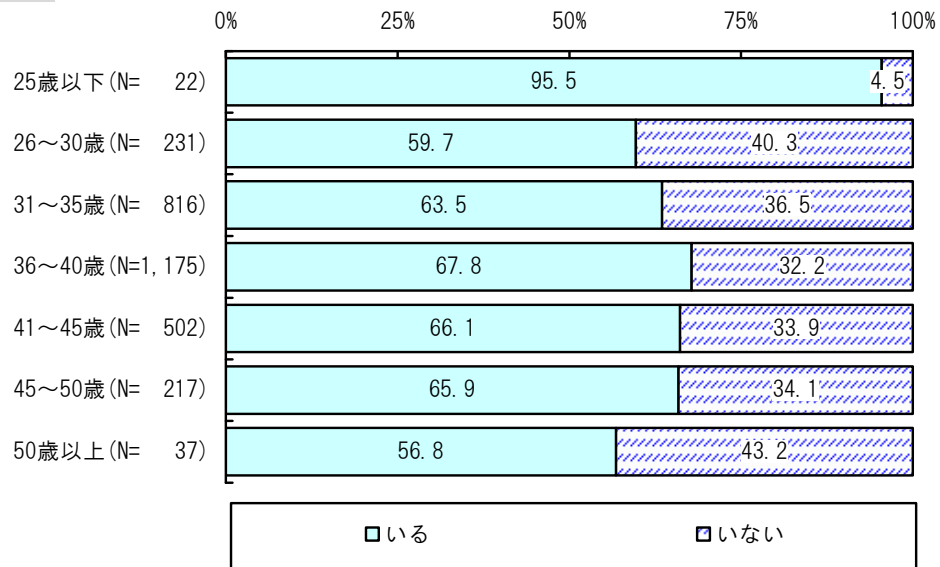
自宅から 30 分以内で行けるとところに親族が住んでいるかは、「いる」が 65.7%、「いない」が 34.3%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



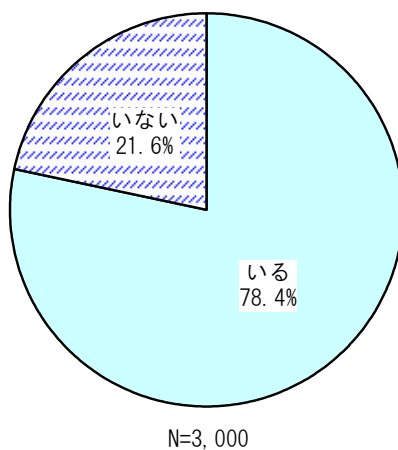
人口規模別にみると、「いる」は人口 5 万未満の市町村が 74.1%と多く、次いで人口 5 万以上の市町村が 65.9%、特別区・政令市が 57.0%となっており、人口規模が小さいほど自宅から 30 分以内で行けるとところに親族が住んでいます。

◆ 年齢別 ◆



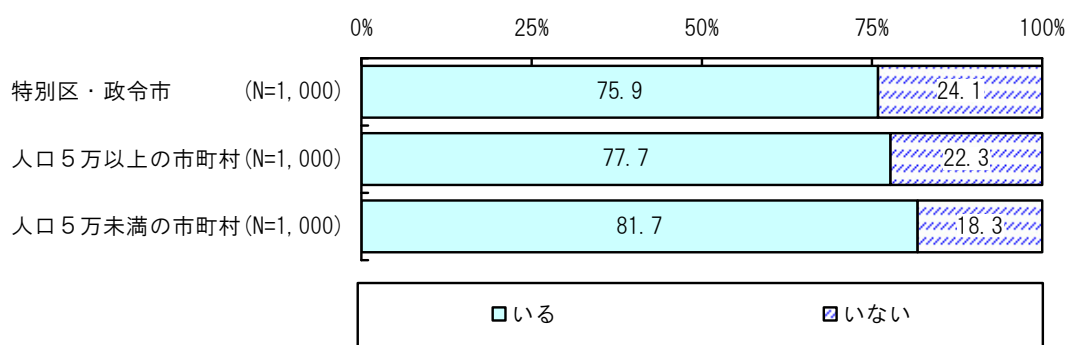
年齢別にみると、「いる」は26～50歳で6割前後となっています。

(2) 緊急時にお子様を預かってくれる親族、友人・知人等はいますか。(○は1つ)



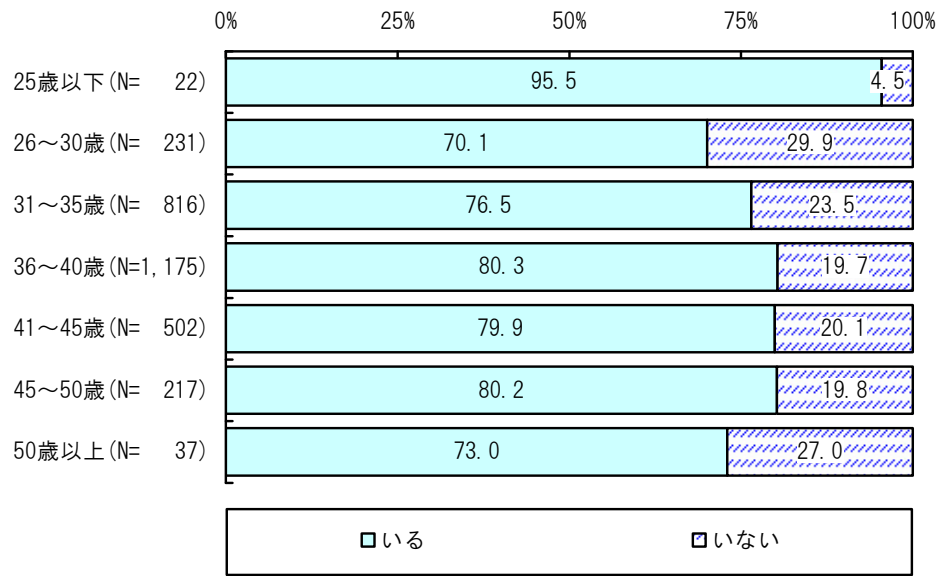
緊急時にお子様を預かってくれる親族、友人・知人等はいるか否は、「いる」が 78.4%、「いない」が 21.6%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、「いる」は人口5万未満の市町村が 81.7%と多く、次いで人口5万以上の市町村が 77.7%、特別区・政令市が 75.9%と、人口規模が小さいほど緊急時に子どもを預かってくれる親族、友人・知人等がいます。

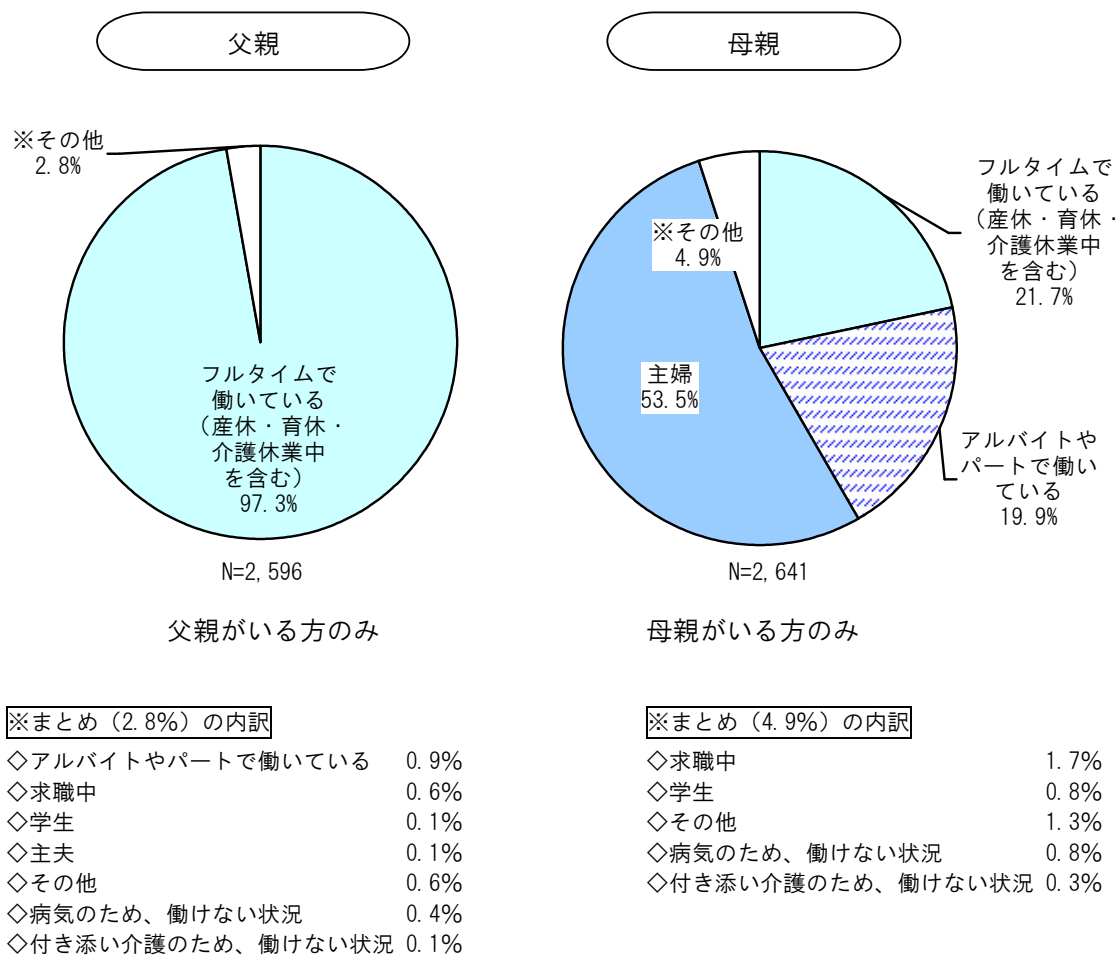
◆ 年齢別 ◆



年齢別にみると、「いる」は36～50歳で8割前後となっています。

(7) 父母の就労状況 [問2]

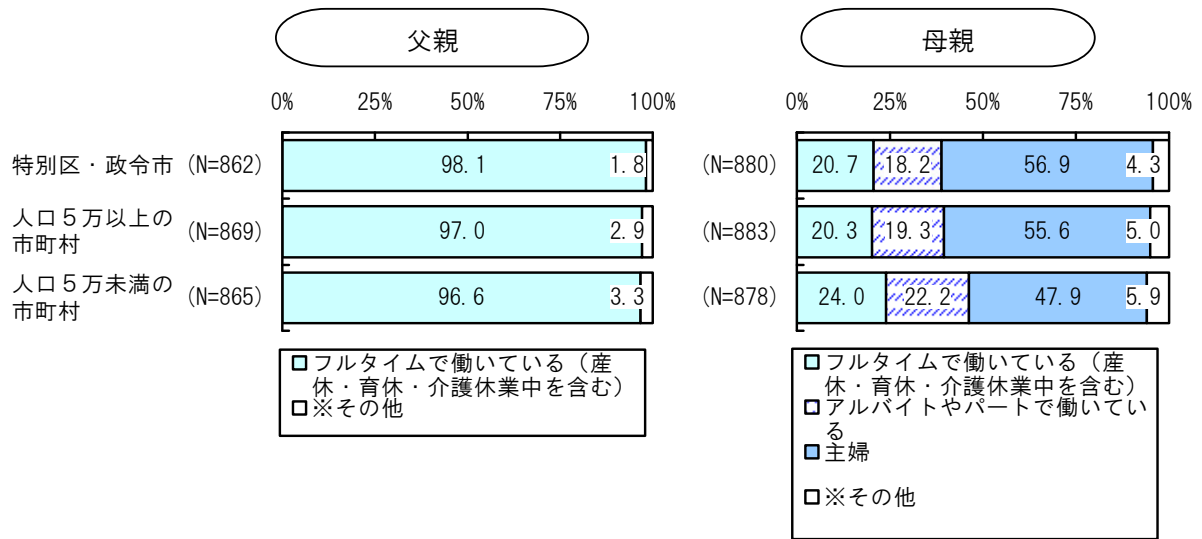
子どもの保護者（親）の現在の就労状況を教えてください。（○は1つ）



父親の就労状況は、「フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む）」が97.3%と、9割を超えています。

母親の就労状況は、「主婦」が53.5%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む）」が21.7%、「アルバイトやパートで働いている」が19.9%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

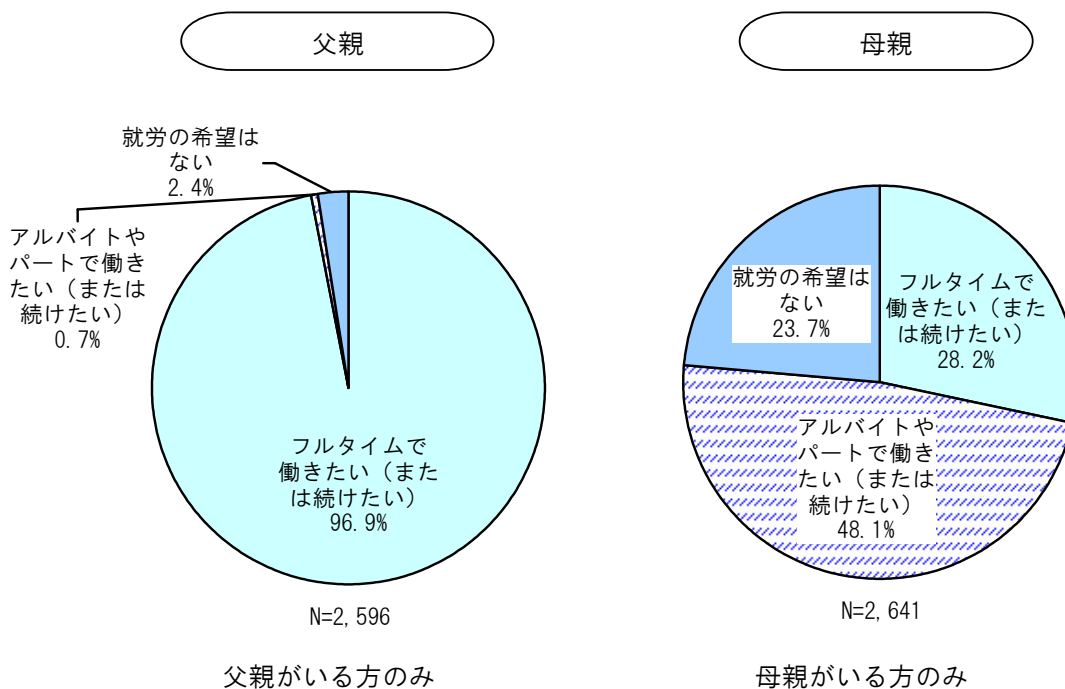


人口規模別に母親の就労状況をみると、「フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む）」は人口5万未満の市町村が24.0%と、他の人口規模よりも多くなっています。「主婦」は特別区・政令市が56.9%、人口5万以上の市町村が55.6%と、いずれも5割を超えています。

父親の就労状況での、大きな差異はみられません。

(8) 父母の就労意向 [問3]

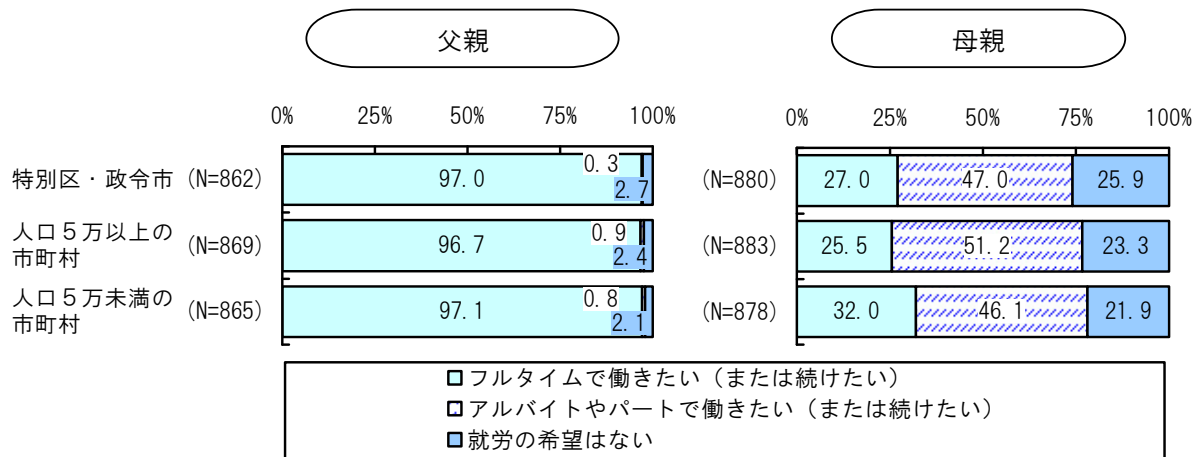
子どもの保護者（親）の希望する就労形態を教えてください。（○は1つ）



父親が希望する就労形態は、「フルタイムで働きたい（または続けたい）」が96.9%と、9割を超えています。

母親が希望する就労形態は、「アルバイトやパートで働きたい（または続けたい）」が48.1%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたい（または続けたい）」が28.2%、「就労の希望はない」が23.7%となっています。

◆ 人口規模別 ◆

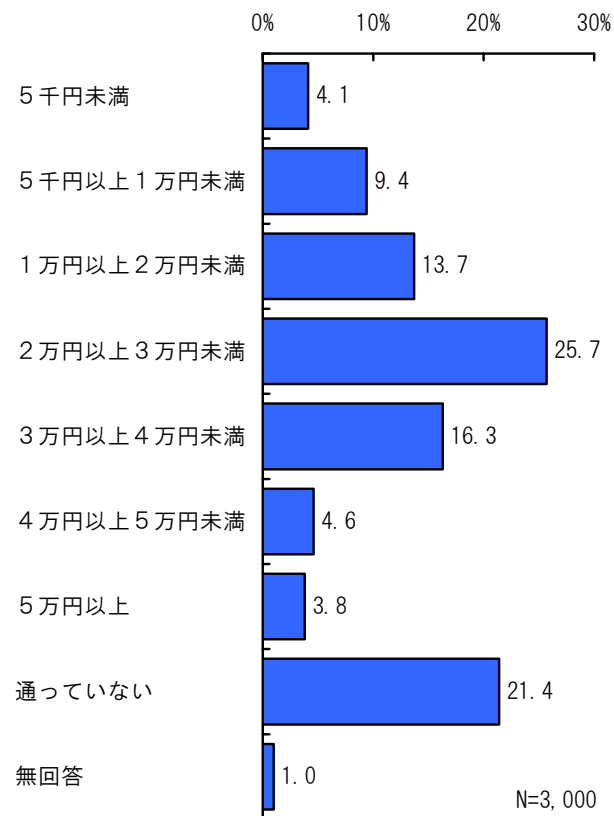


人口規模別に母親が希望する就労形態をみると、「フルタイムで働きたい (または続けたい)」は人口5万未満の市町村が32.0%と、他の人口規模よりも多くなっています。

父親が希望する就労形態での、大きな差異はみられません。

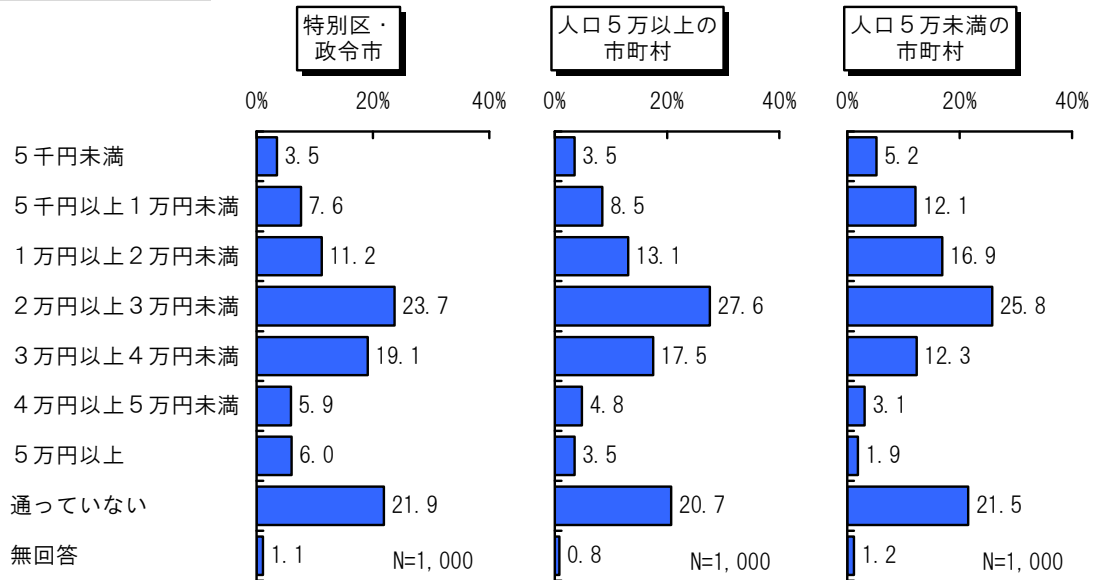
(9) 月平均保育料 [問4]

お子様ひとりにかかる、1か月の平均的な保育料（保育所・幼稚園に係る費用）はどのくらいですか。
(○は1つ)



月平均保育料は、「2万円以上3万円未満」が25.7%と多く、次いで「3万円以上4万円未満」が16.3%、「1万円以上2万円未満」が13.7%などとなっています。一方、「通っていない」は21.4%となっています。

◆ 人口規模別 ◆

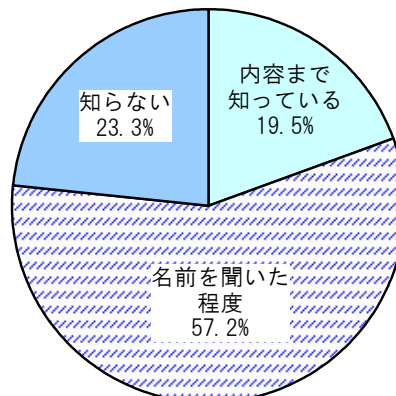


人口規模別にみると、特別区・政令市と人口5万以上の市町村は「2万円以上4万円未満」が多くなっています。人口5万未満の市町村は「1万円以上3万円未満」が多くなっています。

3 認定こども園について

(10) 「認定こども園」の認知〔問5〕

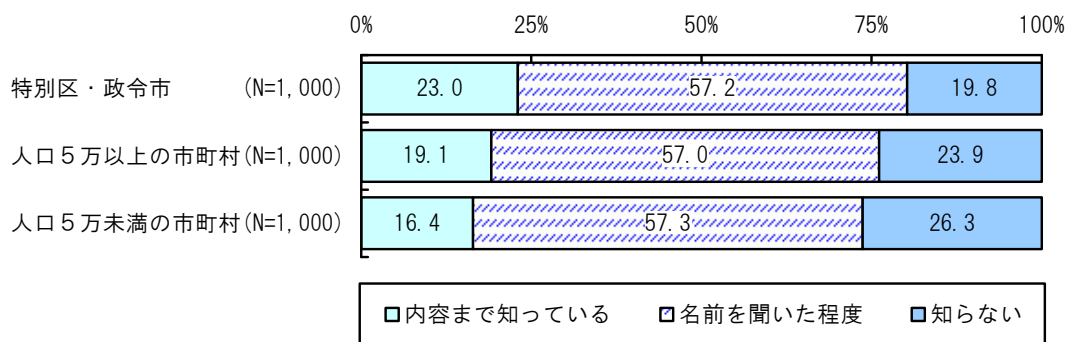
「認定こども園」を知っていますか。(○は1つ)



N=3,000

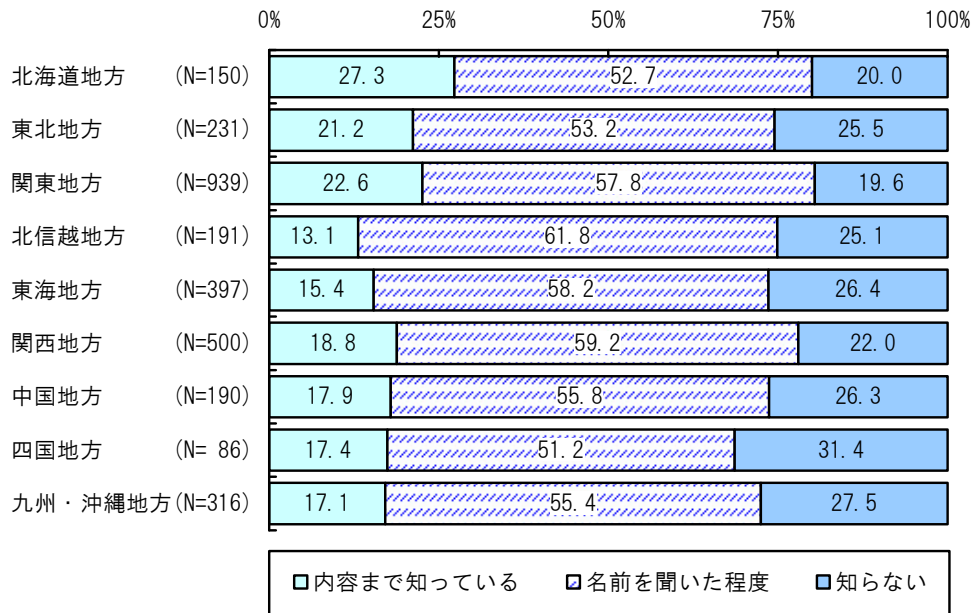
「認定こども園」の認知は、「名前を聞いた程度」が57.2%と最も多く、次いで「知らない」が23.3%、「内容まで知っている」が19.5%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



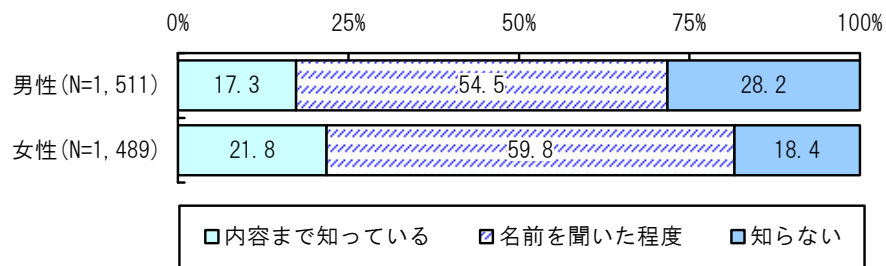
人口規模別にみると、「内容まで知っている」は特別区・政令市が23.0%と多く、次いで人口5万以上の市町村が19.1%、人口5万未満の市町村が16.4%となっており、人口規模が大きいほど認知度が高くなっています。

◆ 地方別 ◆



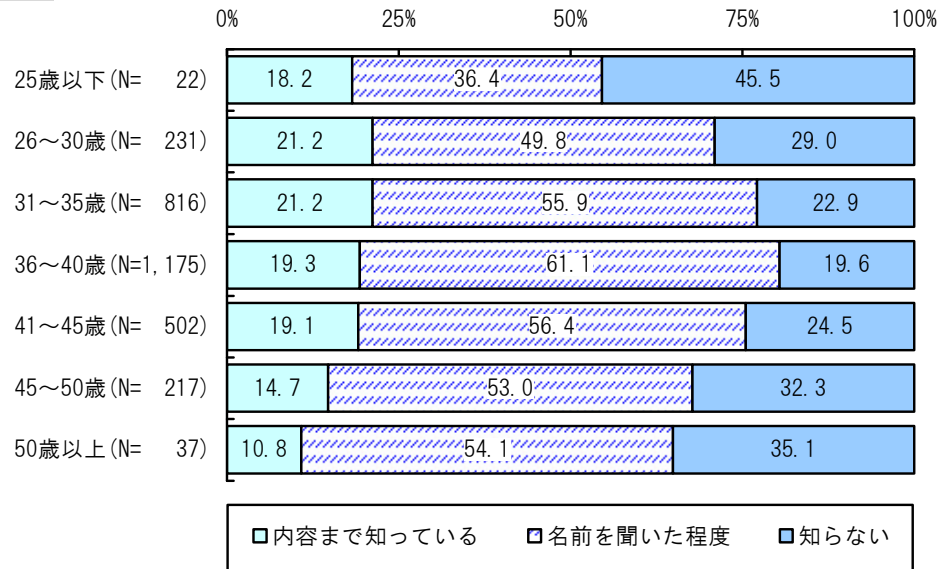
地方別にみると、「内容まで知っている」は北海道地方が27.3%、関東地方が22.6%、東北地方が21.2%と、いずれも2割を超えています。

◆ 性別 ◆



性別にみると、「知らない」は男性が28.2%、女性が18.4%と、男性の方が認知度が低くなっています。

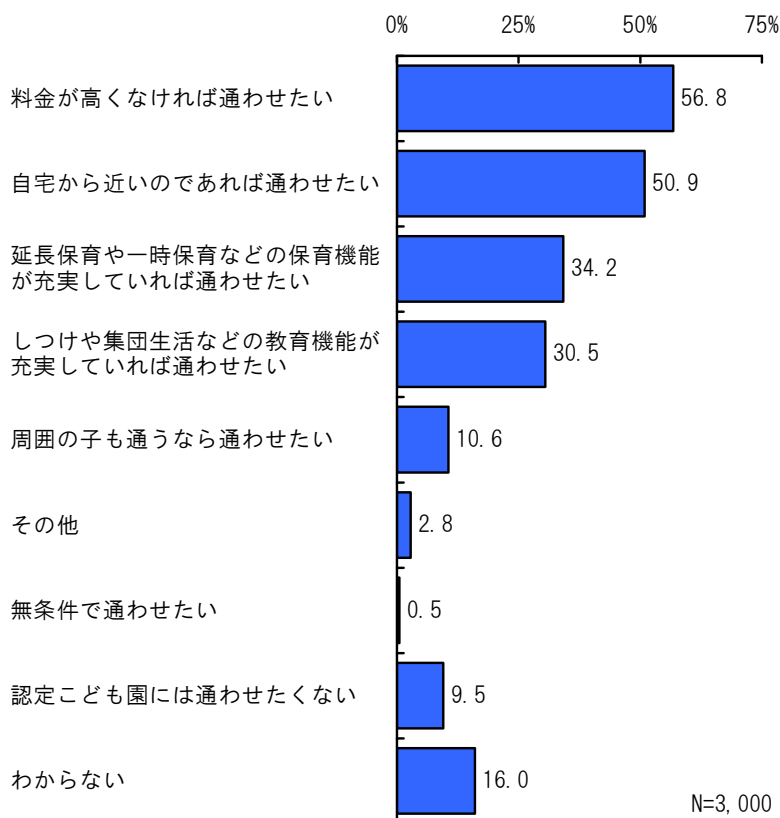
◆ 年齢別 ◆



年齢別にみると、「内容まで知っている」は26～45歳で2割前後となっています。

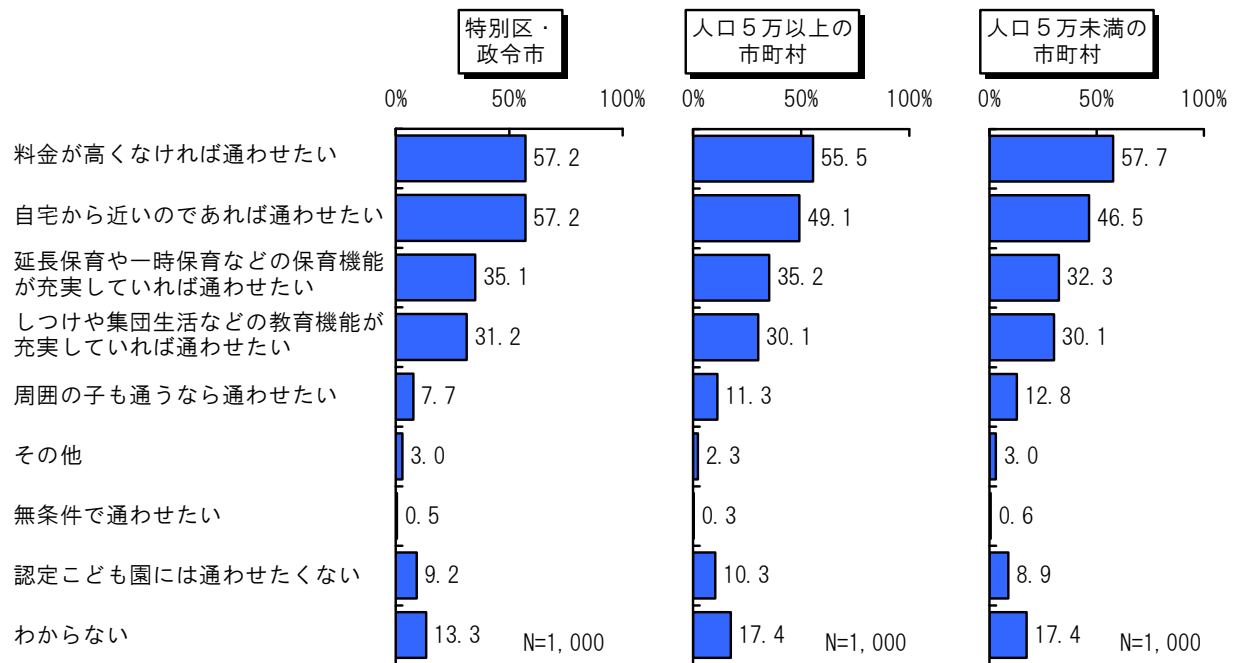
(11) 「認定こども園」の通園意向〔問6〕

認定こども園があったらお子様を通わせたいですか。お子様が小学生の方も、当時を振り返ってお答えください。（〇はいくつでも）



「認定こども園」の通園意向は、「料金が高くなければ通わせたい」が 56.8%と多く、次いで「自宅から近いのであれば通わせたい」が 50.9%、「延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい」が 34.2%、「しつけや集団生活などの教育機能が充実していれば通わせたい」が 30.5%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、「自宅から近いのであれば通わせたい」は特別区・政令市が 57.2%と多く、次いで人口 5 万以上の市町村が 49.1%、人口 5 万未満の市町村が 46.5%となっており、人口規模が大きいほど多くなっています。

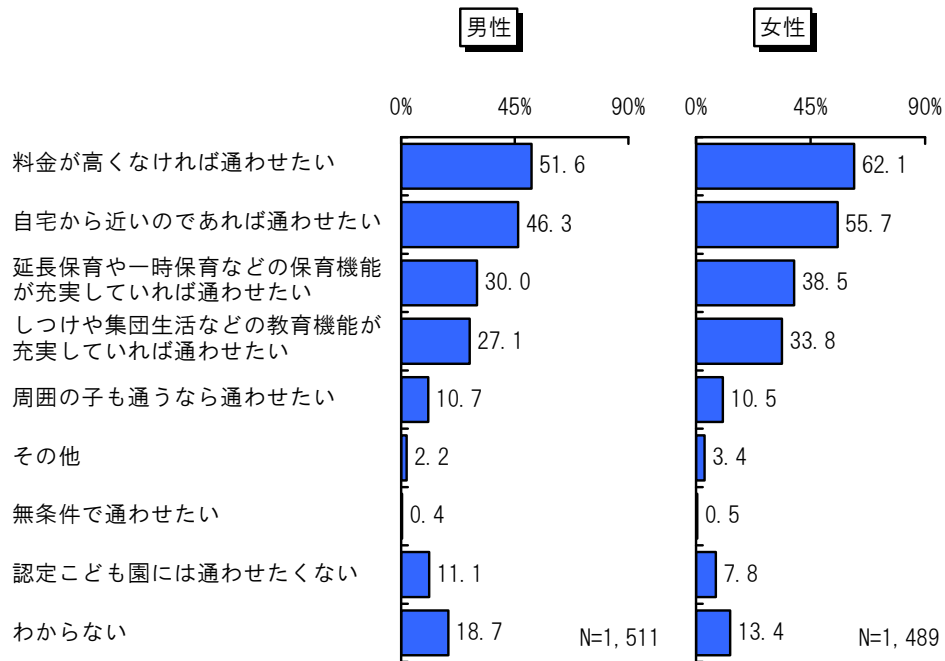
◆ 地方別 ◆

単位：(%)

	調査数	料金が高くなければ通わせたい	自宅から近いのであれば通わせたい	延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい	しつけや集団生活などの教育機能が充実していれば通わせたい	周囲の子も通うなら通わせたい	その他	無条件で通わせたい	認定こども園には通わせたくない	わからない
北海道地方	150	61.3	54.7	30.7	21.3	10.7	4.7	-	6.0	15.3
東北地方	231	53.2	48.1	28.6	27.3	10.0	1.7	-	11.3	17.7
関東地方	939	55.9	54.8	35.3	30.2	8.4	2.8	0.7	10.8	14.5
北信越地方	191	51.3	45.0	33.0	30.4	15.7	3.1	-	8.4	23.0
東海地方	397	57.7	50.6	32.5	29.7	15.6	1.3	0.8	8.6	17.6
関西地方	500	55.0	50.4	33.6	31.4	12.4	3.0	0.2	10.8	15.2
中国地方	190	60.0	46.8	37.9	33.2	9.5	3.7	1.1	6.8	17.4
四国地方	86	57.0	40.7	27.9	25.6	10.5	1.2	-	9.3	19.8
九州・沖縄地方	316	63.0	49.7	40.2	37.0	6.0	3.8	0.3	7.3	13.0

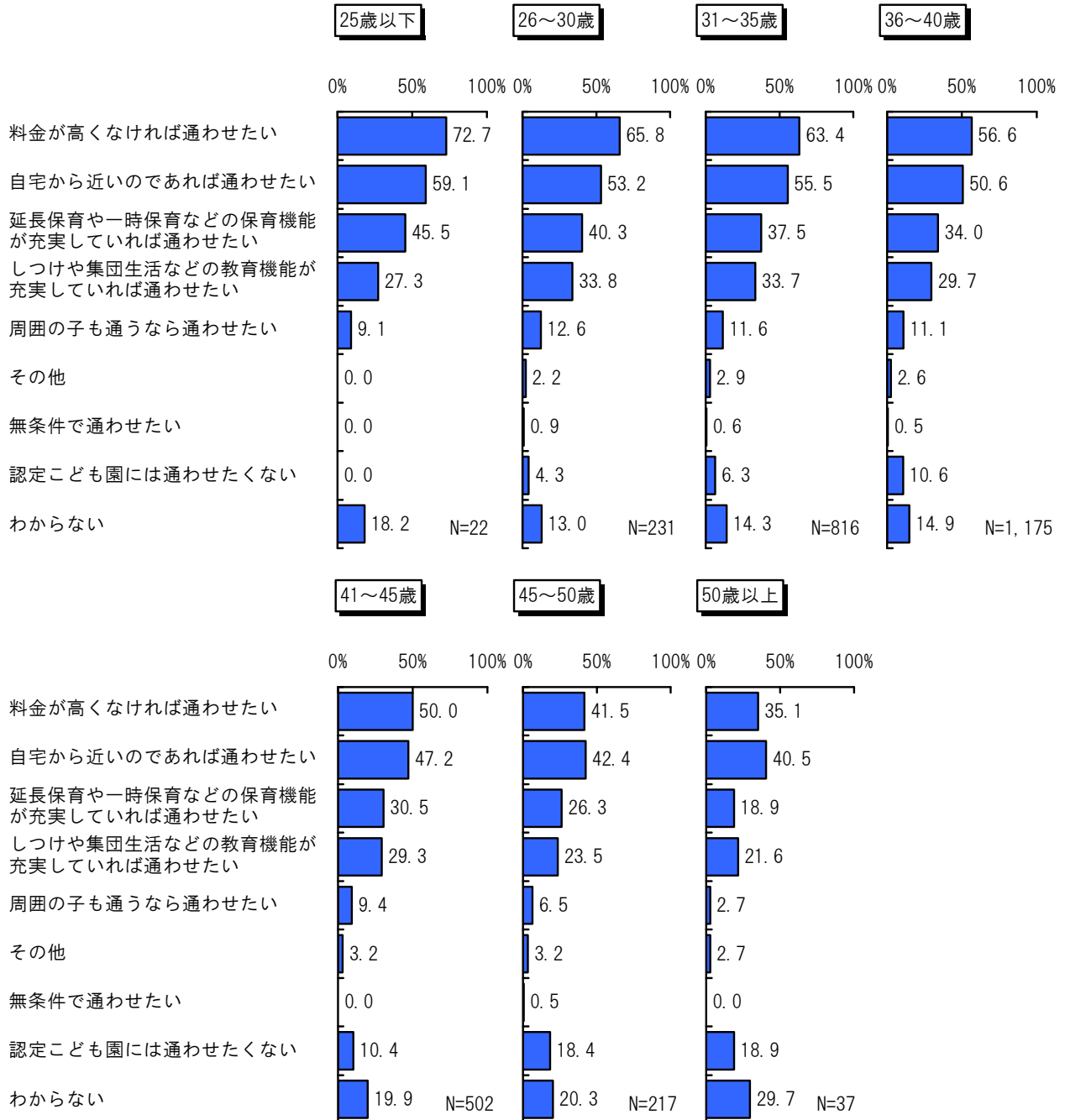
地方別にみると、「料金が高くなければ通わせたい」は九州・沖縄地方が63.0%、北海道地方が61.3%、中国地方が60.0%と、いずれも6割を超えています。「自宅から近いのであれば通わせたい」は関東地方と北海道地方が多くなっています。「延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい」は九州・沖縄地方が40.2%と、他の地方よりも多くなっています。

◆ 性別 ◆



性別にみると、「料金が高くなければ通わせたい」は女性が 62.1%、男性が 51.6%と、女性の方が 10.5 ポイント高くなっています。

◆ 年齢別 ◆



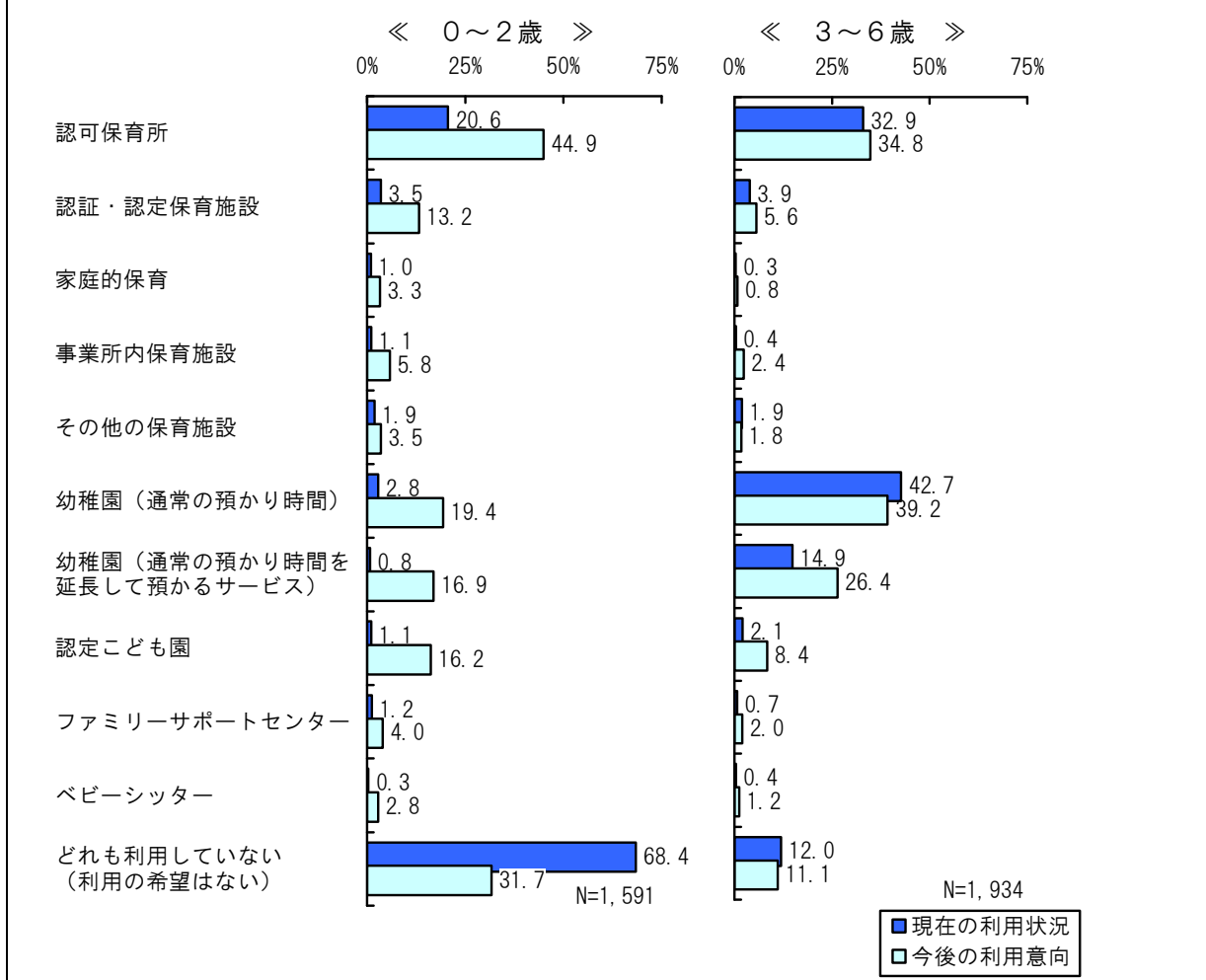
年齢別にみると、「料金が高くなければ通わせたい」、「自宅から近いのであれば通わせたい」、「延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい」は年齢が低いほど多い傾向にあります。

●○ 就学前のお子様について ○●

4 保育・教育サービスについて

(12) 現在の日中の定期的保育利用状況、今後の利用意向 [問 7、問 14]

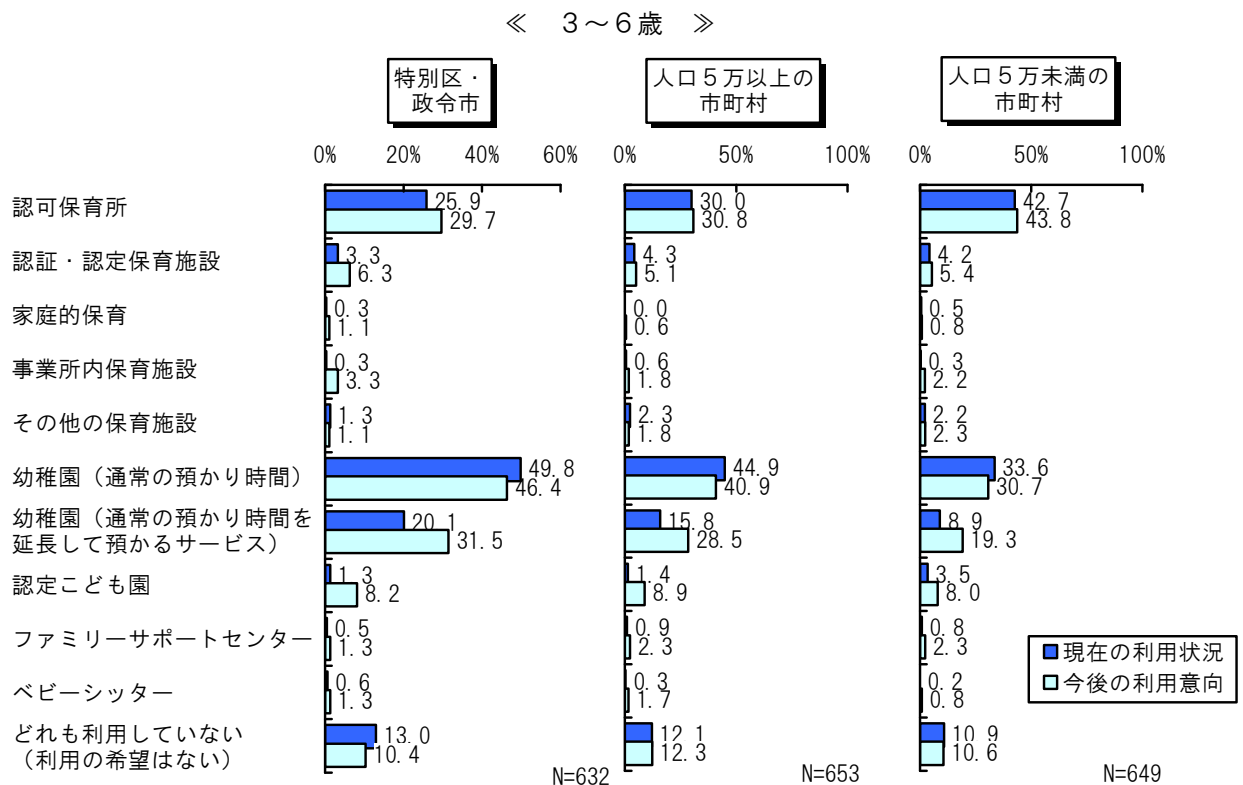
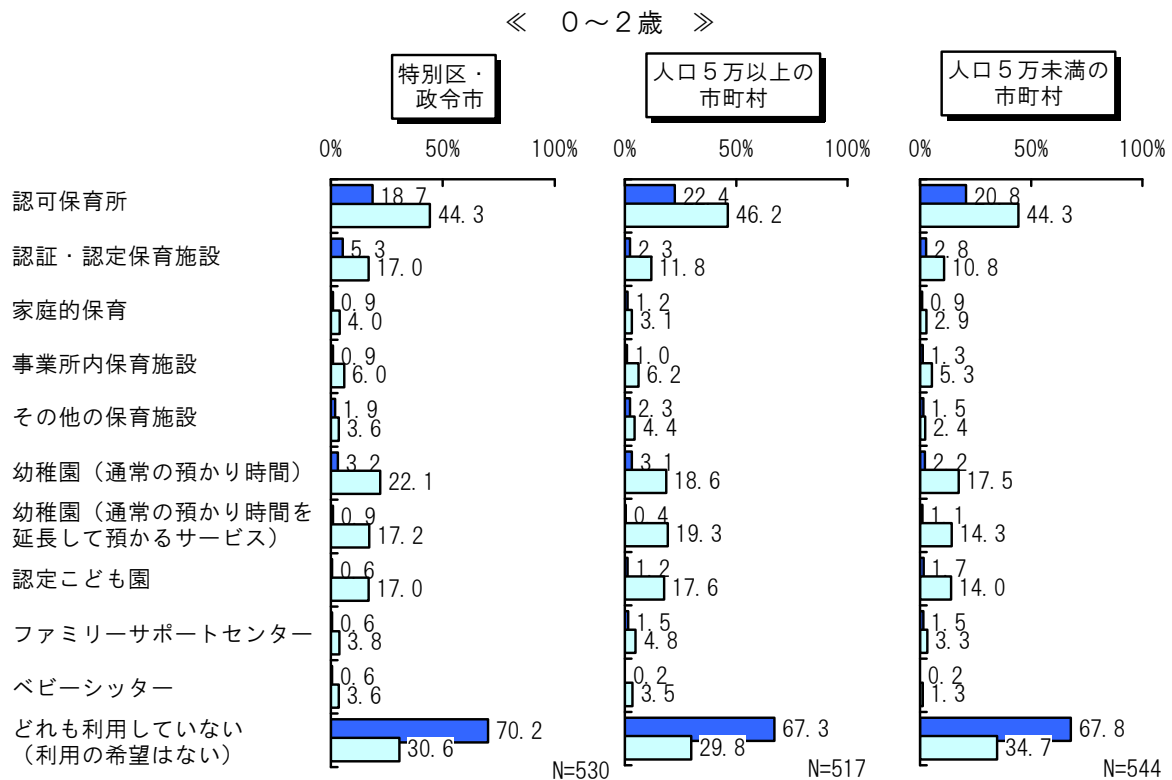
お子様は現在、日中の定期的保育サービスを利用していますか。また、今後希望したい（または続けたい）保育サービスはありますか。※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。（○はいくつでも）



0～2歳の現在の利用状況は、「どれも利用していない」が68.4%と最も多くなっています。利用している中では、「認可保育所」が20.6%と最も多くなっています。今後の利用意向は、「認可保育所」が44.9%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の預かり時間）」が19.4%、「幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）」が16.9%などとなっています。

3～6歳の現在の利用状況は、「幼稚園（通常の預かり時間）」が42.7%と最も多く、次いで「認可保育所」が32.9%、「幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）」が14.9%などとなっています。今後の利用意向は、「幼稚園（通常の預かり時間）」の39.2%と、「認可保育所」34.8%が3割を超えています。

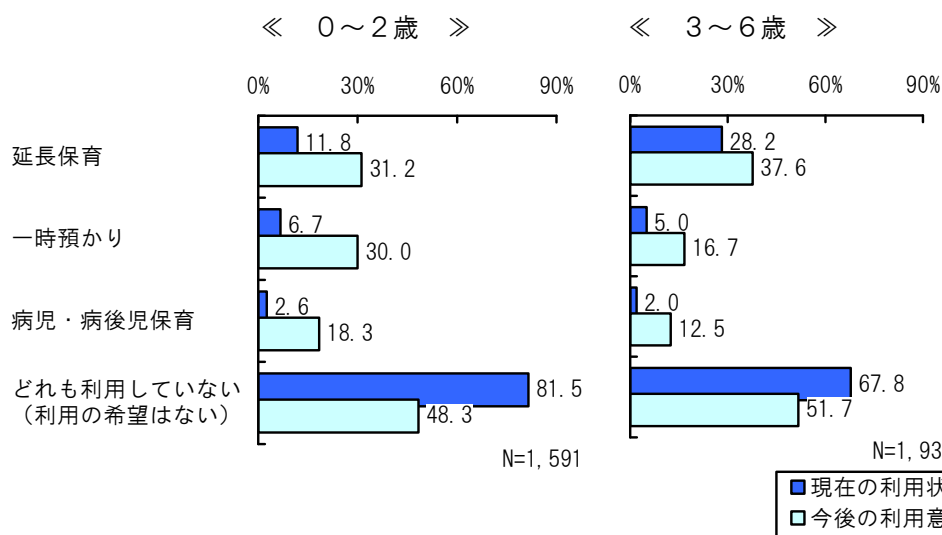
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、0～2歳はいずれの規模も「認可保育所」、「認証・認定保育施設」、「幼稚園（通常の預かり時間）」、「幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）」、「認定こども園」などの利用希望が多くなっています。

(13) 現在の日中の定期的保育以外の利用状況、今後の利用意向〔問8、問15〕

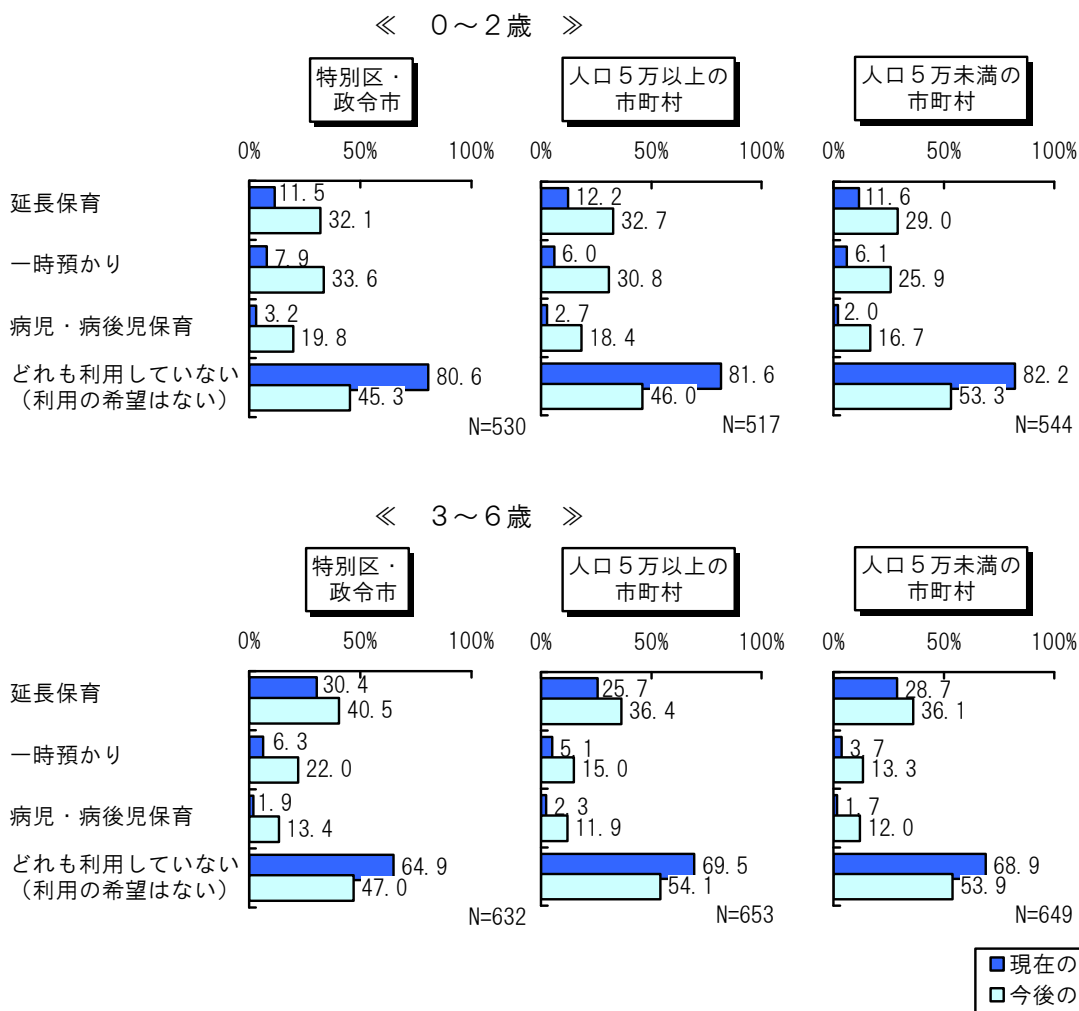
お子様は現在、その他の保育サービスを利用していますか。また、今後希望したい（または続けたい）保育サービスはありますか。※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。（〇はいくつでも）



0～2歳の現在の利用状況は、「どれも利用していない」が81.5%と8割を超えています。利用している中では、「延長保育」が11.8%となっています。今後の利用意向は、「延長保育」の31.2%と、「一時預かり」の30.0%が3割を超えています。

3～6歳の現在の利用状況は、「どれも利用していない」が67.8%と最も多くなっています。利用している中では、「延長保育」が28.2%となっています。今後の利用意向は、「延長保育」が37.6%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



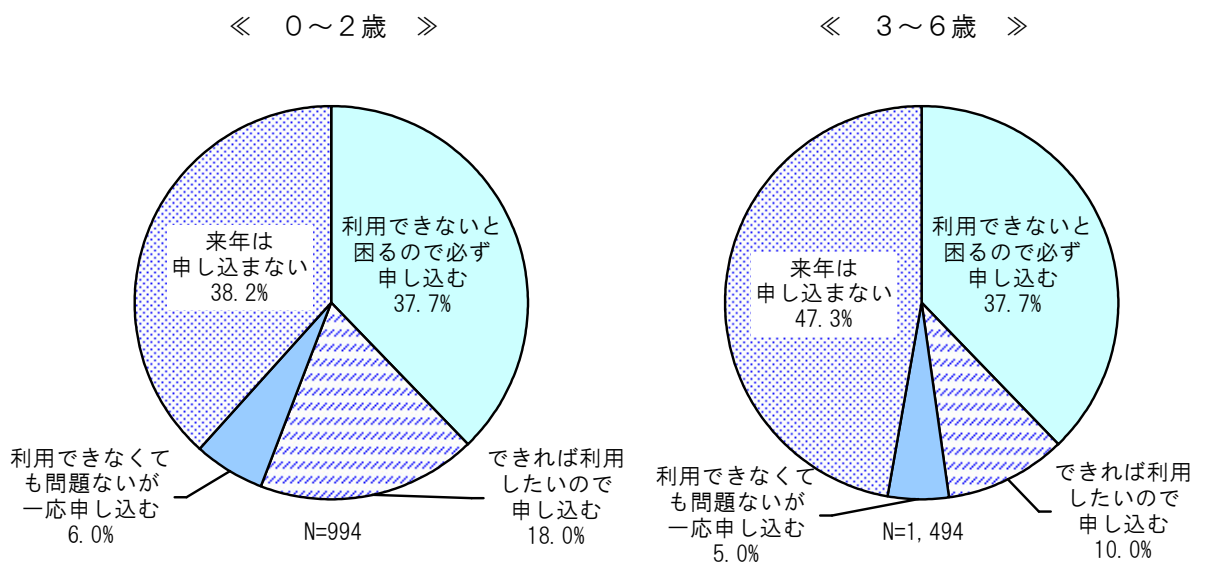
人口規模別にみると、0～2歳はいずれの規模も「延長保育」、「一時預かり」、「病児・病後児保育」の今後の利用意向が多くなっています。

3～6歳の「一時預かり」をみると、特別区・政令市は現在の利用状況が6.3%に対し、今後の利用意向は22.0%と、15.7ポイント高くなっています。

(14) 来年4月からの利用を申し込むか [問9、問16]

(日中の定期的保育〔希望〕で認可保育所、認証・認定保育施設、幼稚園(通常の前かり時間)、認定こども園を希望と回答された方のみ)

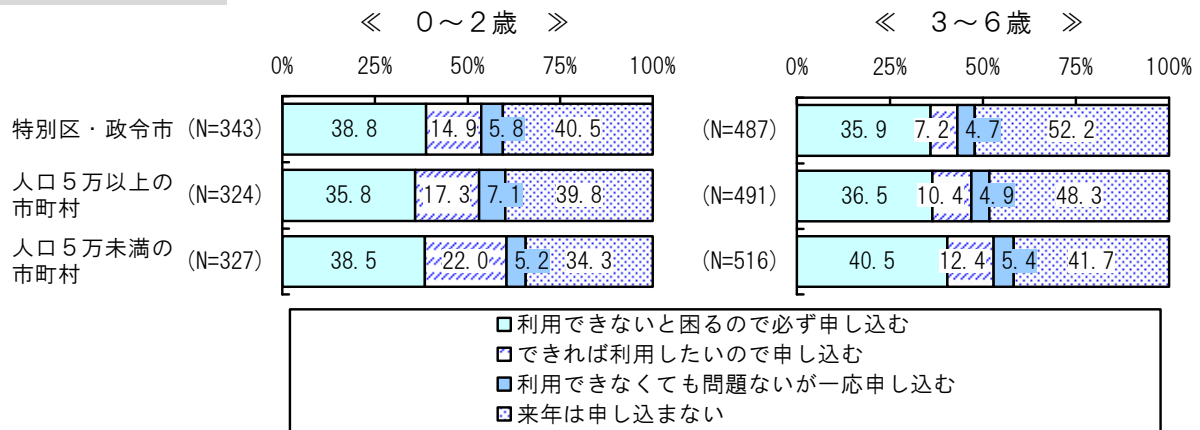
希望されたサービスは、来年の4月から利用するために、実際に申し込みをされますか。(それぞれ○は1つ)



0～2歳の来年4月からの申し込みは、「来年は申し込まない」の38.2%と、「利用できないと困るので必ず申し込む」の37.7%が3割を超えています。

3～6歳の来年4月からの申し込みは、「来年は申し込まない」が47.3%と多く、次いで「利用できないと困るので必ず申し込む」が37.7%、「できれば利用したいので申し込む」が10.0%などとなっています。

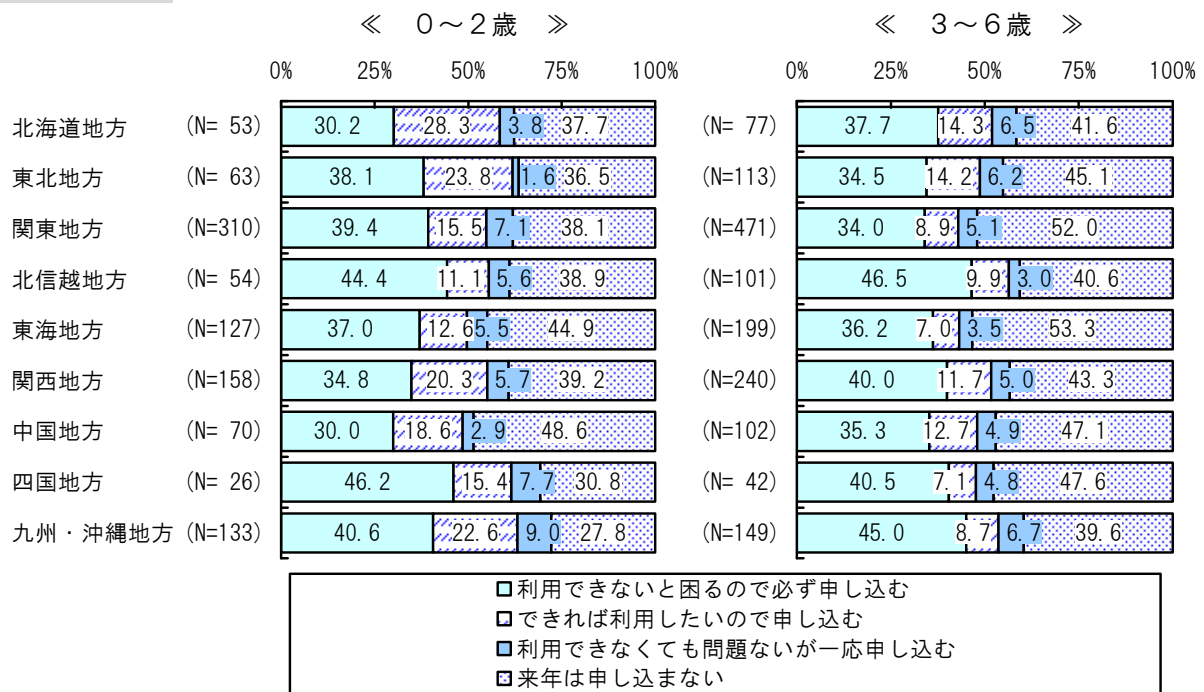
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は特別区・政令市が40.5%、人口5万以上の市町村が39.8%と、いずれも4割前後となっています。

3～6歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は特別区・政令市が52.2%と多く、次いで人口5万以上の市町村が48.3%、人口5万未満の市町村が41.7%となっています。

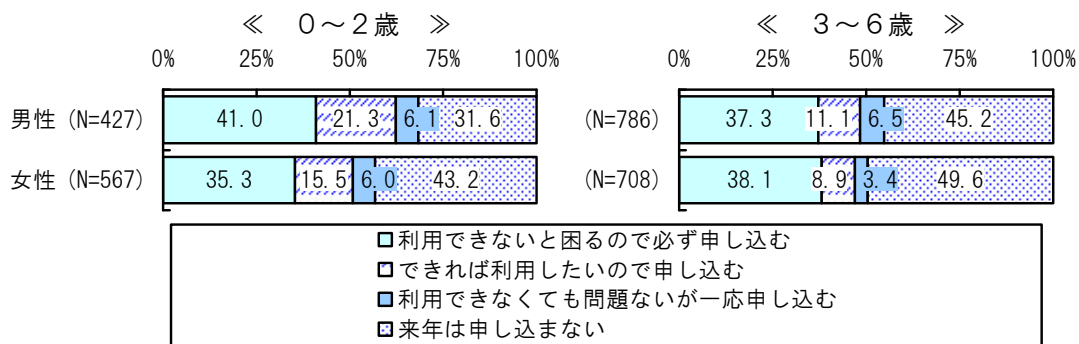
◆ 地方別 ◆



地方別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は中国地方が48.6%、東海地方が44.9%と、いずれも4割を超えています。

3～6歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は東海地方が53.3%、関東地方が52.0%と、いずれも5割を超えています。

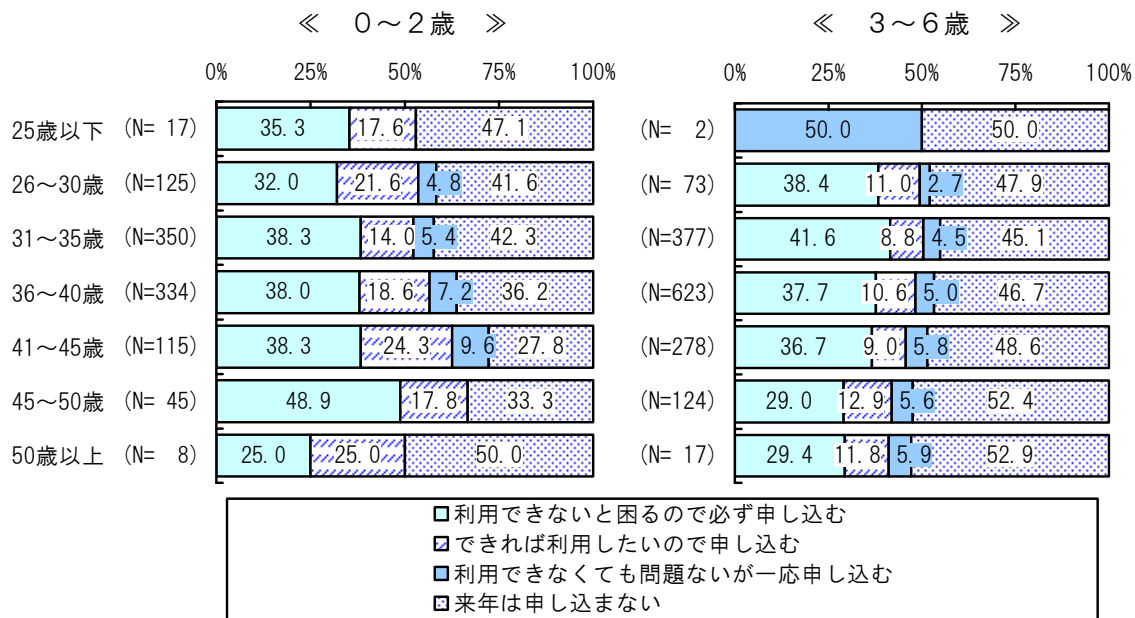
◆ 性別 ◆



性別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は女性が43.2%、男性が31.6%と、女性の方が11.6ポイント高くなっています。

3～6歳での大きな差異はみられません。

◆ 年齢別 ◆



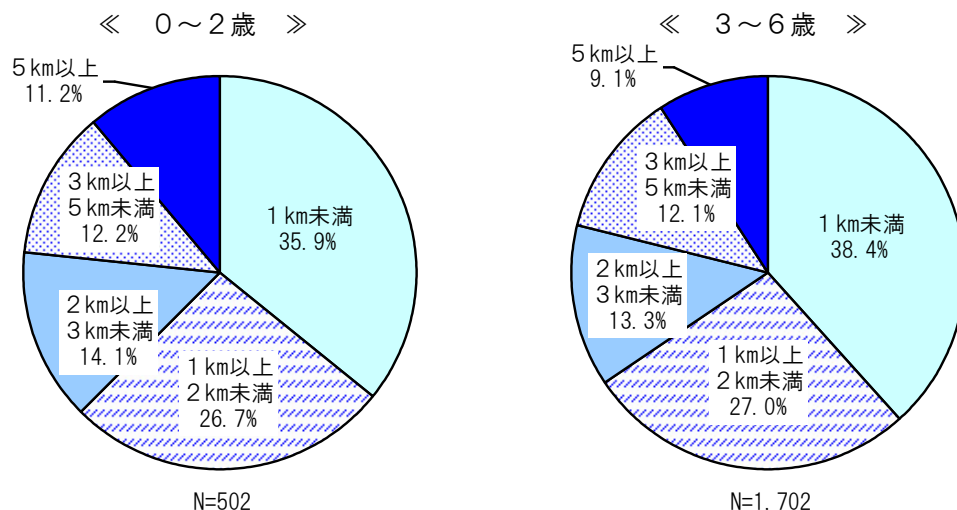
年齢別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は35歳以下で4割を超えています。

3～6歳の来年4月からの申し込みをみると、「利用できないと困るので必ず申し込む」は31～35歳が41.6%と、他の年齢よりも多くなっています。

(15) 子どもの主な預かり先までの距離 [問 10、問 17]

(日中の定期的保育サービスを利用している方のみ)

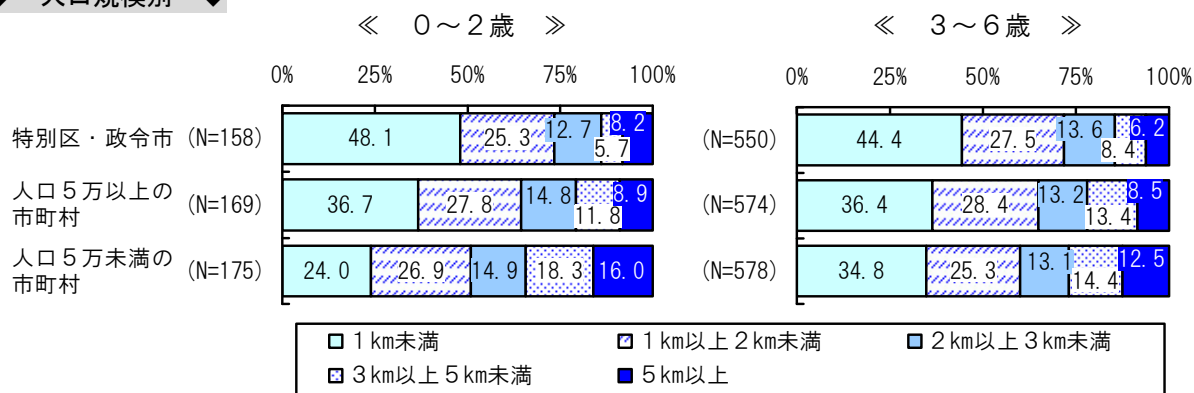
ご自宅からお子様の主な預かり先までの距離は、概ねどの程度ですか。



0～2歳の主な預かり先までの距離は、「1 km 未満」が 35.9%と多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が 26.7%、「2 km 以上 3 km 未満」が 14.1%などとなっています。

3～6歳の主な預かり先までの距離は、「1 km 未満」が 38.4%と最も多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が 27.0%、「2 km 以上 3 km 未満」が 13.3%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆



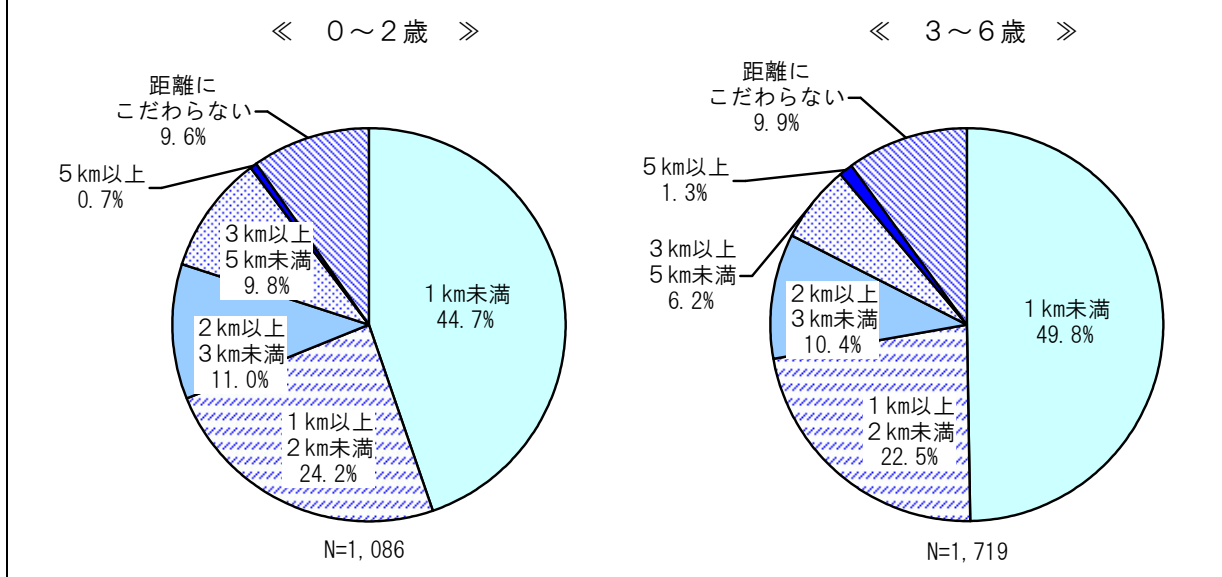
人口規模別に0～2歳の主な預かり先までの距離をみると、「1 km 未満」は特別区・政令市が 48.1%と最も多く、次いで人口5万以上の市町村が 36.7%、人口5万未満の市町村が 24.0%となっています。

3～6歳の主な預かり先までの距離をみると、「1 km 未満」は特別区・政令市が 44.4%と、他の人口規模よりも多くなっています。

(16) 子どもの主な預かり先までの希望距離 [問 12、問 19]

(日中の定期的保育サービスの利用を希望している方のみ)

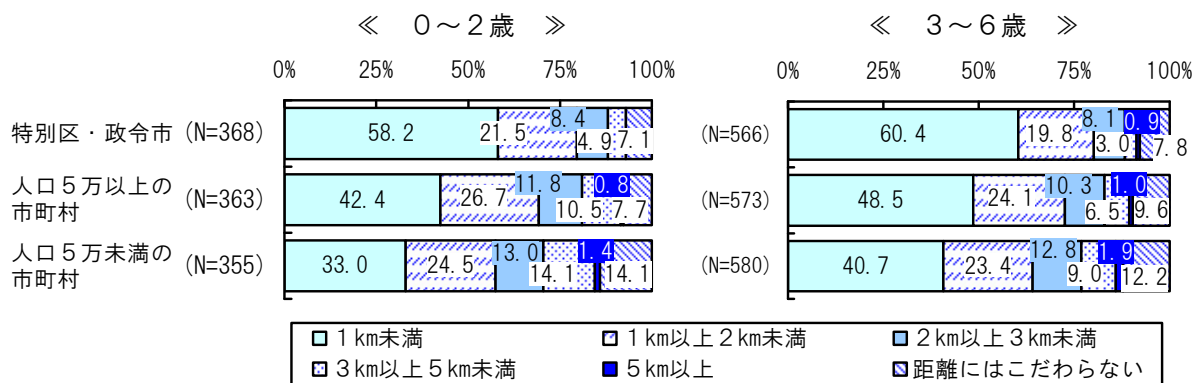
ご自宅からお子様の主な預かり先までの希望する距離はありますか。



0～2歳の主な預かり先までの希望距離は、「1 km 未満」が44.7%と最も多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が24.2%、「2 km 以上 3 km 未満」が11.0%などとなっています。

3～6歳の主な預かり先までの希望距離は、「1 km 未満」が49.8%と最も多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が22.5%、「2 km 以上 3 km 未満」が10.4%などとなっています。

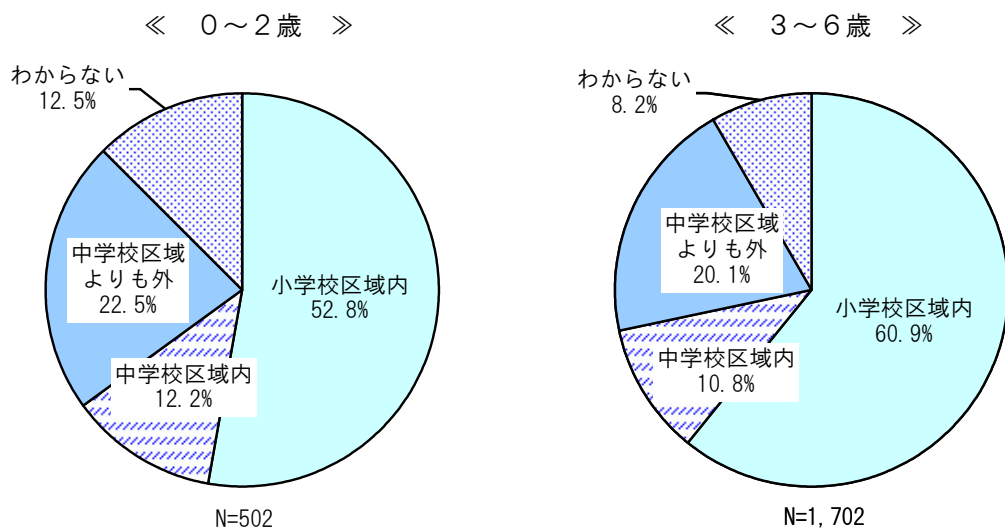
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別に主な預かり先までの希望距離をみると、0～2歳、3～6歳ともに人口規模が大きいほど「1 km 未満」が多くなっています。

(17) 子どもの主な預かり先の区域 [問 11、問 18]

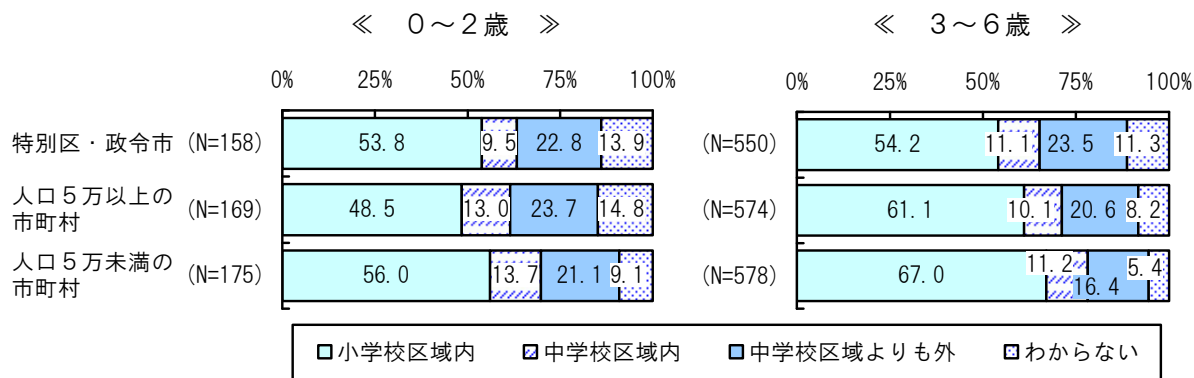
ご自宅からお子様の主な預かり先までの距離は、次のうちどれに当てはまりますか。



0～2歳の主な預かり先までの区域は、「小学校区域内」が 52.8%と最も多く、次いで「中学校区域よりも外」が 22.5%、「中学校区域内」が 12.2%となっています。

3～6歳の主な預かり先までの区域は、「小学校区域内」が 60.9%と最も多く、次いで「中学校区域よりも外」が 20.1%、「中学校区域内」が 10.8%となっています。

◆ 人口規模別 ◆

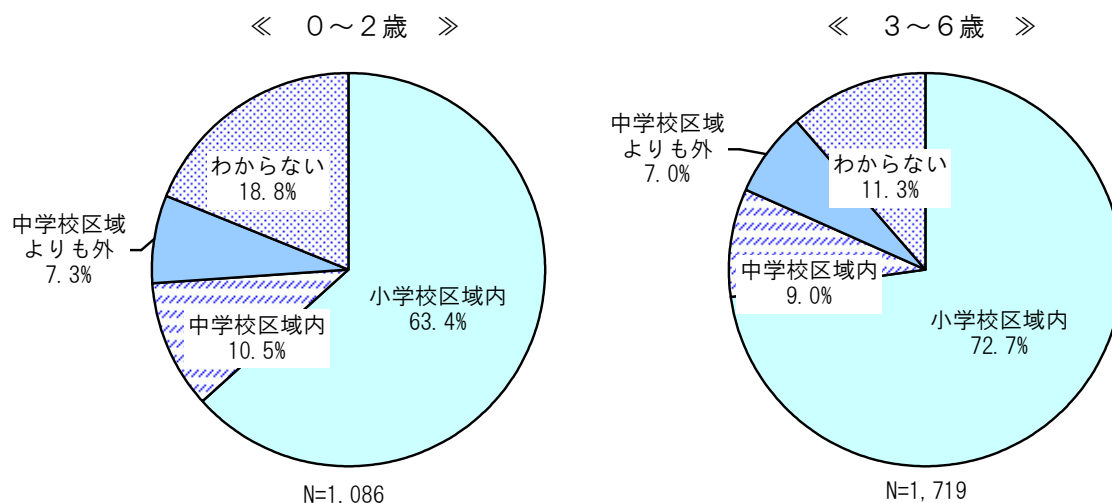


人口規模別に0～2歳の主な預かり先までの区域をみると、「小学校区域内」は特別区・政令区と人口5万未満の市町村で5割を超えています。

3～6歳の主な預かり先までの区域をみると、「小学校区域内」は人口規模が小さいほど多くなっています。

(18) 子どもの主な預かり先の希望区域 [問 13、問 20]

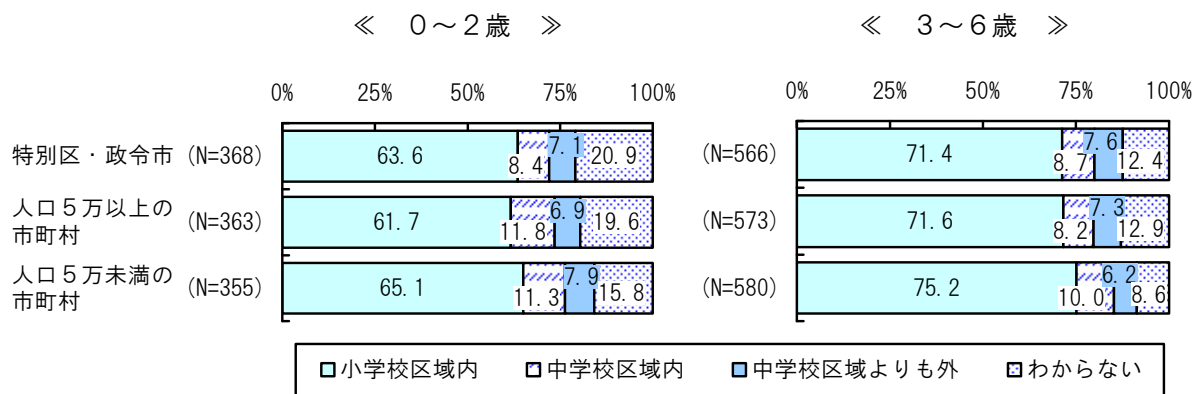
ご自宅からお子様の主な預かり先までの希望する距離は、次のうちどれに当てはまりますか。



0～2歳の主な預かり先までの希望区域は、「小学校区域内」が63.4%と最も多く、次いで「中学校区域内」が10.5%、「中学校区域よりも外」が7.3%となっています。

3～6歳の主な預かり先までの希望区域は、「小学校区域内」が72.7%と最も多く、次いで「中学校区域内」が9.0%、「中学校区域よりも外」が7.0%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



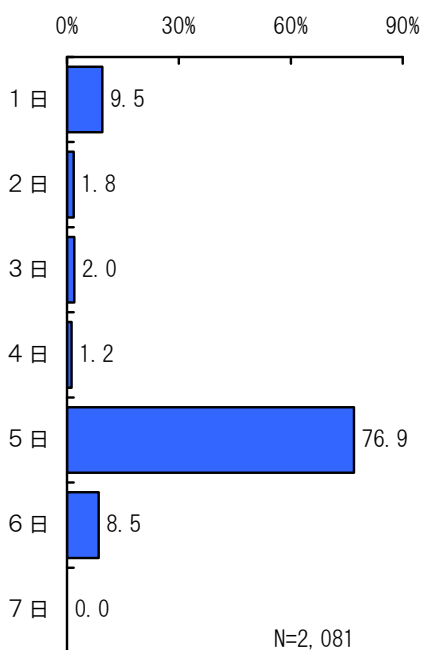
人口規模別に主な預かり先までの希望区域をみると、0～2歳、3～6歳ともに大きな差異はみられません。

●○ 就学前（0～6歳）のお子様について ○●

(19) 保育サービスに預ける日数（週平均）[問 21、問 24]

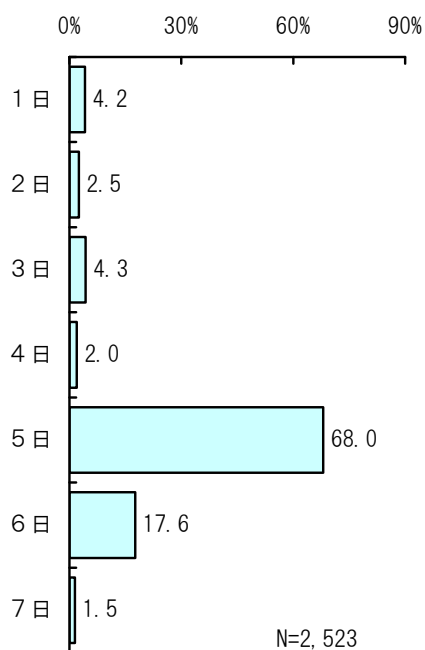
（保育サービスを利用している方のみ）

現在預けている平均的な利用日数（延長保育なども含める）をお答えください。



（現在利用していない方も含めて）

保育サービスについて、希望する利用日数（延長保育なども含める）をお答えください。
（現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点で）

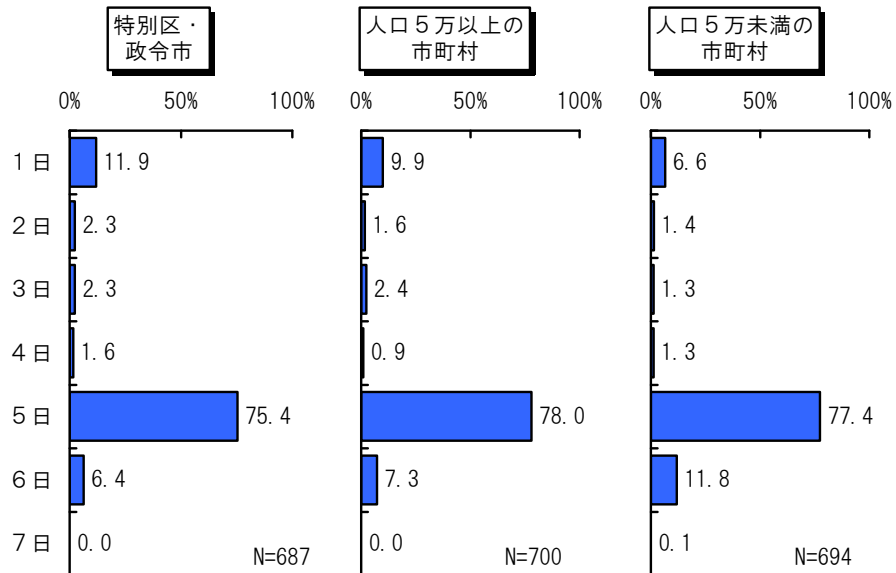


保育サービスを利用している方の現在の平均利用日数は、「5 日」が 76.9%と最も多くなっています。

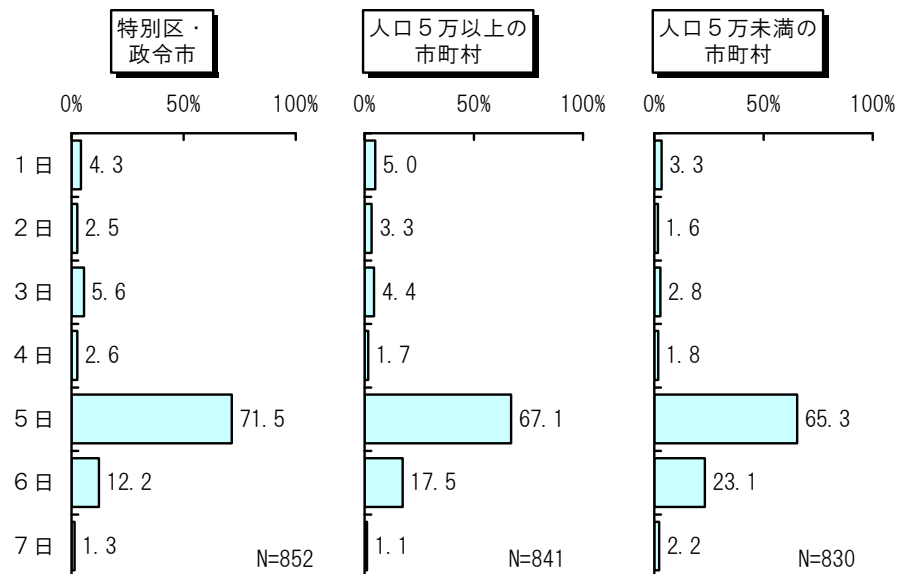
現在保育サービスを利用していない方も含めた利用希望日数は、「5 日」が 68.0%と最も多く、次いで「6 日」が 17.6%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

現在の状況



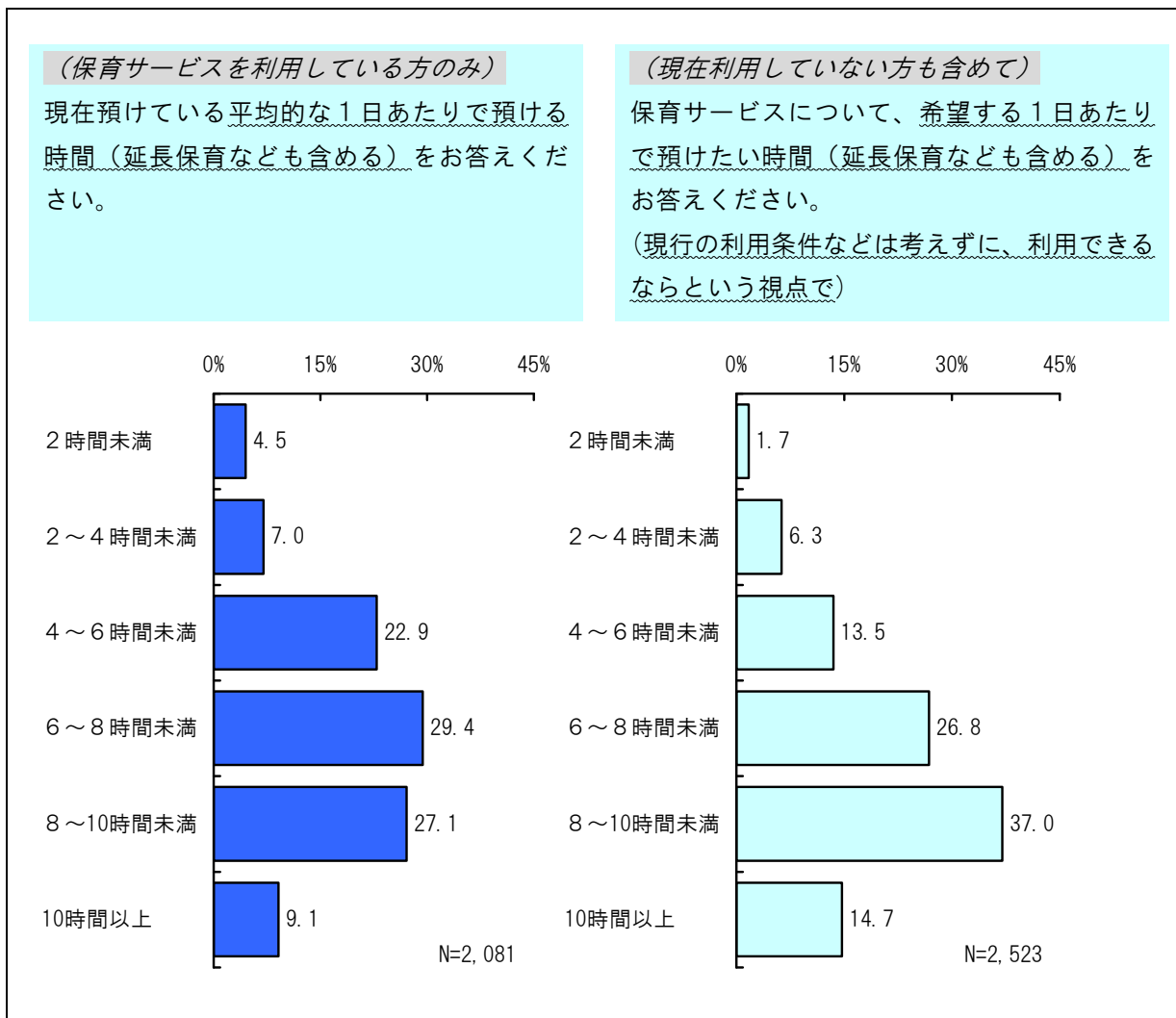
今後の意向



人口規模別に現在の状況を見ると、いずれも「5日」が7割を超えています。

今後の意向をみると、「6日」は人口5万未満の市町村が23.1%と多く、次いで人口5万以上の市町村が17.5%、特別区・政令市が12.2%となっており、人口規模が小さいほど「6日」を希望する人が多くなっています。

(20) 保育サービスに預けている時間（日平均）[問 22、問 25]

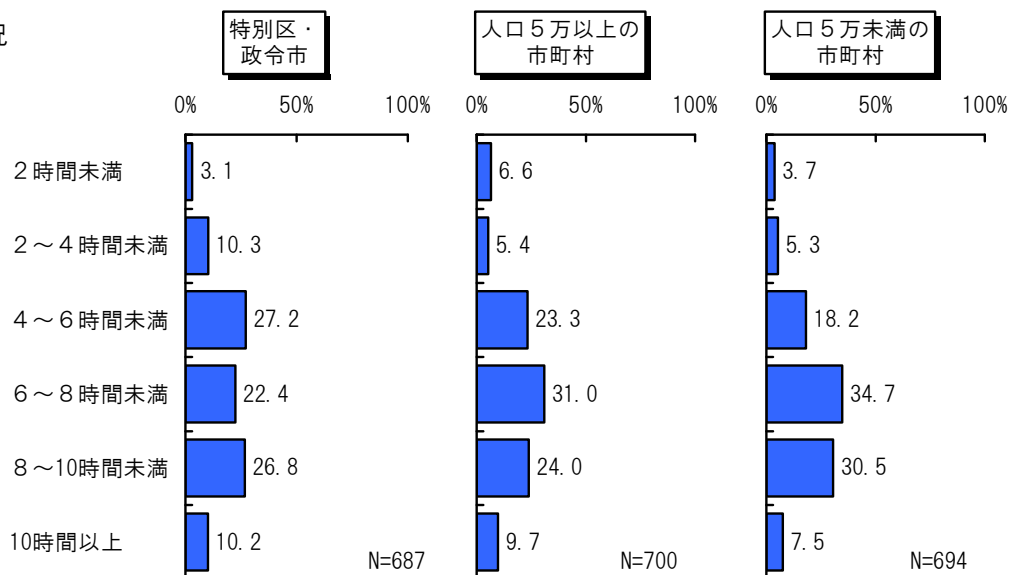


保育サービスを利用している方の1日あたりの平均預け時間は、「6～8時間未満」の29.4%、「8～10時間未満」の27.1%、「4～6時間未満」の22.9%が2割を超えています。

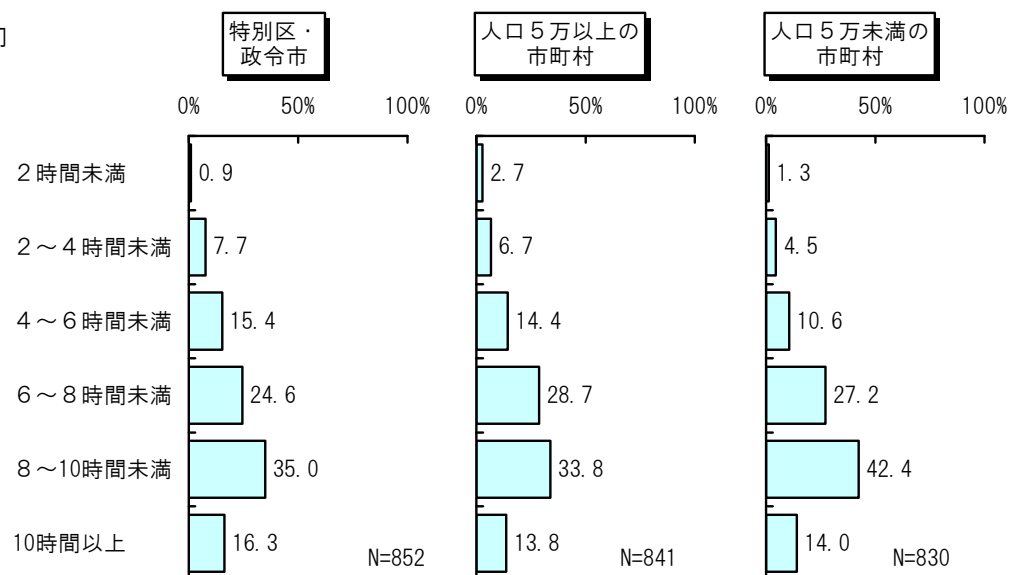
現在保育サービスを利用していない方も含めた預け希望時間は、「8～10時間未満」が37.0%と最も多く、次いで「6～8時間未満」が26.8%、「10時間以上」が14.7%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

現在の状況



今後の意向



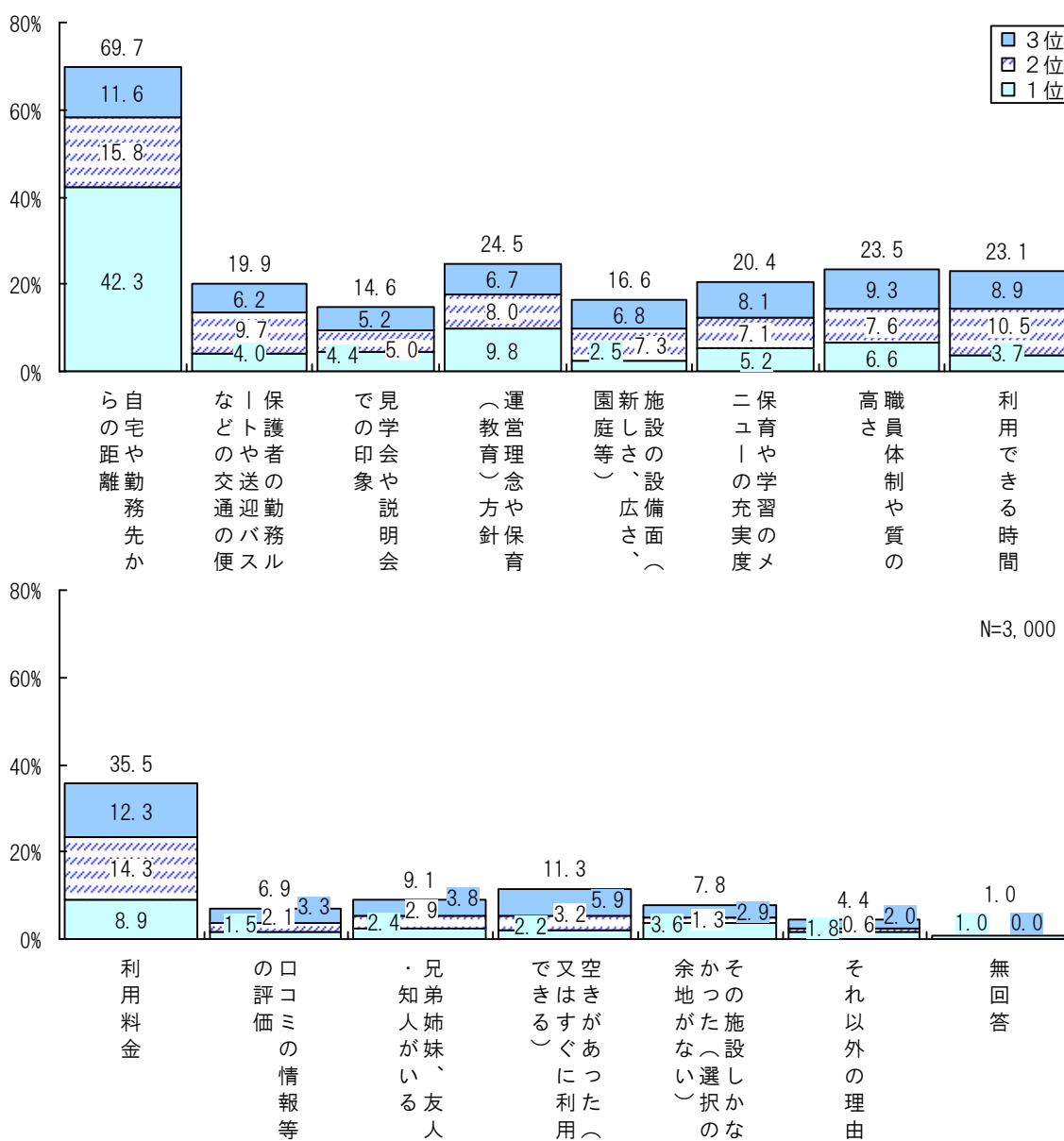
人口規模別に現在の状況を見ると、「6～8時間未満」は人口5万未満の市町村が34.7%、人口5万以上の市町村が31.0%と、いずれも3割を超えています。

今後の意向を見ると、「8～10時間未満」は人口5万未満の市町村が42.4%と多く、次いで特別区・政令市が35.0%、人口5万以上の市町村が33.8%となっています。

(21) 保育サービス事業所を選ぶポイント [問 23]

(現在利用していない方も含めて)

サービス提供事業所を選んだ（又は選ぶ）主なポイントはどれですか。重視する点を上位3つまで選び、枠内に選択肢番号をご記入ください。



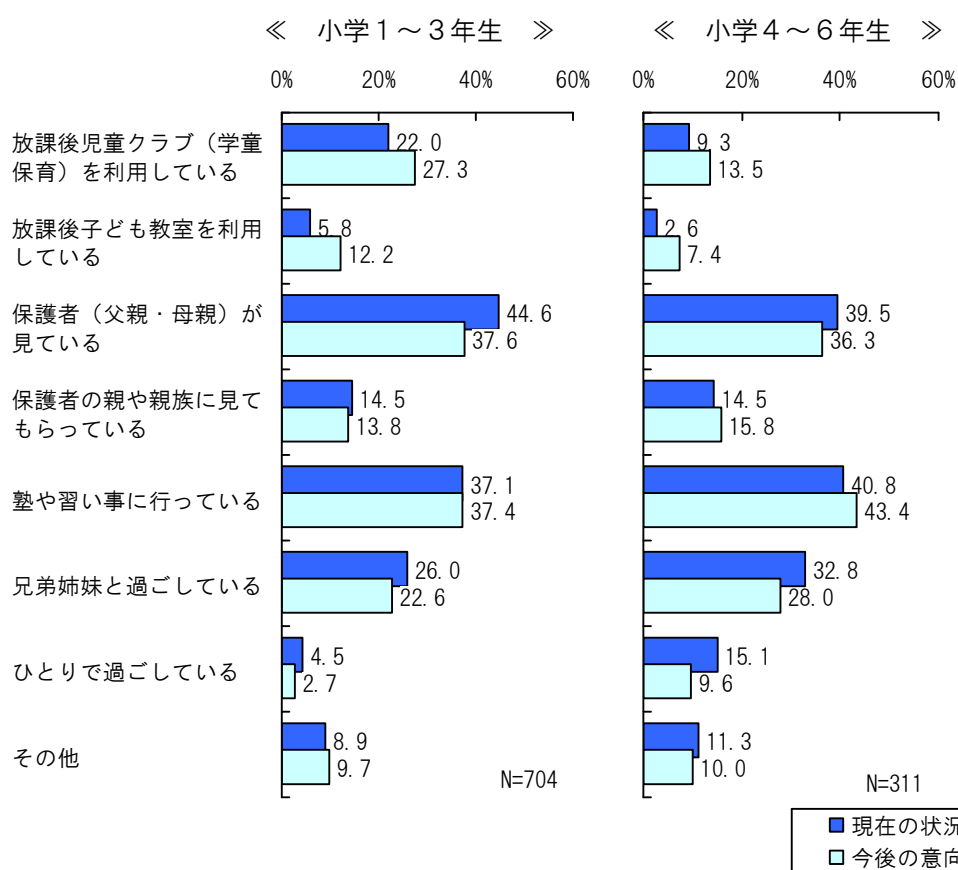
保育サービス事業所を選ぶポイントは、「自宅や勤務先からの距離」が69.7%と最も多く、次いで「利用料金」が35.5%、「運営理念や保育（教育）方針」が24.5%などとなっています。

●○ 小学生のお子様について ○●

5 放課後の過ごし方について

(22) 現在の放課後の過ごし方、今後の意向 [問 26、問 30]

お子様は、平日の放課後、主にどこで見てもらっていますか。

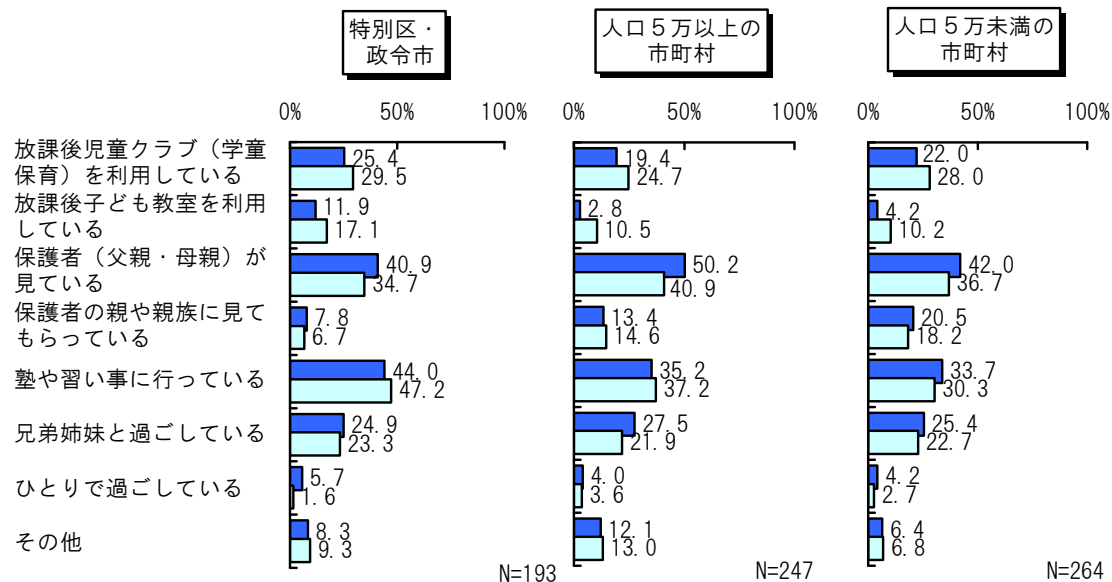


小学1～3年生の現在の放課後の過ごし方は、「保護者（父親・母親）が見ている」が44.6%と最も多く、次いで「塾や習い事に行っている」が37.1%、「兄弟姉妹と過ごしている」が26.0%などとなっています。今後の意向は、「保護者（父親・母親）が見ている」の37.6%と、「塾や習い事に行っている」の37.4%が多く3割を超えています。

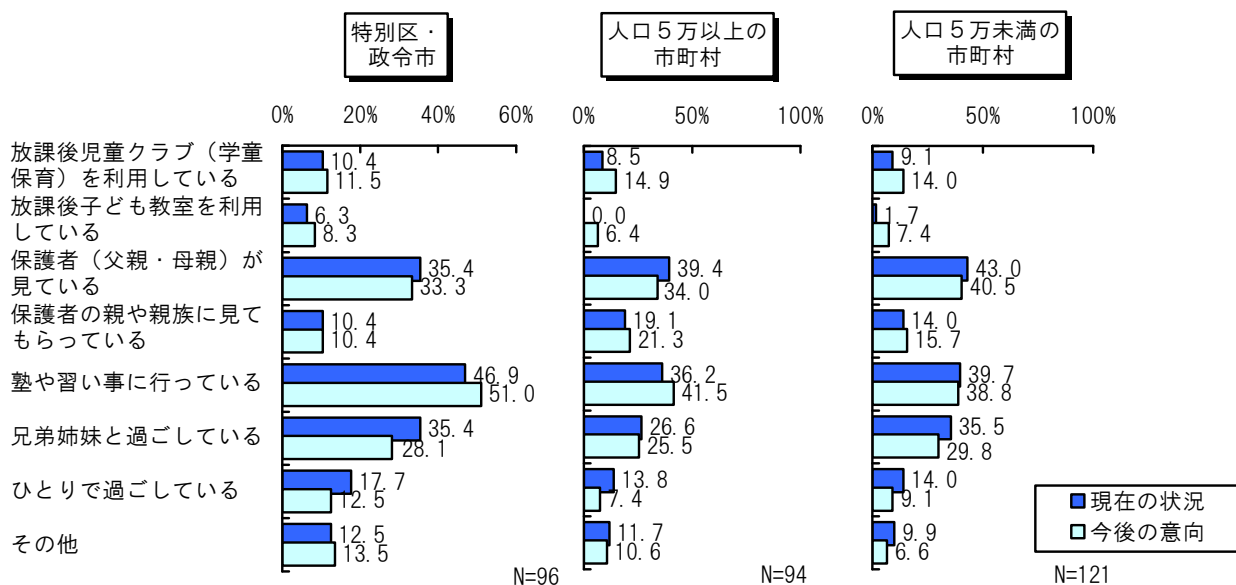
小学4～6年生の現在の放課後の過ごし方は、「塾や習い事に行っている」の40.8%、「保護者（父親・母親）が見ている」の39.5%、「兄弟姉妹と過ごしている」の32.8%が3割を超えています。今後の意向は、「塾や習い事に行っている」が43.4%と最も多く、次いで「保護者（父親・母親）が見ている」が36.3%、「兄弟姉妹と過ごしている」が28.0%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

《 小学1～3年生 》



《 小学4～6年生 》



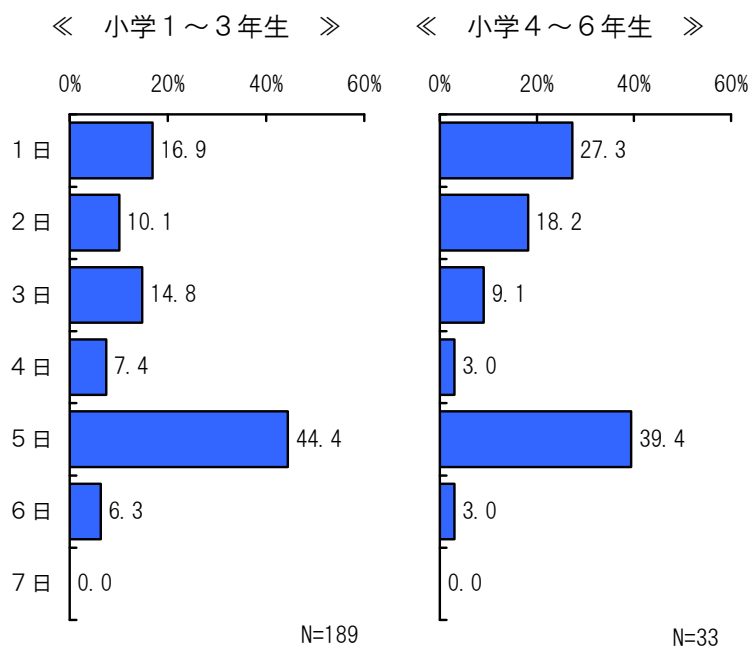
人口規模別にみると、小学1～3年生の現在の状況は、「保護者（父親・母親）が見ている」が人口5万以上の市町村で50.2%と多くなっています。

小学4～6年生の「塾や習い事に行っている」をみると、特別区・政令市は現在の状況（46.9%）、今後の意向（51.0%）ともに、他の人口規模よりも多くなっています。

(23) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室利用日数（週平均）[問 27、問 31]

（放課後児童クラブ(学童保育)や放課後子ども教室を利用している方のみ）

現在預けている平均的な利用頻度をお答えください。

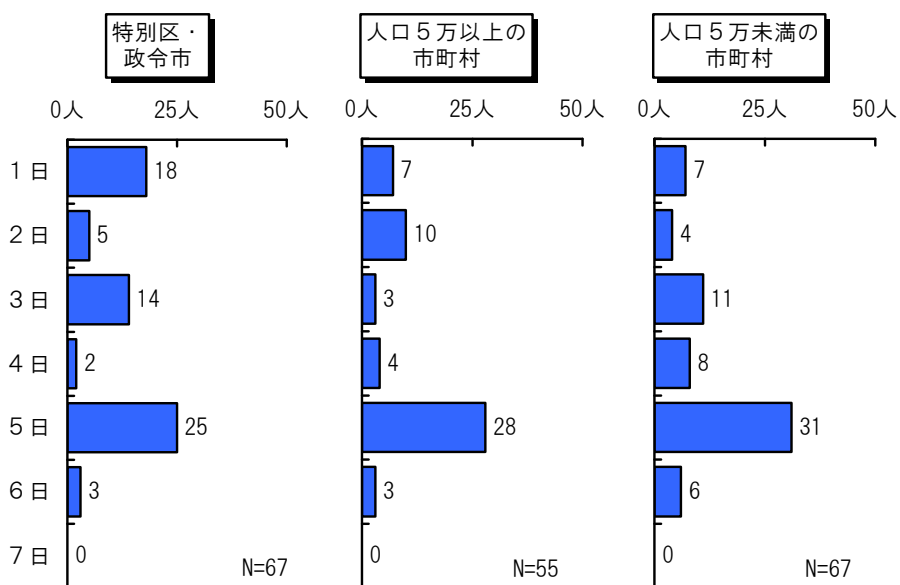


小学1～3年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の平均利用頻度は、「5日」が44.4%と最も多く、次いで「1日」が16.9%、「3日」が14.8%などとなっています。

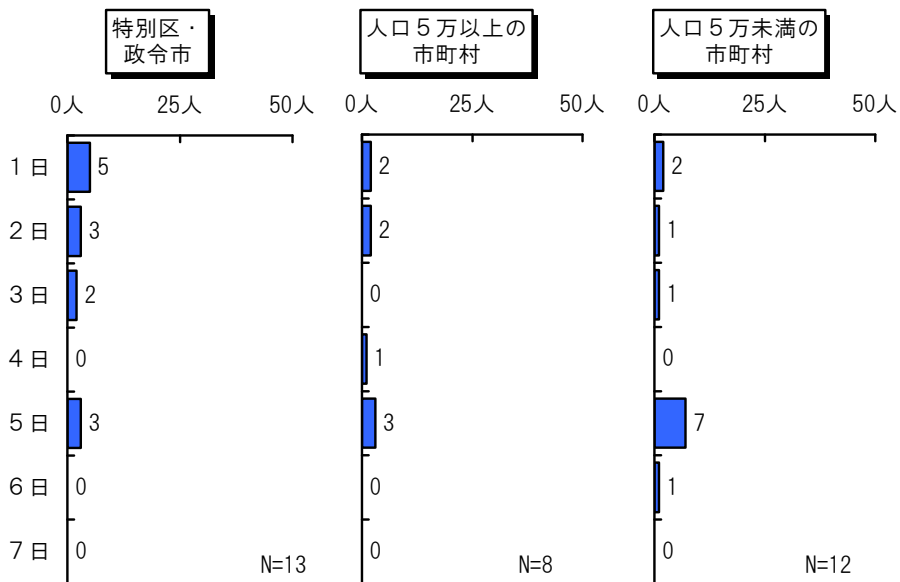
小学4～6年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の平均利用頻度は、「5日」が39.4%と最も多く、次いで「1日」が27.3%、「2日」が18.2%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

《 小学1～3年生 》



《 小学4～6年生 》

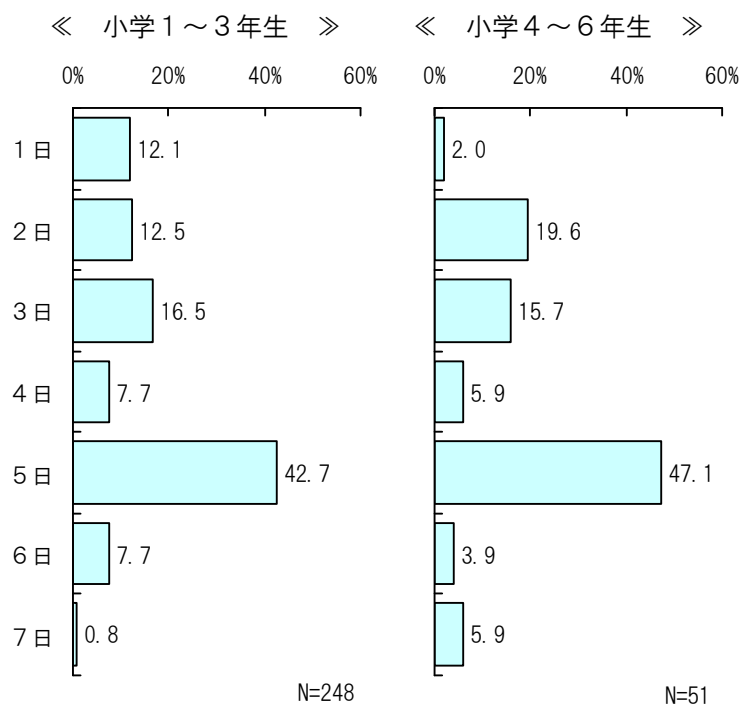


人口規模別の結果はグラフの通りとなっています。

(24) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室利用希望日数（週平均）[問 28、問 32]

（現在利用していない方も含めて）

放課後児童クラブ（学童保育）や放課後子ども教室について、希望する利用頻度をお答えください。

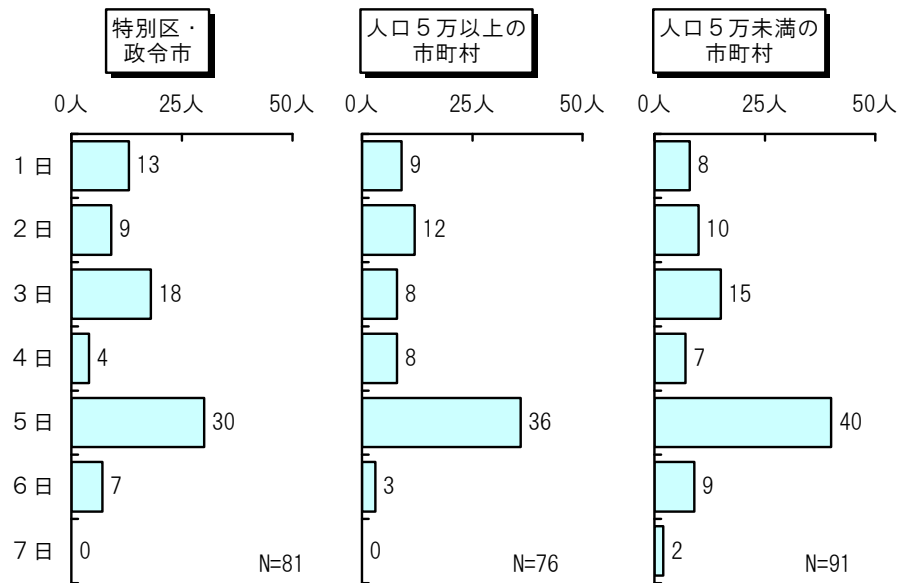


小学1～3年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の利用意向は、「5日」が42.7%と最も多く、次いで「3日」が16.5%、「2日」が12.5%、「1日」が12.1%などとなっています。

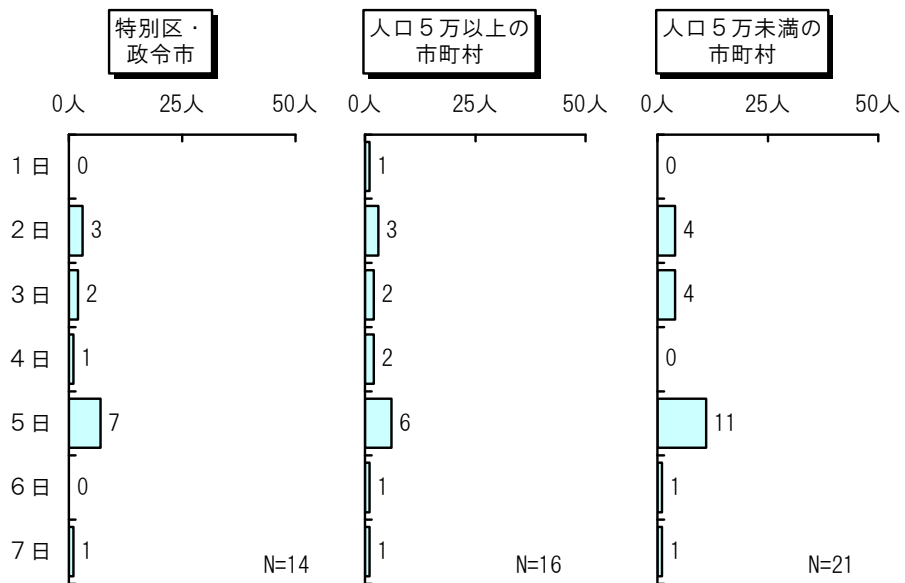
小学4～6年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の利用意向は、「5日」が47.1%と最も多く、次いで「2日」が19.6%、「3日」が15.7%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

《 小学1～3年生 》



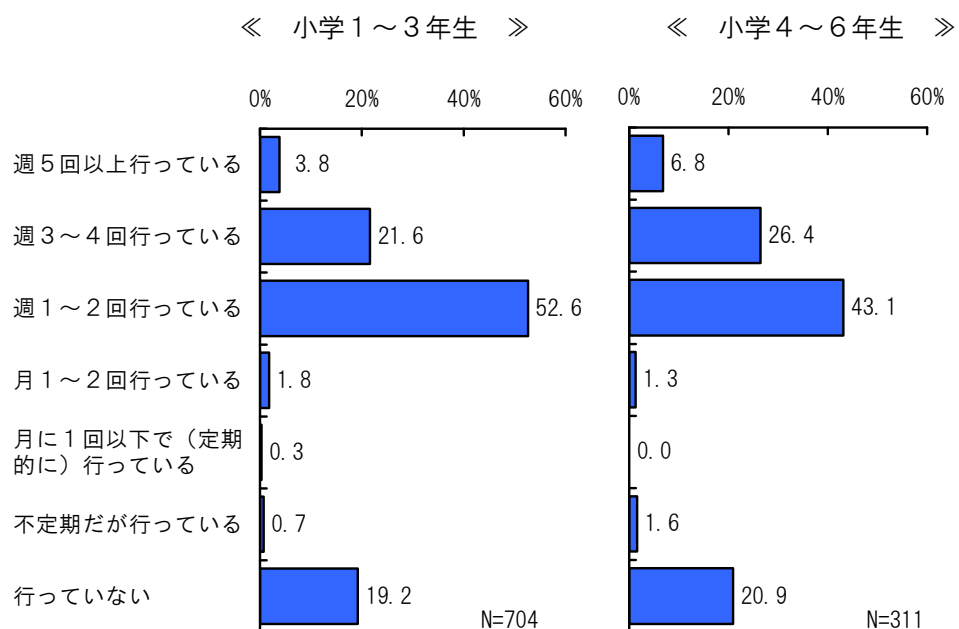
《 小学4～6年生 》



人口規模別の結果はグラフの通りとなっています。

(25) 現在習い事に通っているか[問 29、問 33]

お子様は現在、塾や習い事に週何回行っていますか。(○は1つ)

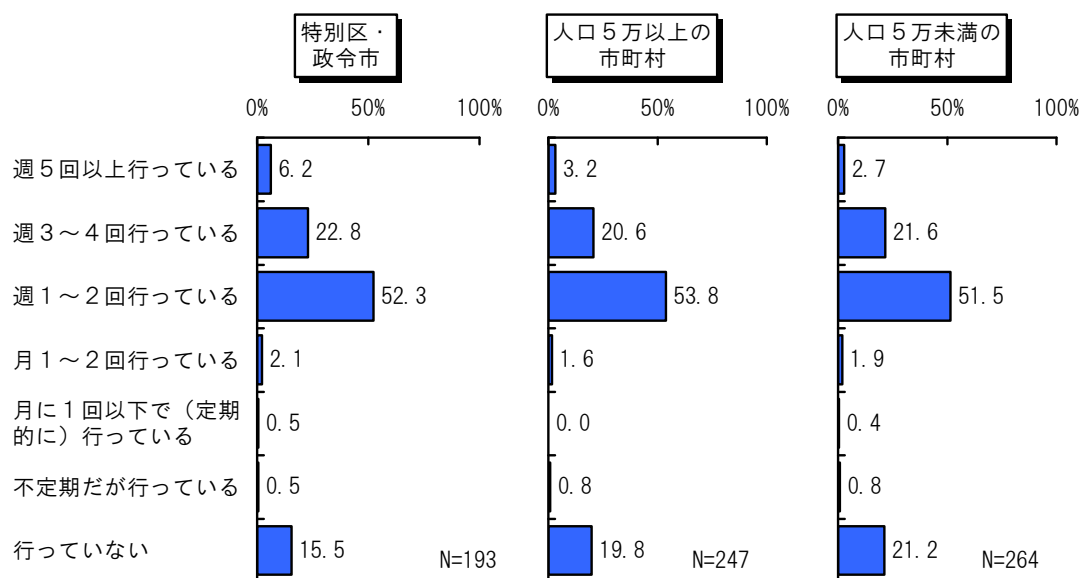


小学1～3年生の習い事の状況は、「週1～2回行っている」が52.6%と最も多く、次いで「週3～4回行っている」が21.6%などとなっています。

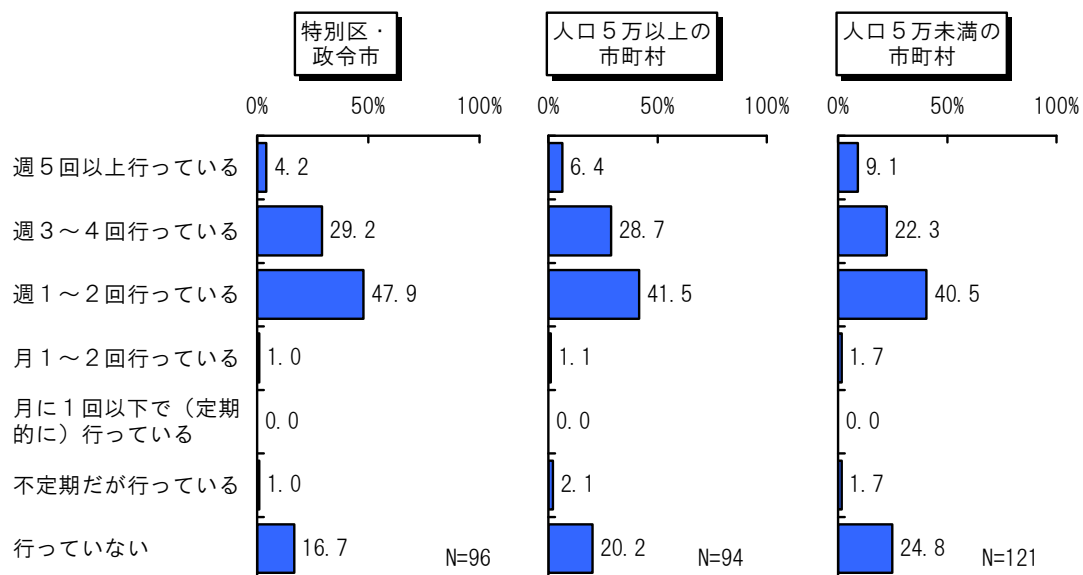
小学4～6年生の習い事の状況は、「週1～2回行っている」が43.1%と最も多く、次いで「週3～4回行っている」が26.4%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

《 小学1～3年生 》



《 小学4～6年生 》



人口規模別に小学4～6年生の習い事の状況をみると、「週3～4回行っている」は特別区・政令市が29.2%、人口5万以上の市町村が28.7%、人口5万未満の市町村が22.3%となっており、人口規模が大きい方が多くなっています。

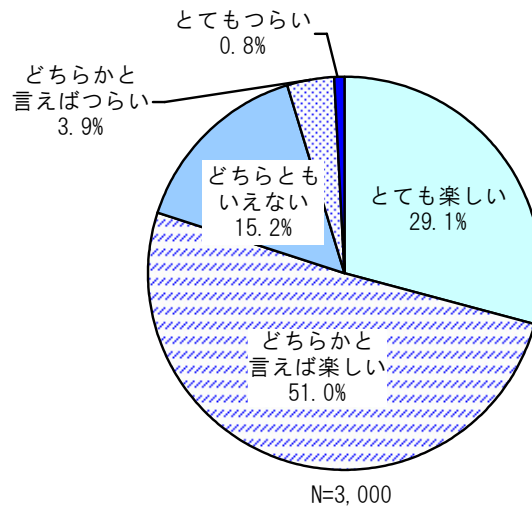
小学1～3年生での大きな差異はみられません。

●○ すべての方が回答 ○●

6 子育て全般について

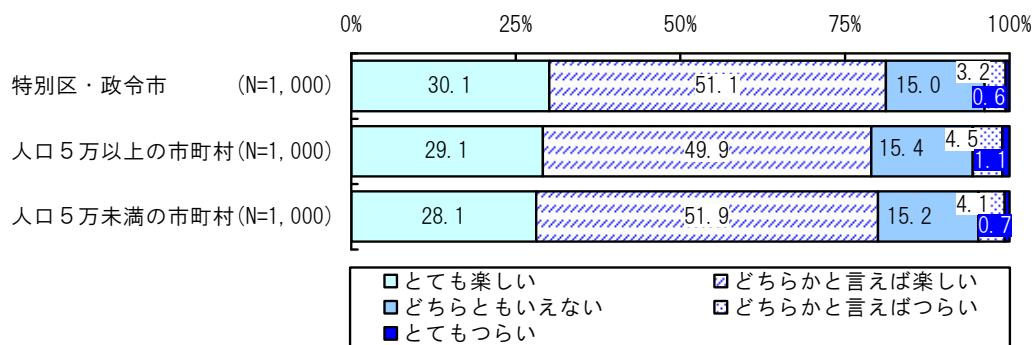
(26) 子育ては楽しいか[問 34]

子育てについて、どのように感じていますか。(○は1つ)



子育ては楽しいかは、「どちらかと言えば楽しい」が 51.0%と最も多く、「とても楽しい」の 29.1%を合わせた『楽しい』は80.1%となっています。

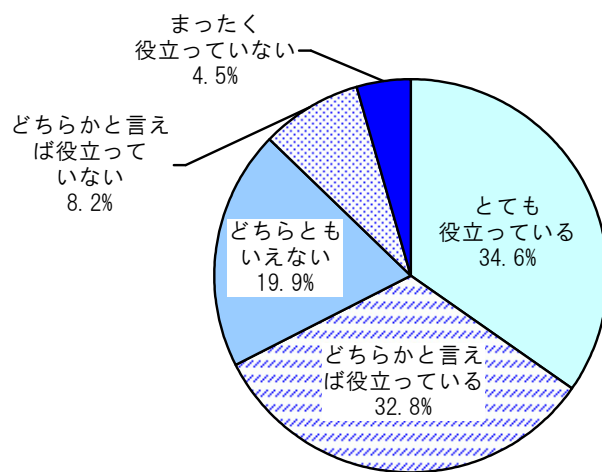
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、いずれの規模も大きな差異はみられません。

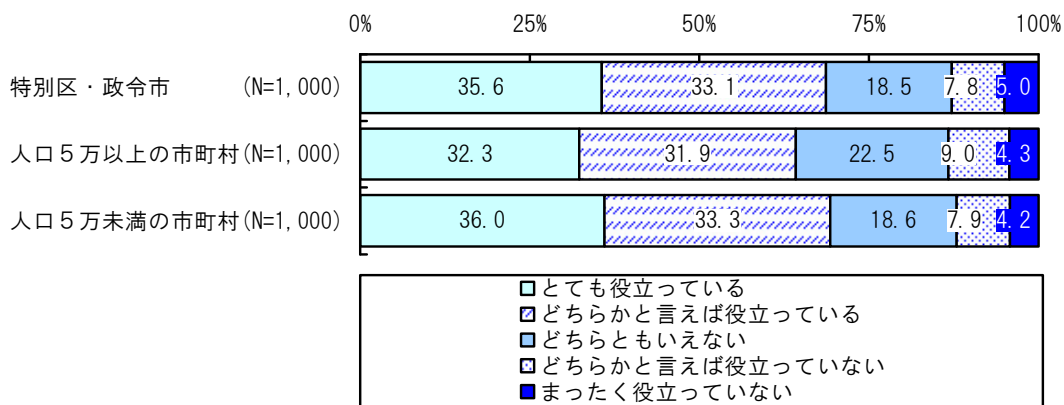
(27) 児童手当は、子育てに係る経済的負担の軽減に役立っているか[問 35]

児童手当（昨年度までは「こども手当」）は、子育てに係る経済的負担の軽減にどの程度役立っていますか。（○は1つ）



児童手当は、子育てに係る経済的負担の軽減に役立っているかは、「とても役立っている」の 34.6%と、「どちらかと言えば役立っている」の 32.8%を合わせた『役立っている』が 67.4%となっています。

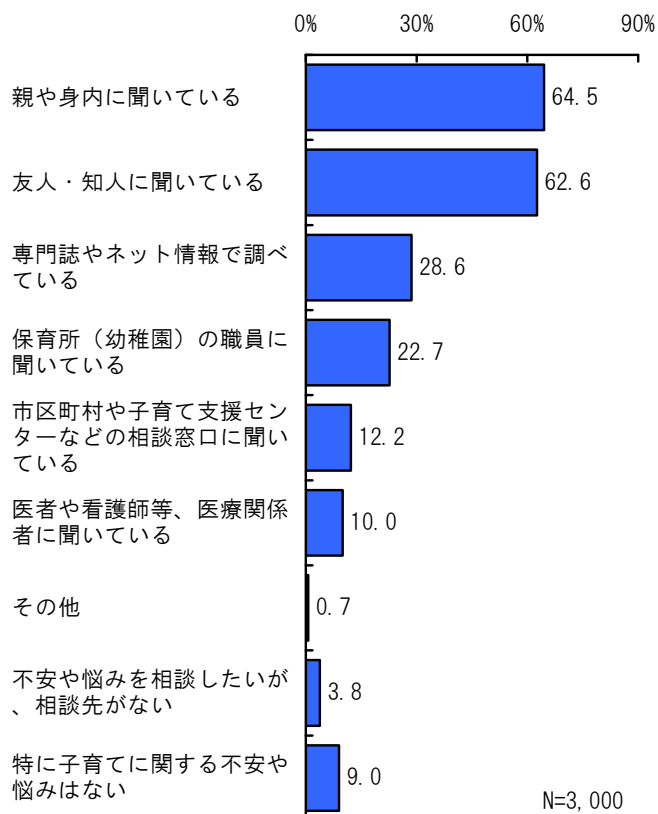
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、いずれの規模も大きな差異はみられません。

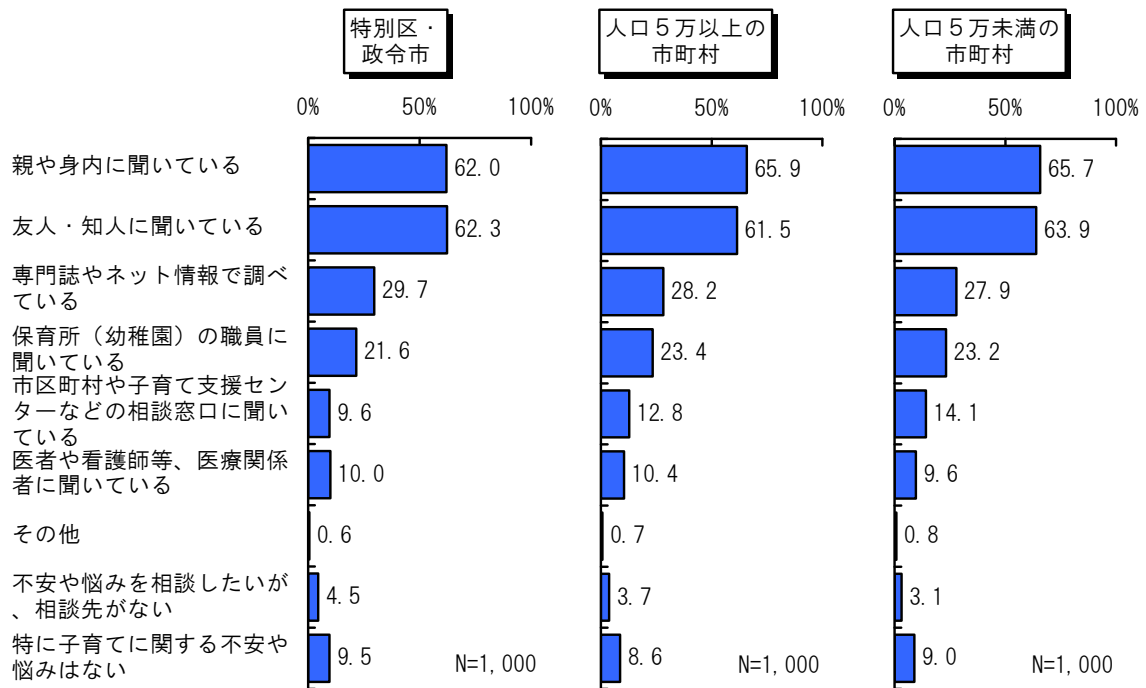
(28) 子育ての不安や悩みの対応法[問 36]

子育ての不安や悩みには、どのように対応していますか。(〇はいくつでも)



子育ての不安や悩みの対応法は、「親や身内に聞いている」の64.5%と、「友人・知人に聞いている」の62.6%が6割を超えています。次いで「専門誌やネット情報で調べている」が28.6%、「保育所(幼稚園)の職員に聞いている」が22.7%などとなっています。

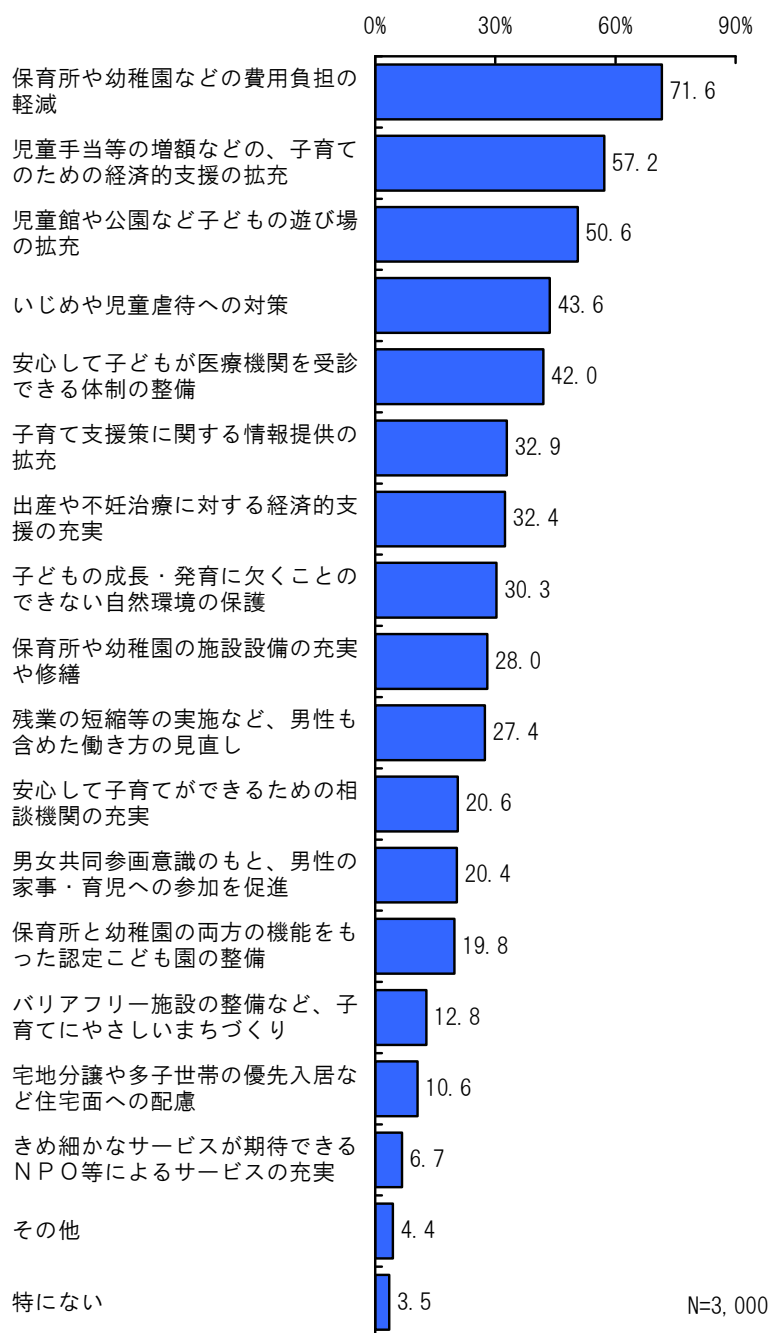
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、いずれの規模も大きな差異はみられません。

(29) 国や自治体に望む支援[問 37]

子育てに関して、国や自治体にはどのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)



国や自治体に望む支援は、「保育所や幼稚園などの費用負担の軽減」が71.6%と最も多く、次いで「児童手当等の増額などの、子育てのための経済的支援の拡充」が57.2%、「児童館や公園など子どもの遊び場の拡充」が50.6%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

単位：(%)

	調査数	保育所や幼稚園などの費用負担の軽減	児童手当等の増額などの、子育てのための経済的支援の拡充	児童館や公園など子どもの遊び場の拡充	いじめや児童虐待への対策	安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備	子育て支援策に関する情報提供の拡充	出産や不妊治療に対する経済的支援の充実	子どもの成長・発育に欠くことのできない自然環境の保護	保育所や幼稚園の施設設備の充実や修繕
特別区・政令市	1,000	73.0	57.8	50.1	42.2	39.9	32.6	29.8	35.1	30.2
人口5万以上の市町村	1,000	71.2	56.9	51.4	45.5	42.1	34.0	32.2	29.1	26.6
人口5万未満の市町村	1,000	70.7	57.0	50.4	43.2	43.9	32.2	35.1	26.6	27.1

	調査数	残業の短縮等の実施など、男性も含めた働き方の見直し	安心して子育てができるための相談機関の充実	男女共同参画意識のもと、男性の家事・育児への参加を促進	保育所と幼稚園の両方の機能をもった認定こども園の整備	バリアフリー施設の整備など、子育てにやさしいまちづくり	宅地分譲や多子世帯の優先入居など住宅面への配慮	きめ細かなサービスが期待できるNPO等によるサービスの充実	その他	特になし
特別区・政令市	1,000	28.9	19.6	22.9	20.9	13.5	10.8	5.4	4.2	3.1
人口5万以上の市町村	1,000	25.6	21.8	18.7	19.5	12.2	10.1	6.2	4.8	3.0
人口5万未満の市町村	1,000	27.7	20.5	19.6	19.0	12.8	11.0	8.5	4.1	4.3

人口規模別にみると、「出産や不妊治療に対する経済的支援の充実」は人口5万未満の市町村が35.1%、人口5万以上の市町村が32.2%、特別区・政令市が29.8%となっており、人口規模が小さいほど多くなっています。「子どもの成長・発育に欠くことのできない自然環境の保護」は特別区・政令市が35.1%、人口規模5万以上の市町村が29.1%、人口5万未満の市町村が26.6%と、人口規模が大きいほど多くなっています。

IV 調査結果

調査票

子ども子育て自主WEB調査 調査票（プレスリリース用）

★事前入手情報（性別、年代、住まいの都市）

★抽出条件：

大都市「政令指定都市及び東京都23区」1000、それ以外で人口5万以上1000、それ未満1000

H24/4/2時点で0～6歳の子どもがいる親（このうち小学生の子どもがいる親は小学生分も回答）

【1 あなたの家庭について】

F 1 （子どもから見た）同居家族の構成をお答えください。（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1 祖父 ⇒ 就労状況（1 就労している 2 していない） |
| 2 祖母 ⇒ 就労状況（1 就労している 2 していない） |
| 3 父親 4 母親 5 兄弟姉妹 6 その他 |

F 2 同居家族の人数と子どもの人数をお答えください。

同居家族 人 内、子どもの人数 人
（あなたを含む）

F 3 同居の子どもの年齢をお答えください。（平成24年4月1日時点）（○はいくつでも）

- | | | | |
|----------|----------|--------------|----------|
| 1 0歳 | 2 1歳 | 3 2歳 | 4 3歳 |
| 5 4歳 | 6 5歳 | 7 6歳（小学校入学前） | |
| 8 小学1年生 | 9 小学2年生 | 10 小学3年生 | 11 小学4年生 |
| 12 小学5年生 | 13 小学6年生 | | |

F 4 住まいの形態（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1 戸建て | 2 集合住宅 |
| 3 その他 | |

F 5 世帯の年収（○は1つ）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 300万円未満 | 2 300万円以上500万円未満 |
| 3 500万円以上1,000万円未満 | 4 1,000万円以上 |

【2 子育て環境について】

問1 子育て環境について、次の事項をお答えください。

（1）自宅から30分以内で行けるとところに親族が住んでいますか。（○は1つ）

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

（2）緊急時にお子様を預かってくれる親族、友人・知人等はいますか。（○は1つ）

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問2 子どもの保護者（親）の現在の就労状況を教えてください。

(1) (父親がいる方のみ) 現在の就労状況【父親】(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む） | |
| 2 アルバイトやパートで働いている | 3 学生 |
| 4 主夫（主婦） | 5 求職中 |
| 6 その他 | 7 病気のため、働けない状況 |
| 8 付き添い介護のため、働けない状況 | |

(2) (母親がいる方のみ) 現在の就労状況【母親】(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む） | |
| 2 アルバイトやパートで働いている | 3 学生 |
| 4 主夫（主婦） | 5 求職中 |
| 6 その他 | 7 病気のため、働けない状況 |
| 8 付き添い介護のため、働けない状況 | |

問3 子どもの保護者（親）の希望する就労形態を教えてください。

(1) (父親がいる方のみ) 希望する就労形態【父親】(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 フルタイムで働きたい（または続けたい） |
| 2 アルバイトやパートで働きたい（または続けたい） |
| 3 就労の希望はない |

(2) (母親がいる方のみ) 希望する就労形態【母親】(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 フルタイムで働きたい（または続けたい） |
| 2 アルバイトやパートで働きたい（または続けたい） |
| 3 就労の希望はない |

問4 お子様ひとりにかかる、1か月の平均的な保育料（保育所・幼稚園に係る費用）はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 5千円未満 | 2 5千円以上1万円未満 |
| 3 1万円以上2万円未満 | 4 2万円以上3万円未満 |
| 5 3万円以上4万円未満 | 6 4万円以上5万円未満 |
| 7 5万円以上 | 8 通っていない |

【3 認定こども園について】

問5 「認定こども園」を知っていますか。(○は1つ)

- 1 内容まで知っている
- 2 名前を聞いた程度
- 3 知らない

認定こども園とは・・・

就学前の子どもに幼児教育・保育を一体的に提供するとともに、子育て家庭を対象にした相談活動や親子の集いの場の提供等を行う機能を備えたところです。保育所と幼稚園が一つになったイメージです。

問6 認定こども園があったらお子様を通わせたいですか。

お子様が小学生の方も、当時を振り返ってお答えください。(○はいくつでも)

- 1 自宅から近いのであれば通わせたい
- 2 料金が高くなければ通わせたい
- 3 周囲の子も通うなら通わせたい
- 4 延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい
- 5 しつけや集団生活などの教育機能が充実していれば通わせたい
- 6 その他 ()
- 7 無条件で通わせたい
- 8 認定こども園には通わせたくない
- 9 わからない

【4 保育・教育サービスについて】

※問7～問13は就学前（0～2歳）のお子様についてお伺いします。

0～2歳で複数いる場合は末っ子の状況をお答えください。

（1歳、2歳の2人のお子様がいる場合は、一番下の1歳の子についてお考えください。）

問7 お子様は現在、日中の定期的保育サービスを利用していますか。

また、今後希望したい（または続けたい）保育サービスはありますか。

※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。（○はいくつでも）

	現在	希望
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	1	1
認証・認定保育施設 （認定保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	2	2
家庭的保育（保育ママ：保育者の家庭等で預かるサービス）	3	3
事業所内保育施設（企業が従業員用に運営する施設）	4	4
その他の保育施設	5	5
幼稚園（通常の預かり時間）	6	6
幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）	7	7
認定こども園（保育所機能と幼稚園機能をもった施設）	8	8
ファミリーサポートセンター	9	9
ベビーシッター	10	10
1～10を利用していない（または利用の希望はない）	11	11

問8 お子様は現在、その他の保育サービスを利用していますか。

また、今後希望したい（または続けたい）保育サービスはありますか。

※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。（○はいくつでも）

	現在	希望
延長保育	1	1
一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス）	2	2
病児・病後児保育（子どもの病気・病気回復期の保育）	3	3
1～3を利用していない（または利用の希望はない）	4	4

問9 (問7日中の定期的保育〔希望〕で1、2、6、8を希望と回答された方のみ)

問7で希望されたサービスは、来年の4月から利用するために、実際に申し込みをされますか。
(それぞれ○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 利用できないと困るので必ず申し込む | 2 できれば利用したいので申し込む |
| 3 利用できなくても問題ないが一応申し込む | 4 来年は申し込まない |

問10 (日中の定期的保育サービスを利用している方のみ)

ご自宅からお子様の主な預かり先までの距離は、概ねどの程度ですか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 1 km未満 | 2 1 km以上 2 km未満 |
| 3 2 km以上 3 km未満 | 4 3 km以上 5 km未満 |
| 5 5 km以上 | |

問11 問10で回答された距離は、次のうちどれに当てはまりますか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 小学校区域内 | 2 中学校区域内 |
| 3 中学校区域よりも外 | 4 わからない |

問12 (日中の定期的保育サービスの利用を希望している方のみ)

ご自宅からお子様の主な預かり先までの**希望する**距離はありますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 1 km未満 | 2 1 km以上 2 km未満 |
| 3 2 km以上 3 km未満 | 4 3 km以上 5 km未満 |
| 5 5 km以上 | |

問13 問12で回答された距離は、次のうちどれに当てはまりますか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 小学校区域内 | 2 中学校区域内 |
| 3 中学校区域よりも外 | 4 わからない |

※問14～問20は就学前（3～6歳）のお子様についてお伺いします。

3～6歳で複数いる場合は末っ子の状況をお答えください。

（3歳、4歳の2人のお子様がいる場合は、一番下の3歳の子についてお考えください。）

問14 お子様は現在、日中の定期的保育サービスを利用していますか。

また、今後希望したい（または続けたい）保育サービスはありますか。

※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。（○はいいくつでも）

	現在	希望
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	1	1
認証・認定保育施設 （認定保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	2	2
家庭的保育（保育ママ：保育者の家庭等で預かるサービス）	3	3
事業所内保育施設（企業が従業員用に運営する施設）	4	4
その他の保育施設	5	5
幼稚園（通常の預かり時間）	6	6
幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）	7	7
認定こども園（保育所機能と幼稚園機能をもった施設）	8	8
ファミリーサポートセンター	9	9
ベビーシッター	10	10
1～10を利用していない（または利用の希望はない）	11	11

問15 お子様は現在、その他の保育サービスを利用していますか。

また、今後希望したい（または続けたい）保育サービスはありますか。

※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。（○はいいくつでも）

現 在	現在	希望
延長保育	1	1
一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス）	2	2
病児・病後児保育（子どもの病気・病気回復期の保育）	3	3
1～3を利用していない（または利用の希望はない）	4	4

問16 (問14日中の定期的保育〔希望〕で1、2、6、8を希望と回答された方のみ)

問14で希望されたサービスは、来年の4月から利用するために、実際に申し込みをされますか。
(それぞれ○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 利用できないと困るので必ず申し込む | 2 できれば利用したいので申し込む |
| 3 利用できなくても問題ないが一応申し込む | 4 来年は申し込まない |

問17 (日中の定期的保育サービスを利用している方のみ)

ご自宅からお子様の主な預かり先までの距離は、概ねどの程度ですか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 1 km未満 | 2 1 km以上 2 km未満 |
| 3 2 km以上 3 km未満 | 4 3 km以上 5 km未満 |
| 5 5 km以上 | |

問18 問17で回答された距離は、次のうちどれに当てはまりますか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 小学校区域内 | 2 中学校区域内 |
| 3 中学校区域よりも外 | 4 わからない |

問19 (日中の定期的保育サービスの利用を希望している方のみ)

ご自宅からお子様の主な預かり先までの**希望する**距離はありますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 1 km未満 | 2 1 km以上 2 km未満 |
| 3 2 km以上 3 km未満 | 4 3 km以上 5 km未満 |
| 5 5 km以上 | |

問20 問19で回答された距離は、次のうちどれに当てはまりますか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 小学校区域内 | 2 中学校区域内 |
| 3 中学校区域よりも外 | 4 わからない |

※問21～問25は就学前（0～6歳）のお子様についてお伺いします。

0～6歳で複数いる場合は末っ子の状況をお答えください。

問21 （保育サービスを利用している方のみ）

現在預けている平均的な利用日数（延長保育なども含める）をお答えください。

現在
週 日

問22 （保育サービスを利用している方のみ）

現在預けている平均的な1日あたりで預ける時間（延長保育なども含める）をお答えください。

（記入例：11時間預けている場合は、11時間00分）

1日あたりで預ける時間 時間 分位

問23 （現在利用していない方も含めて）

サービス提供事業所を選んだ（又は選ぶ）

主なポイントはどれですか。

重視する点を上位3つまで選び、枠内に選択肢番号をご記入ください。

1位 2位 3位

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 自宅や勤務先からの距離 | 4 運営理念や保育（教育）方針 |
| 2 保護者の勤務ルートや送迎バスなどの交通の便 | 6 保育や学習のメニューの充実度 |
| 3 見学会や説明会での印象 | 8 利用できる時間 |
| 5 施設の設定面（新しさ、広さ、園庭等） | 10 口コミの情報等の評価 |
| 7 職員体制や質の高さ | 12 空きがあった（又はすぐに利用できる） |
| 9 利用料金 | 14 それ以外の理由 |
| 11 兄弟姉妹、友人・知人がいる | |
| 13 その施設しかなかった（選択の余地がない） | |

問24 （現在利用していない方も含めて）

保育サービスについて、希望する利用日数（延長保育なども含める）をお答えください。

（現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点で）

現在
週 日

問25 （現在利用していない方も含めて）

保育サービスについて、希望する1日あたりで預けたい時間（延長保育なども含める）をお答えください。（記入例：11時間預けている場合は、11時間00分）

（現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点で）

1日あたりで預ける時間 時間 分位

【5 放課後の過ごし方について】

※問26～問29は小学校1～3年生のお子様についてお伺いします。

小学校1～3年生で複数いる場合は末っ子の状況をお答えください。

※0～6歳のお子様が入る場合も、小学校1～3年生の中で末っ子の状況をお答えください。

(2歳、5歳、小学校2年生のお子様がいる場合は、小学校2年生の子についてお考えください。)

問26 お子様は、平日の放課後、主にどこで見てもらっていますか。

	現在	希望
放課後児童クラブ(学童保育)を利用している	1	1
放課後子ども教室を利用している	2	2
保護者(父親・母親)が見ている	3	3
保護者の親や親族に見てもらっている	4	4
塾や習い事に行っている	5	5
兄弟姉妹と過ごしている	6	6
ひとりで過ごしている	7	7
その他()	8	8

放課後児童クラブとは...

通称“学童保育”と呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども(おおむね10歳未満)の生活の場を提供するものです。

放課後子ども教室とは...

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行うものです。

問27 (放課後児童クラブ(学童保育)や放課後子ども教室を利用している方のみ)

現在預けている平均的な利用頻度をお答えください。

現在
週 日

問28 (現在利用していない方も含めて)放課後児童クラブ(学童保育)や放課後子ども教室について、希望する利用頻度をお答えください。

希望
週 日

問29 お子様は現在、塾や習い事に週何回行っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------------|-------------|
| 1 週5回以上している | 2 週3～4回している | 3 週1～2回している |
| 4 月1～2回行っている | 5 月1回以下で(定期的に)行っている | |
| 6 不定期だが行っている | 7 行っていない | |

※問30～問33は小学校4～6年生のお子様についてお伺いします。

小学校4～6年生で複数いる場合は末っ子の状況をお答えください。

※0～6歳のお子様が入る場合も、小学校4～6年生の中で末っ子の状況をお答えください。

(5歳、小学校2年生、小学校4年生のお子様がいる場合は、小学校4年生の子についてお考えください。)

問30 お子様は、平日の放課後、主にどこで見てもらっていますか。

	現在	希望
放課後児童クラブ(学童保育)を利用している	1	1
放課後子ども教室を利用している	2	2
保護者(父親・母親)が見ている	3	3
保護者の親や親族に見てもらっている	4	4
塾や習い事に行っている	5	5
兄弟姉妹と過ごしている	6	6
ひとりで過ごしている	7	7
その他	8	8

放課後児童クラブとは・・・

通称“学童保育”と呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども(おおむね10歳未満)の生活の場を提供するものです。

放課後子ども教室とは・・・

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行うものです。

問31 (放課後児童クラブ(学童保育)や放課後子ども教室を利用している方のみ)

現在預けている平均的な利用頻度をお答えください。

現在
週 日

問32 (現在利用していない方も含めて)放課後児童クラブ(学童保育)や放課後子ども教室について、希望する利用頻度をお答えください。

希望
週 日

問33 お子様は現在、塾や習い事に週何回行っていますか。(○は1つ)

1 週5回以上している	2 週3～4回している	3 週1～2回している
4 月1～2回行っている	5 月1回以下で(定期的に行っている)	
6 不定期だが行っている	7 行っていない	

※すべての方が回答してください。

【6 子育て全般について】

問34 子育てについて、どのように感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------------|---------------|
| 1 とても楽しい | 2 どちらかと言えば楽しい | 3 どちらかと言えばつらい |
| 4 とてもつらい | 5 どちらともいえない | 6 |

問35 児童手当(昨年度までは「こども手当」)は、子育てに係る経済的負担の軽減にどの程度役立っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 とても役立っている | 2 どちらかと言えば役立っている |
| 3 どちらかと言えば役立っていない | 4 まったく役立っていない |
| 5 どちらともいえない | |

問36 子育ての不安や悩みには、どのように対応していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 親や身内に聞いている | 2 友人・知人に聞いている |
| 3 保育所(幼稚園)の職員に聞いている | |
| 4 市区町村や子育て支援センターなどの相談窓口で聞いている | |
| 5 医者や看護師等、医療関係者に聞いている | 6 専門誌やネット情報で調べている |
| 7 その他 () | 8 不安や悩みを相談したいが、相談先がない |
| 9 特に子育てに関する不安や悩みはない | |

問37 子育てに関して、国や自治体にはどのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|---------|
| 1 子育て支援策に関する情報提供の拡充 | |
| 2 児童館や公園など子どもの遊び場の拡充 | |
| 3 子どもの成長・発育に欠くことのできない自然環境の保護 | |
| 4 保育所や幼稚園などの費用負担の軽減 | |
| 5 児童手当等の増額などの、子育てのための経済的支援の拡充 | |
| 6 出産や不妊治療に対する経済的支援の充実 | |
| 7 宅地分譲や多子世帯の優先入居など住宅面への配慮 | |
| 8 バリアフリー施設の整備など、子育てにやさしいまちづくり | |
| 9 きめ細かなサービスが期待できるNPO等によるサービスの充実 | |
| 10 安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備 | |
| 11 保育所と幼稚園の両方の機能をもった認定こども園の整備 | |
| 12 保育所や幼稚園の施設設備の充実や修繕 | |
| 13 いじめや児童虐待への対策 | |
| 14 安心して子育てができるための相談機関の充実 | |
| 15 残業の短縮等の実施など、男性も含めた働き方の見直し | |
| 16 男女共同参画意識のもと、男性の家事・育児への参加を促進 | |
| 17 その他 () | 18 特にない |

これで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

プレスリリース第1弾



報道機関各位

2012年11月30日

株式会社サーベイリサーチセンター

SRC 自主調査の調査結果について

子ども・子育てに関するアンケート（SRC 自主調査 002）

株式会社サーベイリサーチセンター（本社：東京都荒川区、代表取締役：藤澤士朗）は、子ども・子育て支援事業計画に向けた自主調査を、インターネットリサーチモニターを対象に実施しました。

■調査の背景

平成24年6月26日の衆議院に続き、平成24年8月10日、子ども・子育て支援法を含む関連3法が参議院で可決・成立し、「子ども・子育て新システム」が動き出すことになりました。これを受けて、市町村には地域のニーズを把握する調査の実施が求められており、その結果を踏まえた「子ども・子育て支援事業計画」の策定が必要になっています。「子ども・子育て新システム」では、新たな「幼保連携型認定こども園」を創設して待機児童の解消を目指すほか、保育の対象を「保育に欠ける児童」から「保育を必要とする児童」へと拡大し、必要とする方に必要なサービスの提供を行うこととなります。

そこで株式会社サーベイリサーチセンターでは、0～6歳の子どもがいる親を対象に、子育て環境、保育や教育サービス、放課後の過ごし方などについて、アンケート調査を実施しました。

■調査の概要

- ・ 調査地域 : 日本全域
- ・ 調査対象 : 日本国内に居住する18歳以上の男女個人のうち、0～6歳の子どもがいる親
- ・ 調査方法 : インターネット調査（インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査）
- ・ 調査内容 : 認定こども園／保育・教育サービス／放課後の過ごし方／子育て全般 など
- ・ 有効回答 : 3,000 サンプル
(政令指定都市及び東京都23区 1,000 それ以外で人口5万以上 1,000 それ未満 1,000)
- ・ 調査期間 : 平成24年10月27日（土）～10月31日（水）

■調査結果の概要

▼認定こども園の認知度

- ・ 名前を聞いた程度まで含めると認知度は8割弱と高いが、内容まで知っているのは2割で、内容までの周知は図れていない。
- ・ 性別では、男性の認知度が7割、女性の認知度が8割。
- ・ 人口規模別では、人口規模の大きい自治体の人ほど認知度が高く、特別区・政令市の人では8割。
- ・ 居住地区別では、関東地方での認知度が8割と最も高く、四国地方での認知度が7割弱と最も低い。

▼児童手当は子育てに係る経済負担の軽減にどの程度役に立っているか

- ・子育てに係る負担軽減への児童手当の貢献度は、とても役立っている・どちらかといえば役立っているが7割弱で、概ね負担軽減に役立っている。
- ・居住地区別では、九州・沖縄地方、北海道地方、四国地方で、とても役立っている・役立っているが7割以上と多く、北信越地方では6割と少ない。なお、人口規模別では、大きな差は見られない。

▼サービス提供事業所を選んだ（選ぶ）主なポイント

- ・サービス提供事業所を選んだ（選ぶ）ポイントは、自宅や勤務先からの距離を1位として回答した人が4割を超え、最も重要なポイントとなっている。また、3位までに選んだ人は7割で、他の項目を圧倒する。
- ・利用料金を、1位で選んだ人は約1割、3位までに選んだ人は4割弱で、距離に次いで重要視されている。
- ・運営理念や保育（教育）方針・職員体制や質の高さ・利用できる時間などは、1位から3位までの回答を合わせても2割台で、事業所を選ぶ大きなポイントにはなっていない。

▼国や自治体に望む支援（上位5位）

- ・国や自治体に望む支援は、保育所や幼稚園などの費用負担の軽減が7割、児童手当等の増額などの、子育てのための経済的支援の拡充が6割弱で、経済的支援が上位2位を占める。
- ・人口規模別、居住地区別でも経済的支援が上位であり、全国的な課題となっている。
- ・人口規模別、居住地区別にみても、順位の変動はあるが、上位5項目は変わらない（選択肢は18項目^{*1}）。

▼放課後児童クラブの利用状況・利用頻度

- ・小学校1～3年の放課後児童クラブの利用状況は2割、利用希望は3割弱で、ニーズを満たしていない。
- ・特に、北海道地方、関東地方、中国地方で、利用状況と利用希望の差が大きい。
- ・小学校1～3年では、年齢の高い親ほど希望割合が高い傾向にあり、年を重ねてから子どもを生んだ層のニーズが大きい。
- ・小学校4～6年の放課後児童クラブの利用状況は1割、利用希望は1割強で、大きなニーズではない。
- ・小学校4～6年では、26～30歳の親の希望割合が3割と高く、若いうちに子どもを生んだ層のニーズが大きい。

^{*1} 国や自治体に望む支援の内容：①子育て支援策に関する情報提供の拡充、②児童館や公園など子どもの遊び場の拡充、③子どもの成長・発育に欠くことのできない自然環境の保護、④保育所や幼稚園などの費用負担の軽減、⑤児童手当等の増額などの、子育てのための経済的支援の拡充、⑥出産や不妊治療に対する経済的支援の充実、⑦宅地分譲や多子世帯の優先入居など住宅面への配慮、⑧バリアフリー施設の整備など、子育てにやさしいまちづくり、⑨きめ細かなサービスが期待できるNPO等によるサービスの充実、⑩安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備、⑪保育所と幼稚園の両方の機能をもった認定こども園の整備、⑫保育所や幼稚園の施設設備の充実や修繕、⑬いじめや児童虐待への対策、⑭安心して子育てができるための相談機関の充実、⑮残業の短縮等の実施など、男性も含めた働き方の見直し、⑯男女共同参画意識のもと、男性の家事・育児への参加を促進、⑰その他、⑱特になし

■添付資料

別紙：調査結果の概要（下記弊社HPで第2稿を1月に掲載予定です。あわせてご覧ください。）

■本件に関するお問合せ先

株式会社サーベイリサーチセンター（<http://www.surece.co.jp>）

本社 〒116-8581 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号

一杉 浩史（ひとすぎ ひろし） E-mail: hito_h@surece.co.jp TEL: 0120-203-662

- 調査結果の内容については無断転載・複製を禁じます。

「子ども・子育て支援事業計画に向けた自主WEB調査」の調査結果の概要

※図中のnは回答者数を示します。

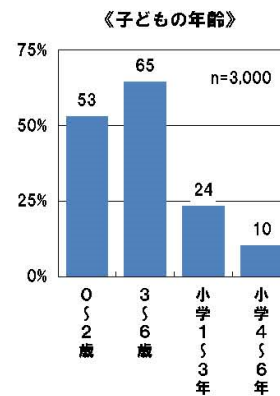
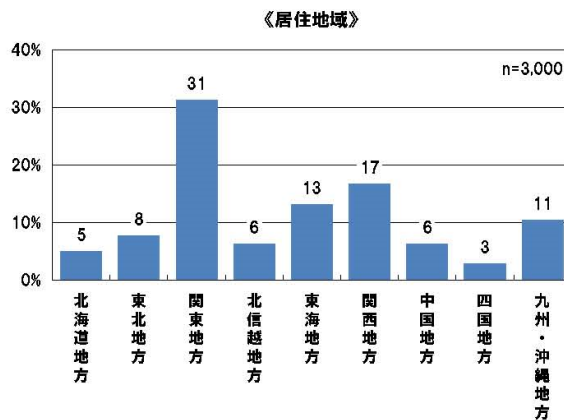
※小数点を省略しているため、合計しても100%にならないことがあります。

※複数回答ができる設問では、回答比率が100%を超えます。

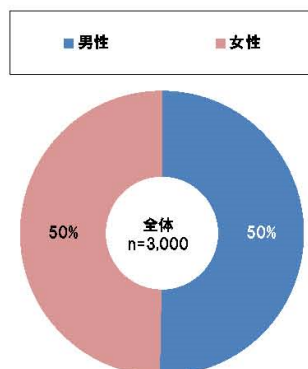
▼ 調査概要

- ・ 調査地域 : 日本全域
- ・ 調査対象 : 日本国内に居住する18歳以上の男女個人のうち、0～6歳の子どもがいる親
- ・ 調査方法 : インターネット調査（インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査）
- ・ 調査内容 : 認定こども園／保育・教育サービス／放課後の過ごし方／子育て全般 など
- ・ 有効回答 : 3,000 サンプル（政令指定都市及び東京都23区1,000 それ以外で人口5万以上1,000 それ未満1,000）
- ・ 調査期間 : 平成24年10月27日（土）～10月31日（水）

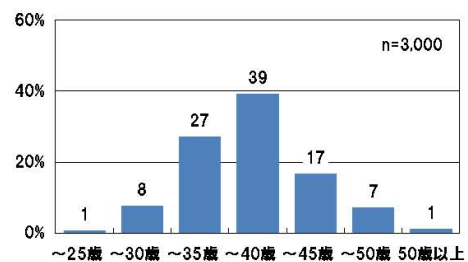
▼ 調査概要



《性別》

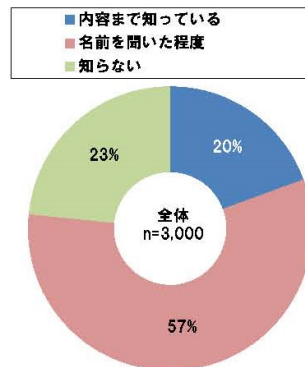


《年齢》

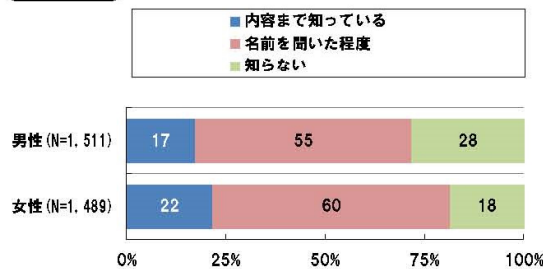


▼ 調査結果

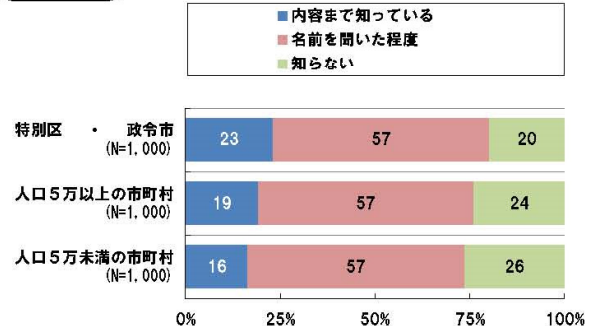
《認定子ども園の認知度》



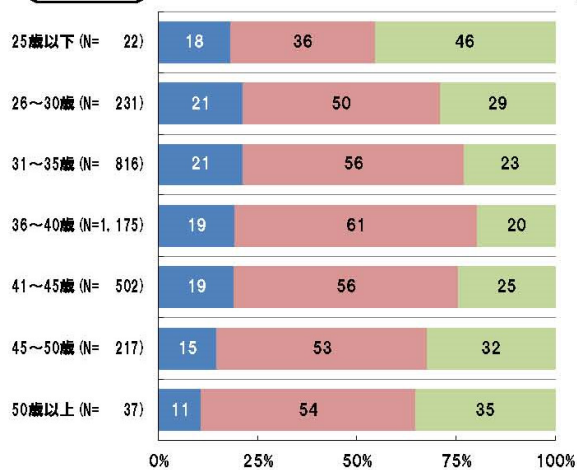
性別



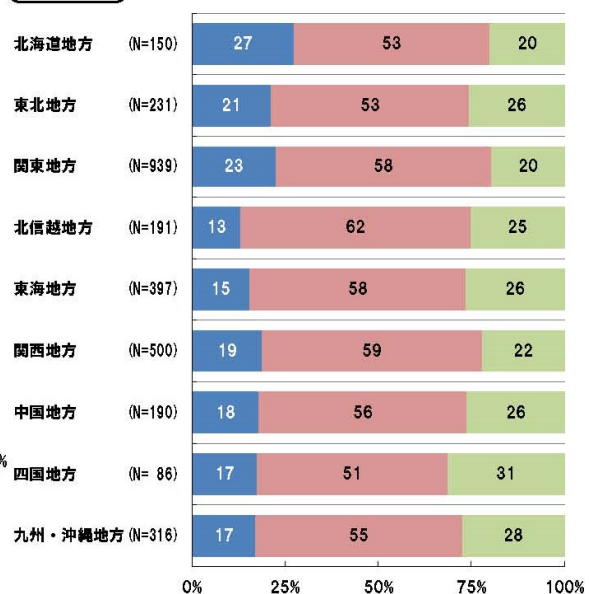
人口規模



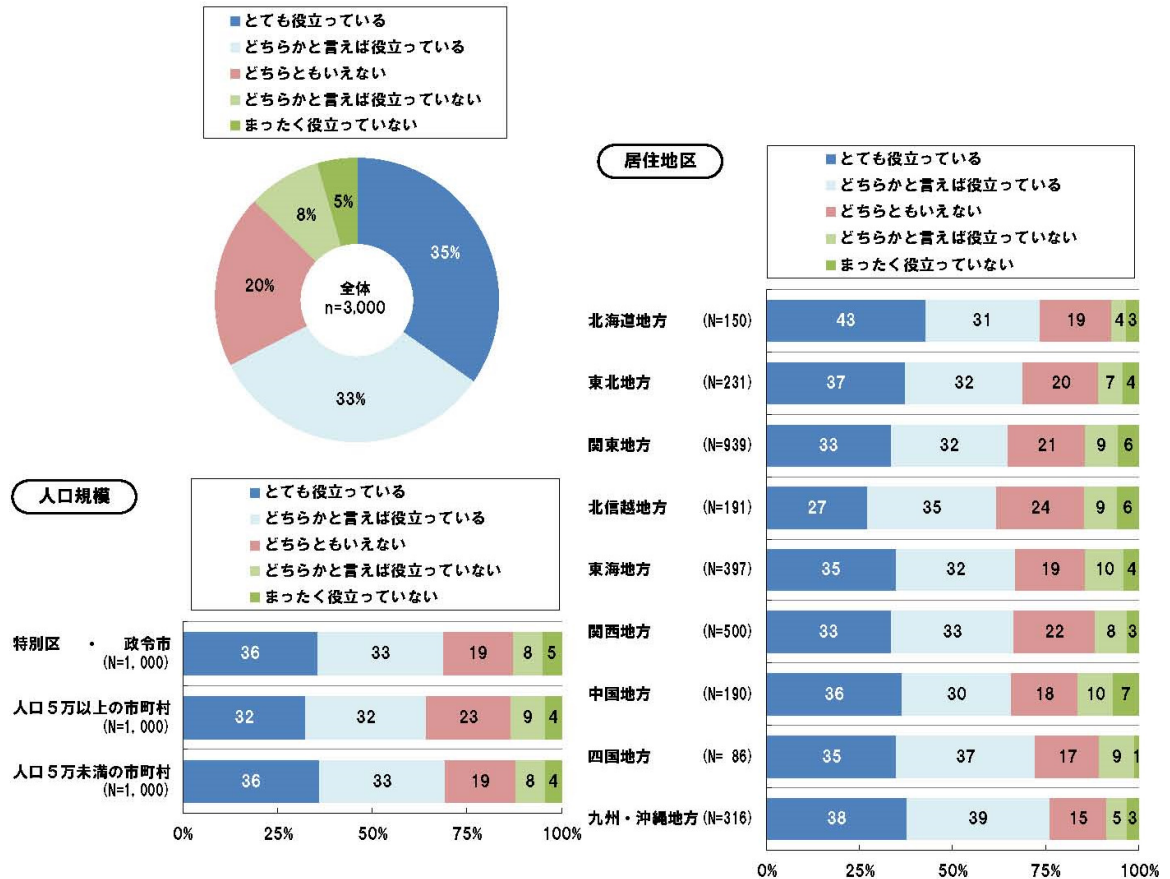
年齢



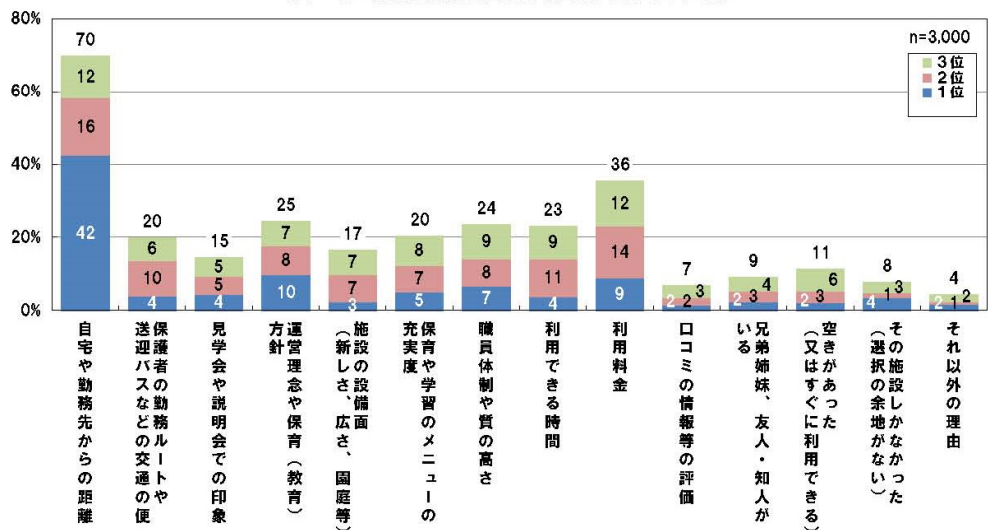
居住地区



《児童手当は子育てに係る経済負担の軽減にどの程度役に立っているか》

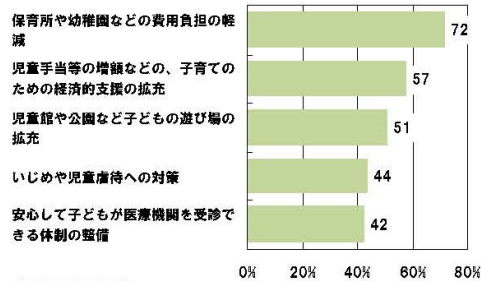


《サービス提供事業所を選んだ（選ぶ）主なポイント》



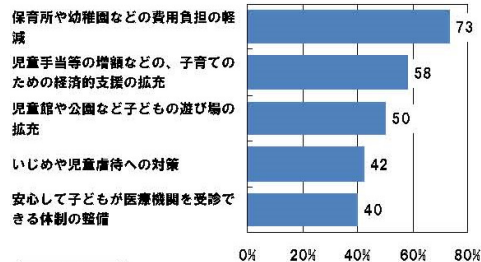
《国や自治体に望む支援（上位5位）》

全体 (N=3,000)

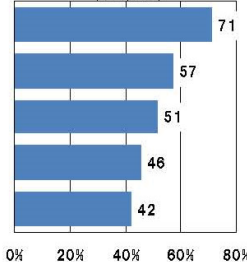


人口規模

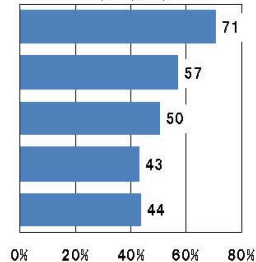
特別区・政令市 (N=1,000)



人口5万以上の市町村 (N=1,000)

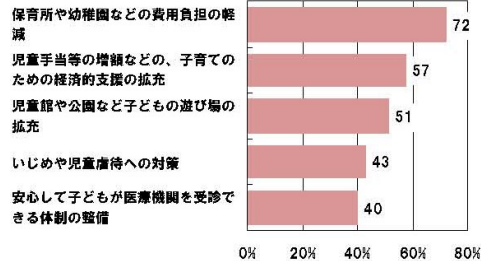


人口5万未満の市町村 (N=1,000)

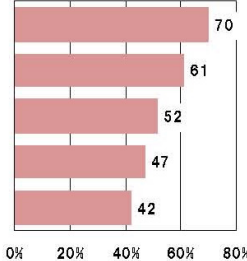


居住地区

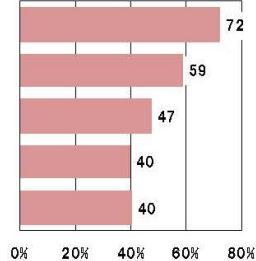
北海道地方 (N=150)



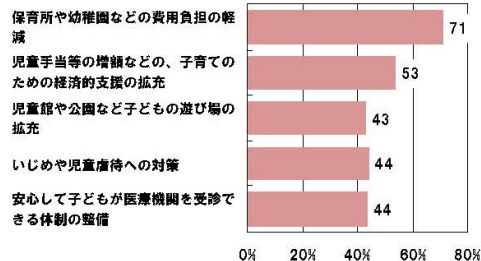
東北地方 (N=231)



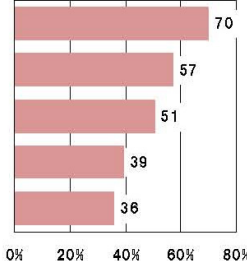
関東地方 (N=939)



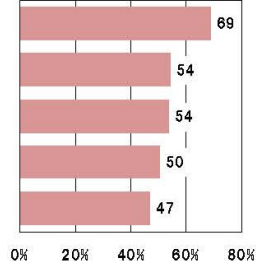
北信越地方 (N=191)



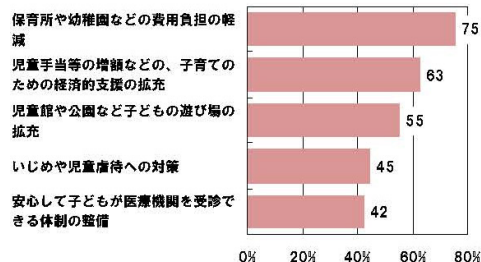
東海地方 (N=397)



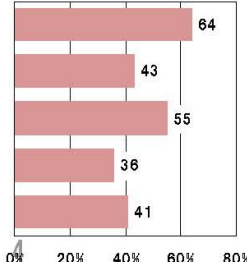
関西地方 (N=500)



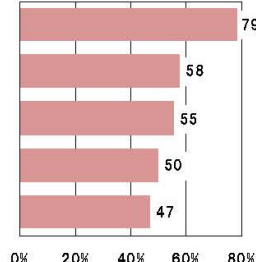
中国地方 (N=190)



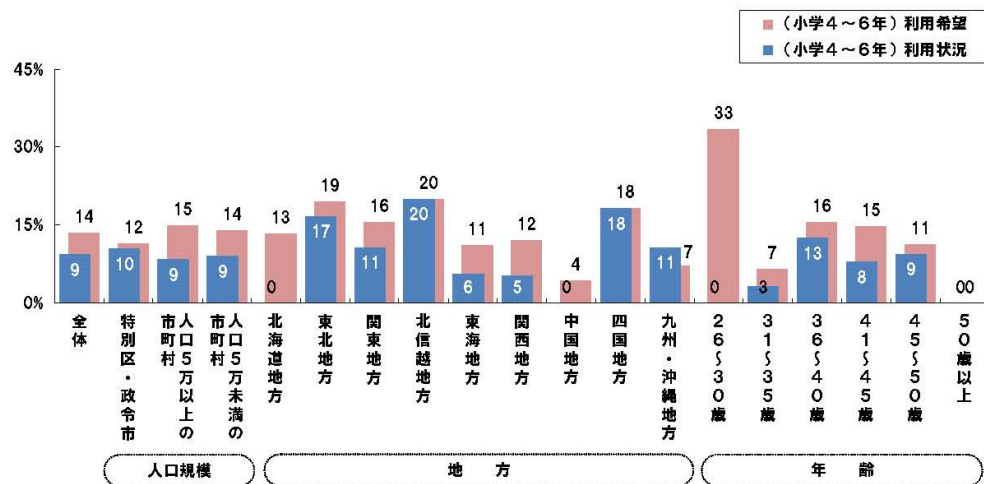
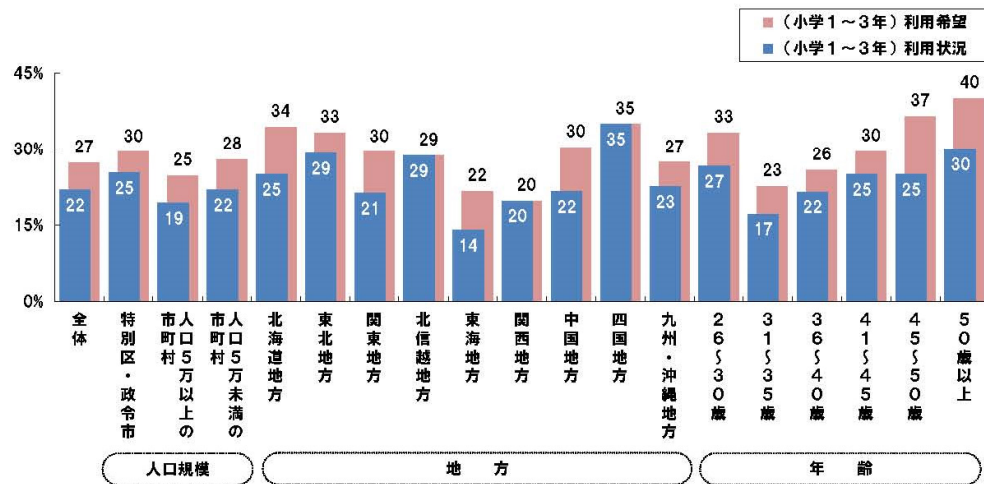
四国地方 (N=86)



九州・沖縄地方 (N=316)



《放課後児童クラブの利用状況・利用希望》



▼ 会社概要

商 号	株式会社サーベイリサーチセンター	所属団体	(財)日本世論調査協会
設 立	1975 (昭和 50) 年 2 月		(社)日本マーケティング・リサーチ協会
資 本 金	6,000 万円		(社)日本マーケティング協会
年 商	56 億円 (平成 23 年度)		(社)交通工学研究会
代 表 者	代表取締役 藤澤士朗		日本災害情報学会
社 員 数	185 名 (平成 24 年 4 月 1 日現在)	取得認証 登録資格	ESOMAR (ヨーロッパ世論・市場調査協会) 他
顧 問	竹内郁郎 (東京大学名誉教授)		ISO9001 認証取得
取引銀行	三井住友銀行 百十四銀行		ISO20252 認証取得
	みずほ銀行 三菱東京 UFJ 銀行		プライバシーマーク (12390008 (06))
	商工組合中央金庫		国土交通省登録資格建設コンサルタント

プレスリリース第2弾



報道機関各位

2013年2月28日

株式会社サーベイリサーチセンター

SRC 自主調査の調査結果について

子ども・子育てに関するアンケート（SRC 自主調査 002_2）

株式会社サーベイリサーチセンター（本社：東京都荒川区、代表取締役：藤澤士朗）は、子ども・子育て支援事業計画に向けた自主調査を、インターネットリサーチモニターを対象に実施しました。

■調査の背景

平成24年6月26日の衆議院に続き、平成24年8月10日、子ども・子育て支援法を含む関連3法が参議院で可決・成立し、「子ども・子育て新システム」が動き出すことになりました。これを受けて、市町村には地域のニーズを把握する調査の実施が求められており、その結果を踏まえた「子ども・子育て支援事業計画」の策定が必要になっています。「子ども・子育て新システム」では、新たな「幼保連携型認定こども園」を創設して待機児童の解消を目指すほか、保育の対象を「保育に欠ける児童」から「保育を必要とする児童」へと拡大し、必要とする方に必要なサービスの提供を行うこととなります。

そこで株式会社サーベイリサーチセンターでは、0～6歳の子どもがいる親を対象に、子育て環境、保育や教育サービス、放課後の過ごし方などについて、アンケート調査を実施しました。

調査結果第1稿は、去る平成24年11月30日（金）に公表しており、調査の概要も含めて、弊社ホームページ（<http://www.surece.co.jp/src/research/jishu/20121130.html>）に掲載しております今回は、さらに内容を深め、サービスの利用状況と需要、特に認可保育所・幼稚園・認定こども園に関する調査結果をご報告します。

■調査結果の概要

▼日中の定期的保育サービスの利用状況と需要 【0～2歳】

- 現在の利用状況は、認可保育所が21%と多く、次いで認証・認定保育施設が4%、幼稚園が3%などとなっている。
- 認可保育所の利用を希望する人は、4割台半ばとなっており、現在利用している割合より24%多く、現状の2倍を超える需要となっている。
- 認可保育所の利用を希望する人の内訳は、現在日中の定期的保育サービスを利用していない人が2割を超え、利用希望者のほぼ半数となっている。
- 幼稚園の利用を希望する人は、約2割となっており、現在利用している割合より16%多くなっているが、認可保育所需要の半分以下となっている。
- 幼稚園の利用を希望する人の内訳は、現在日中の定期的保育サービスを利用していない人が1割台半ばとなっており、利用希望者の8割を超えている。

▼日中の定期的保育サービスの需要と母親の就労意向 【0～2歳】

- 0～2歳の約7割が、日中の定期的保育サービスを利用していない、サービス未利用者となっている。
- サービス未利用者のうち、7割以上の母親が働いていない。（0～2歳全体の半数を占める。）
- サービス未利用者で働いていない母親のうち、3人に2人が働きたい母親である。（0～2歳全体の3割を超える。）
- サービス未利用者で働いていないが働きたい母親のうち、6割以上が日中の定期的サービスの利用を希望している。（0～2歳全体の2割を超える。）
- サービス未利用者で働いていないが働きたい母親で、日中の定期的サービスの利用希望者のうち、6割が認可保育所の利用希望者となっている。（0～2歳全体の1割を超える。）

▼1か月の平均的な保育料

- 1か月の平均的な保育料は、1～3万円が半数を超えている。一方、2割が保育所や幼稚園などに通っていない。
- 居住地区別では、九州・沖縄地方で4万円以上が1割を超えている。

▼認定こども園の通園意向

- 認定こども園の通園意向は、「料金が高くなければ通わせたい」と「自宅から近いのであれば通わせたい」が半数を超えて多くなっている。
- 次に、「延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい」、「しつけや集団生活などの教育機能が充実していれば通わせたい」が3割を超えて多くなっている。
- これらのことから、認定こども園に通わせるには、保育・教育機能の充実より、料金と距離が重要視されている。
- 居住地区別でも、1位から4位の順に変わりはない。

▼この4月から利用するために実際申し込むか

（認可保育所、認証・認定保育施設、幼稚園、認定こども園希望者）

- この4月から利用するために実際申し込むかについては、0～2歳では、利用できないと困るので必ず申し込むが約4割と多く、できれば利用したいので申し込むは約2割となっている。
- 3～6歳では、利用できないと困るので必ず申し込むが約4割と多く、できれば利用したいので申し込むは1割となっている。
- 居住地区別では、0～2歳・3～6歳ともに北信越地方、四国地方、九州・沖縄地方で、利用できないと困るので必ず申し込むが4割を超え多くなっている。
- 利用できなくても問題ないが一応申し込むは5～6%出現している。

■添付資料

別紙：調査結果の概要2

■本件に関するお問合せ先

株式会社サーベイリサーチセンター（<http://www.surece.co.jp>）

本社 〒116-8581 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号

一杉 浩史（ひとすぎ ひろし） E-mail: hito_h@surece.co.jp TEL: 0120-203-662

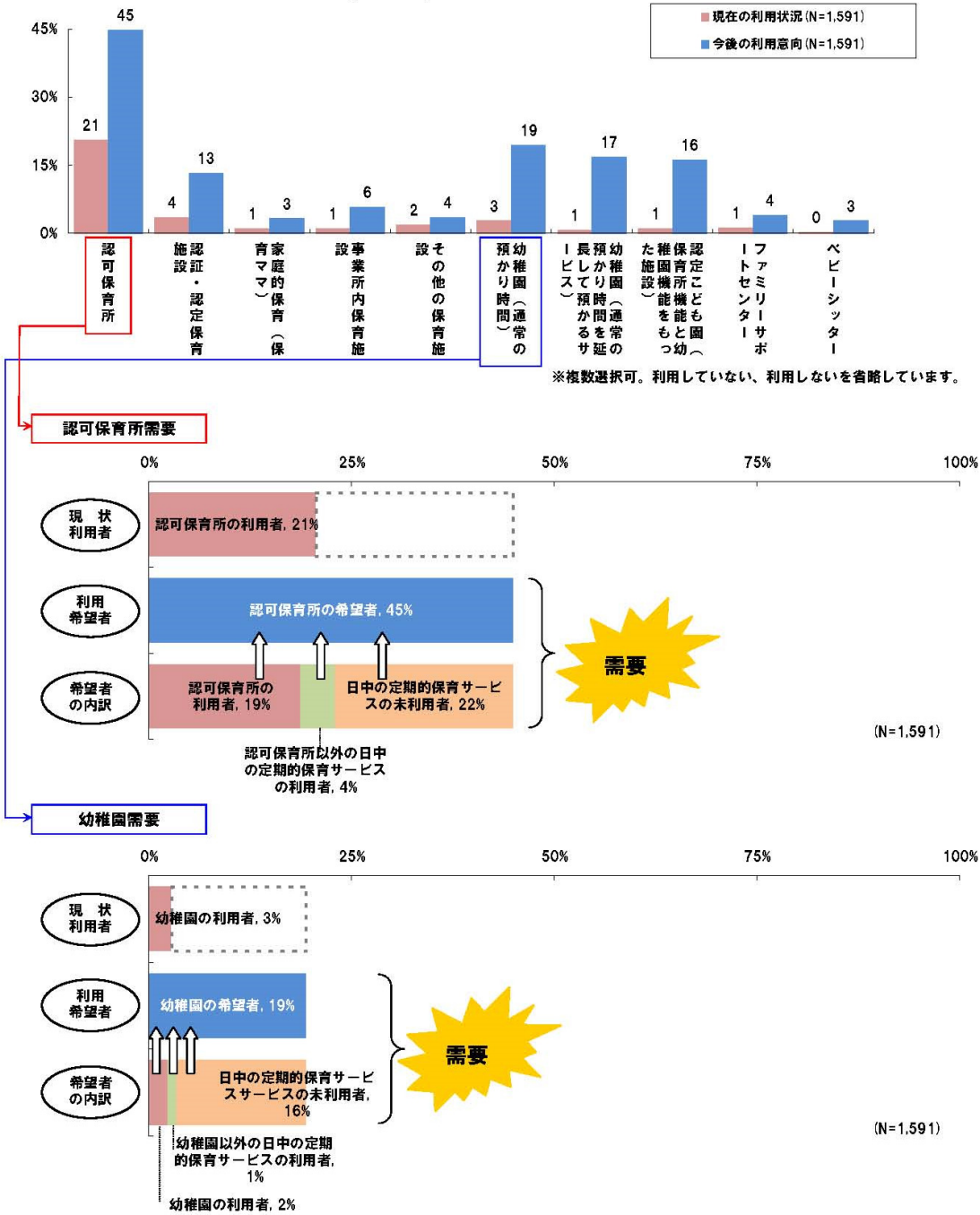
●調査結果の内容については無断転載・複製を禁じます。

「子ども・子育て支援事業計画に向けた自主WEB調査」調査結果の概要2

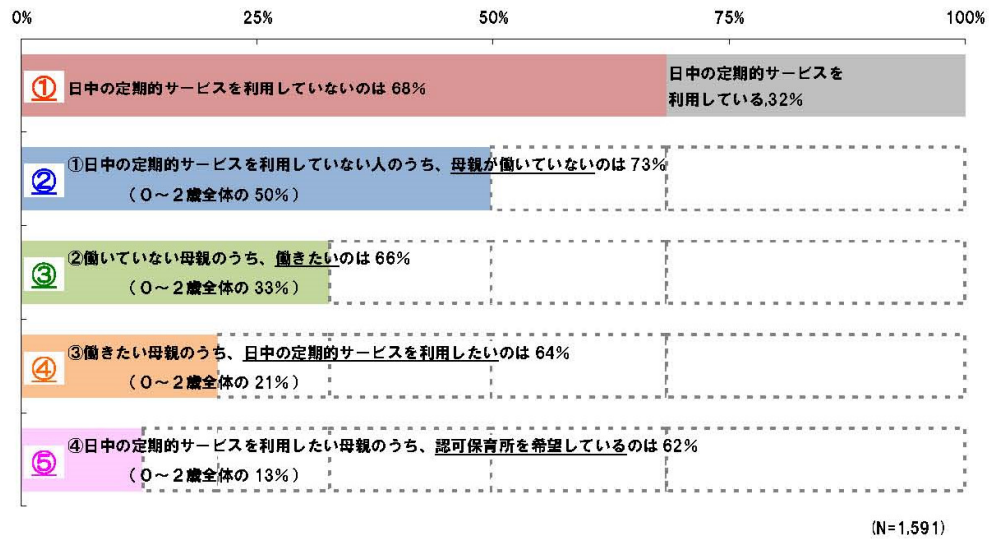
▼ 調査結果

※図中のnは回答者数を示します。
※小数点を省略しているため、合計しても100%にならないことがあります。
※複数回答ができる設問では、回答比率が100%を超えます。

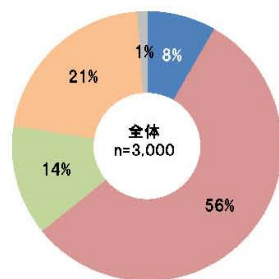
《日中の定期的保育サービスの利用状況と需要 【0～2歳】》



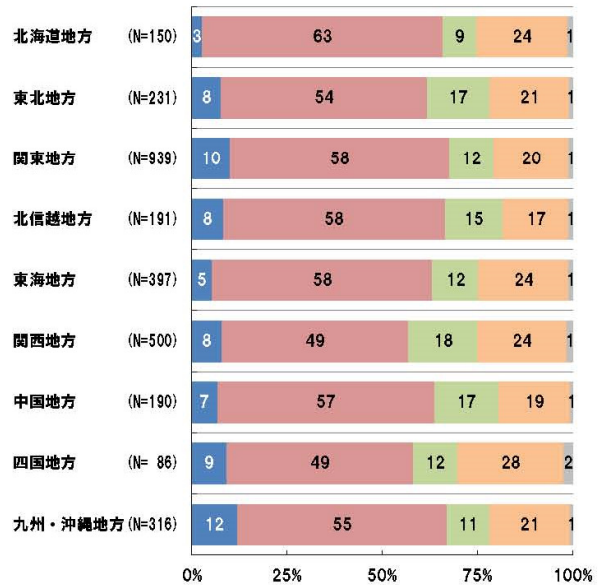
《日中の定期的保育サービスの需要と母親の就労意向 【0～2歳】》



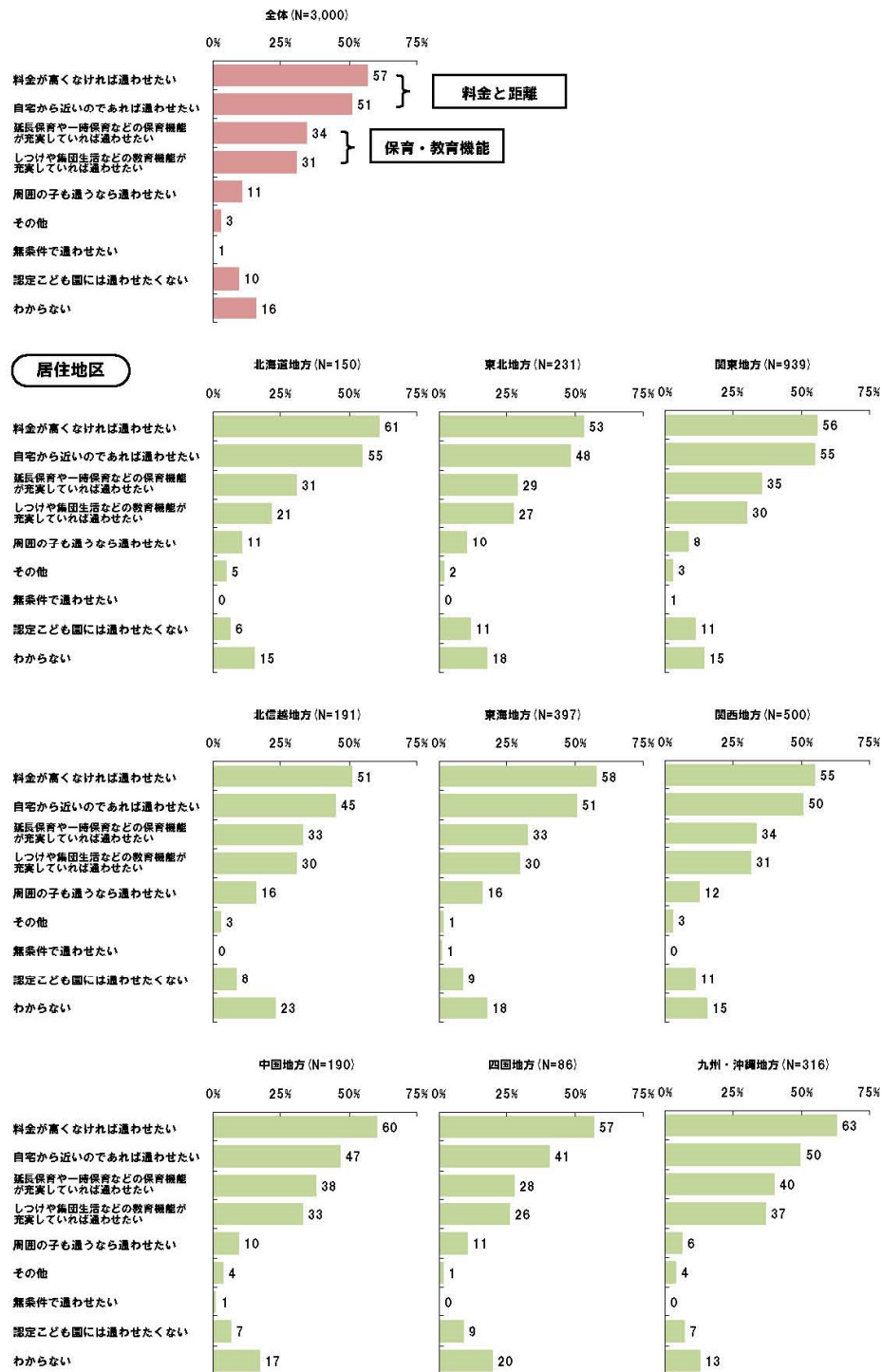
《1か月の平均的な保育料》



居住地区

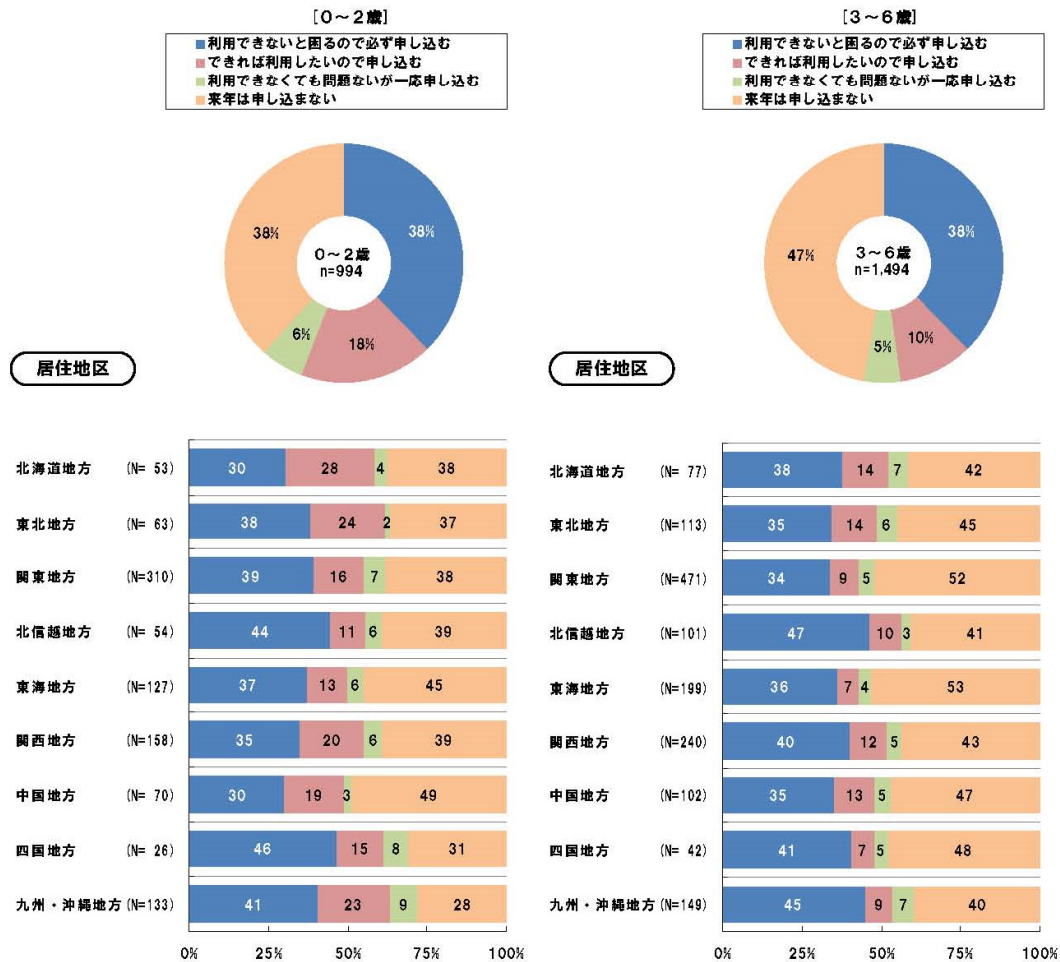


《認定こども園の通園意向》



別紙／調査結果の概要 2

《この4月から利用するために実際申し込むか（認可保育所、認証・認定保育施設、幼稚園、認定こども園希望者）》



▼ 会社概要

商 号	株式会社サーベイリサーチセンター	所属団体	(財)日本世論調査協会
設 立	1975（昭和 50）年 2 月		(社)日本マーケティング・リサーチ協会
資 本 金	6,000 万円		(社)日本マーケティング協会
年 商	56 億円（平成 23 年度）		(社)交通工学研究会
代 表 者	代表取締役 藤澤士朗		日本災害情報学会
社 員 数	185 名（平成 24 年 4 月 1 日現在）	取得認証 登録資格	ESOMAR（ヨーロッパ世論・市場調査協会） 他
顧 問	竹内郁郎（東京大学名誉教授）		ISO9001 認証取得
取引銀行	三井住友銀行 百十四銀行		ISO20252 認証取得
	みずほ銀行 三菱東京 UFJ 銀行		プライバシーマーク（12390008（07））
	商工組合中央金庫		国土交通省登録資格建設コンサルタント